

IV. 調査結果の分析

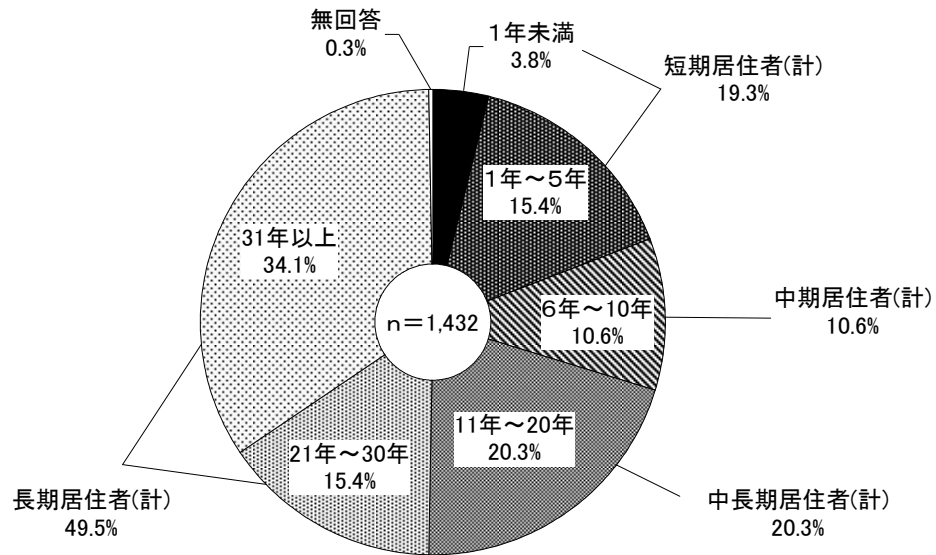
1 区の施策および評価について

(1) 居住年数

◇『長期居住者』が5割

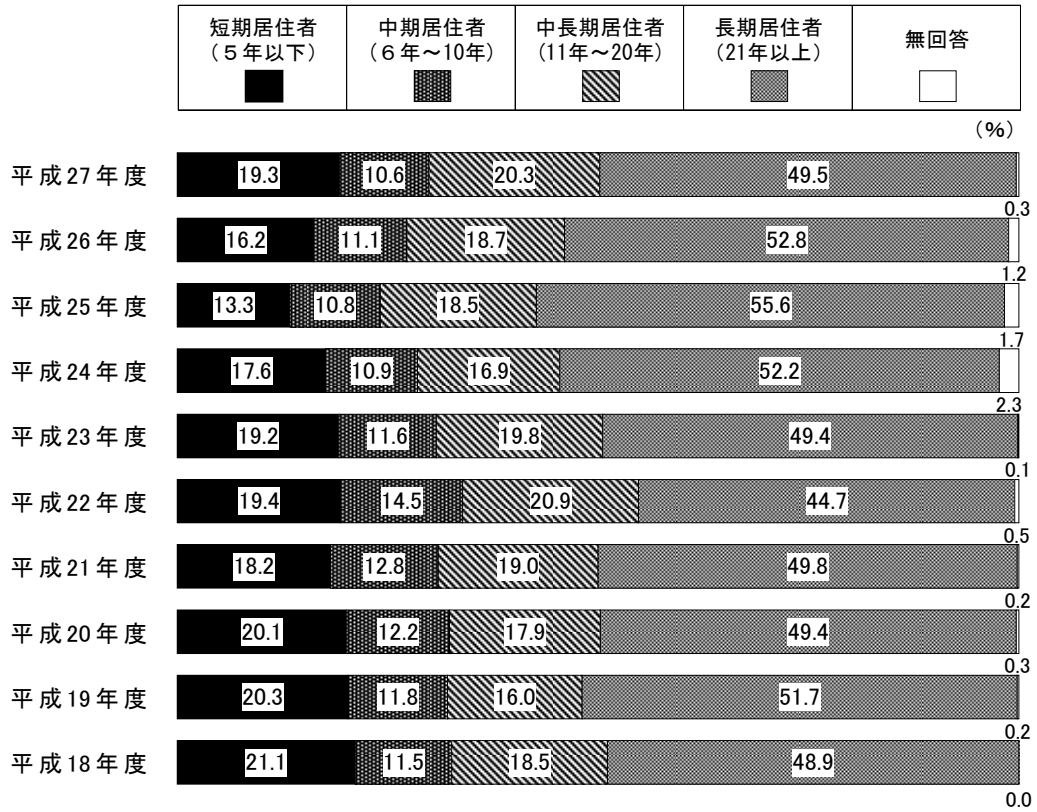
問1 あなたは、練馬区にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つ)

図1-1-1 居住年数



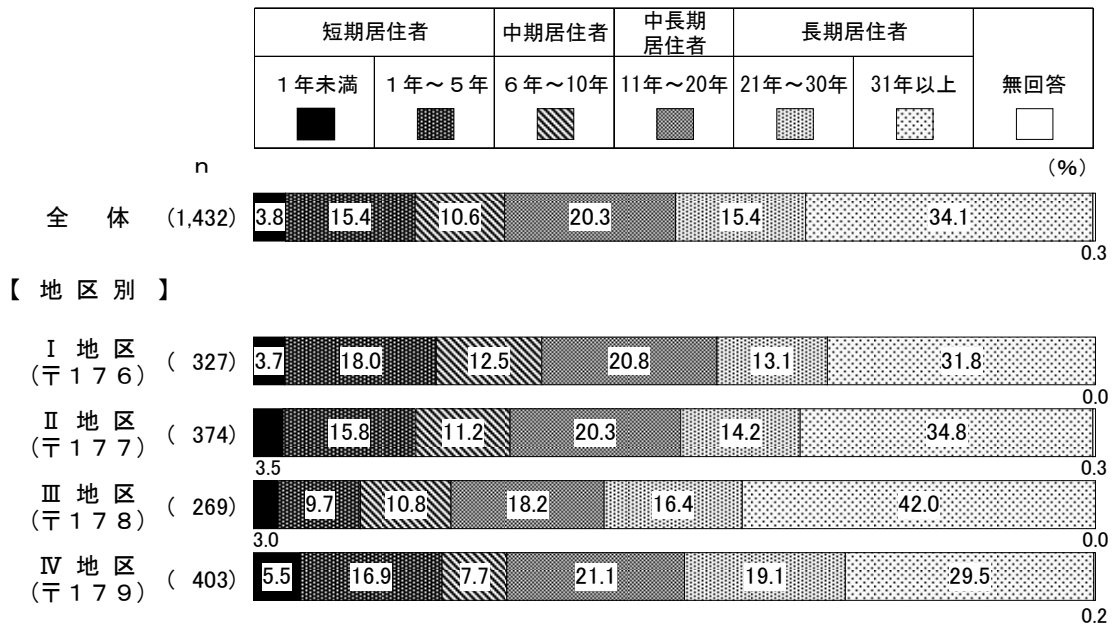
練馬区に住んで何年になるか聞いたところ、「31年以上」(34.1%)と「21年~30年」(15.4%)を合わせた『長期居住者』(49.5%)が5割となっている。また、「11年~20年」の『中長期居住者』(20.3%)が2割、「6年~10年」の『中期居住者』(10.6%)がほぼ1割、「1年~5年」(15.4%)と「1年未満」(3.8%)を合わせた『短期居住者』(19.3%)がほぼ2割となっている。(図1-1-1)

図 1-1-2 居住年数一過年度比較



過去の調査と比較すると、『長期居住者（21年以上）』は前回調査（平成26年度）から3.3ポイント減少しているものの、過去9年と同様最も多くなっている。（図1-1-2）

図 1-1-3 居住年数一地区別



地区別にみると、『長期居住者（21年以上）』はⅢ地区（〒178）で6割近くと多くなっている。『短期居住者（5年未満）』はⅠ地区（〒176）とⅣ地区（〒179）で2割を超えて多くなっている。

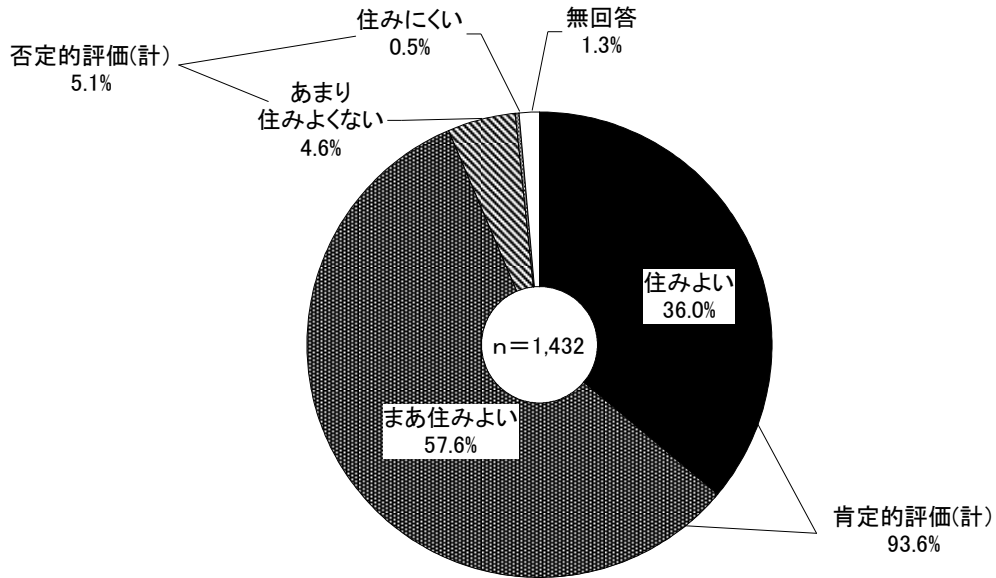
（図1-1-3）

(2) 住みごち

◇『肯定的評価』が9割を超える

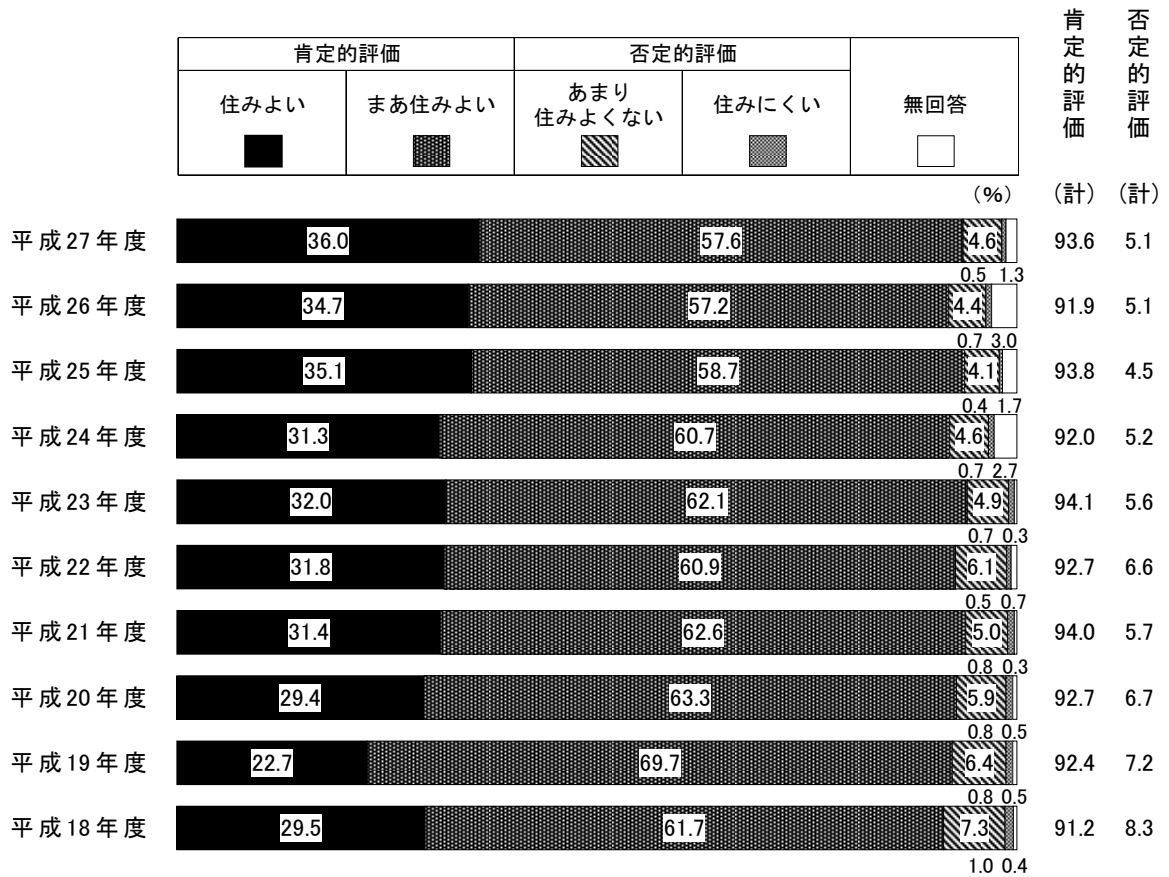
問2 あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか。(○は1つ)

図1-2-1 住みごち



練馬区の住みごちを聞いたところ、「住みよい」(36.0%)が3割半ば、「まあ住みよい」(57.6%)が6割近くで、この2つを合わせた『肯定的評価』(93.6%)が9割を超えている。一方、「あまり住みよくない」(4.6%)と「住みにくい」(0.5%)を合わせた『否定的評価』(5.1%)は1割未満となっている。(図1-2-1)

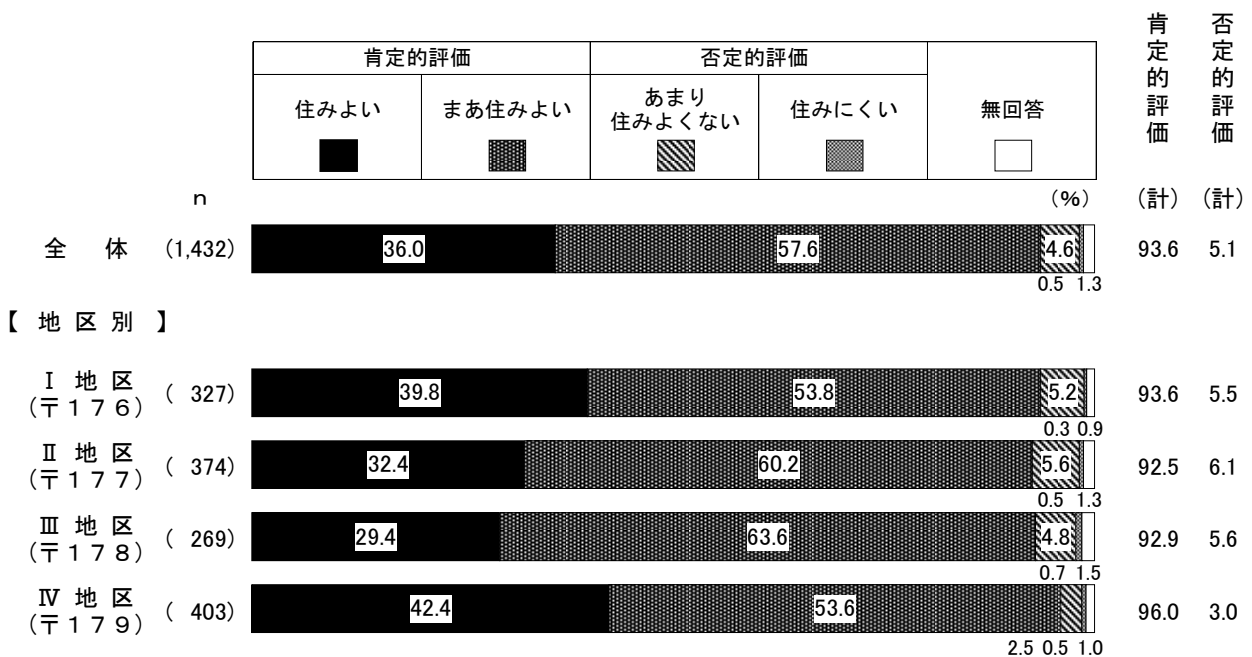
図 1-2-2 住みごち一過年度比較



過去の調査と比較すると、『肯定的評価』は平成18年度以降いずれも9割台となっている。

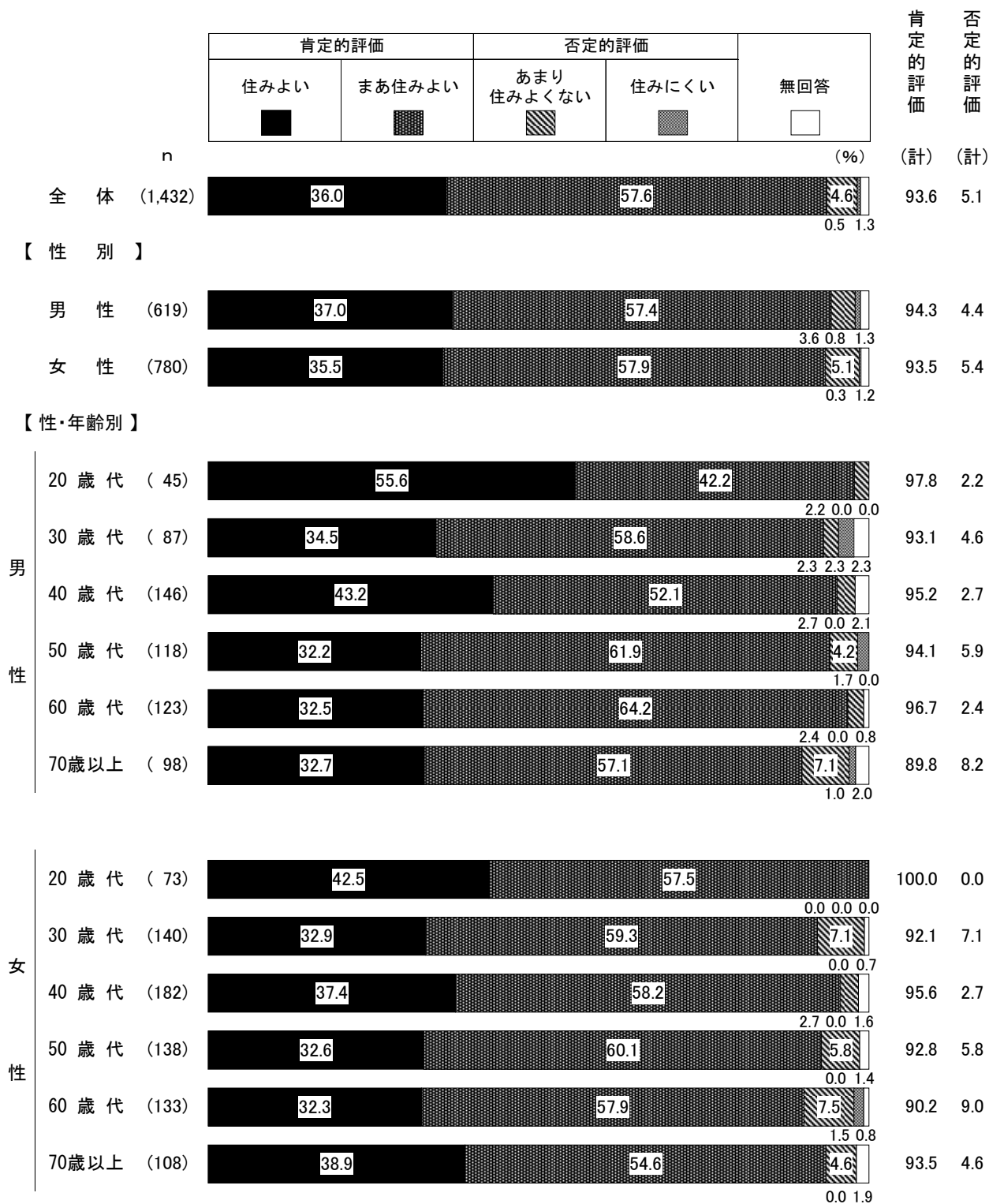
(図 1-2-2)

図 1-2-3 住みごち一地区別



地区別にみると、『肯定的評価』はすべての地区で9割台となっている。(図 1-2-3)

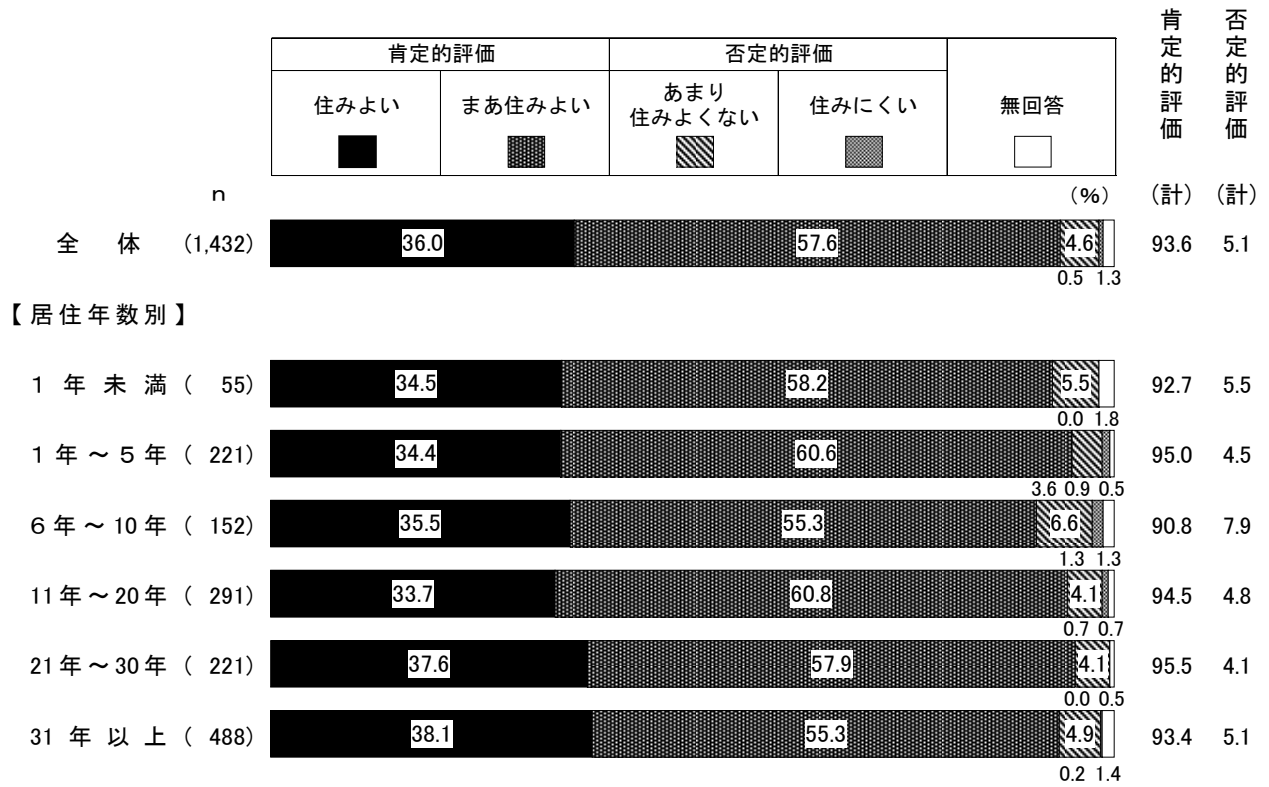
図 1-2-4 住みごこち—性別、性・年齢別



性別にみると、男女ともに『肯定的評価』は9割台となっている。

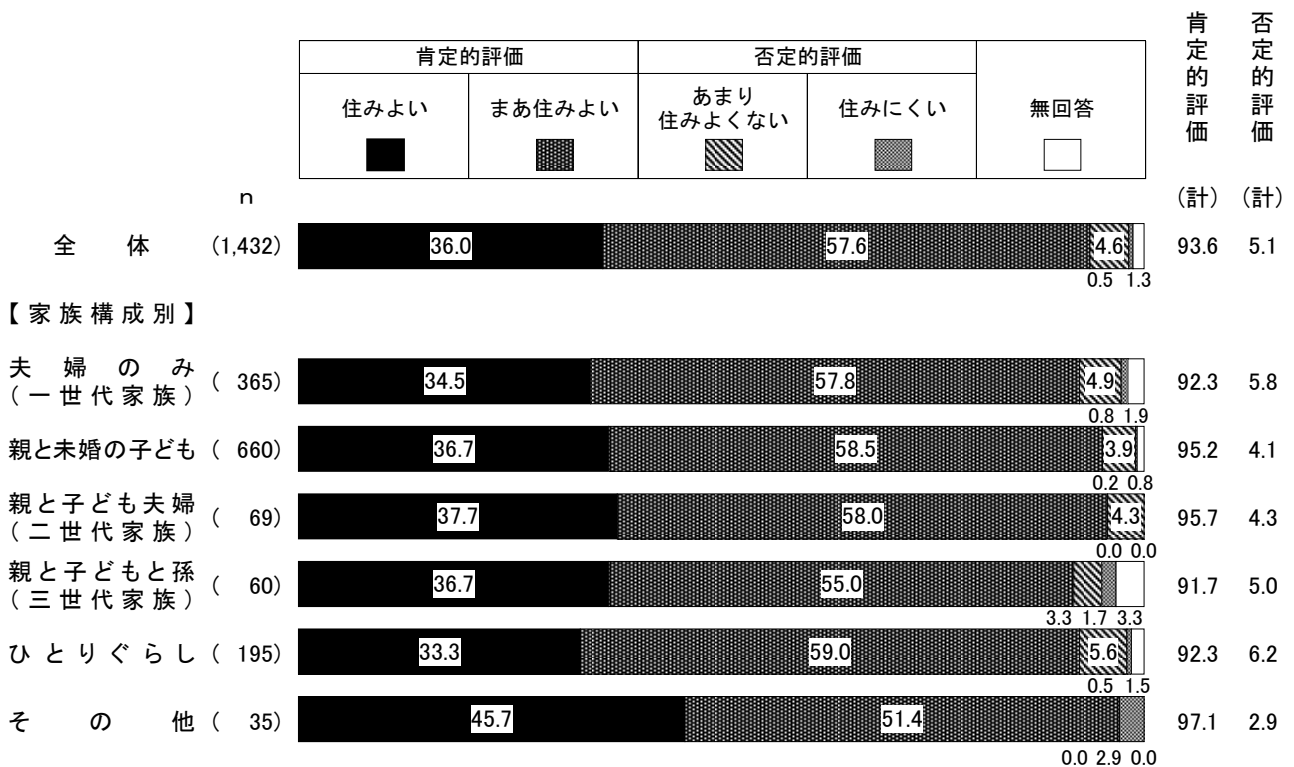
性・年齢別にみると、「住みよい」は男性20歳代で5割半ばと多くなっている。『肯定的評価』は男性70歳以上で8割台となっているほかはいずれも9割以上となっている。(図1-2-4)

図1-2-5 住みごこち-居住年数別



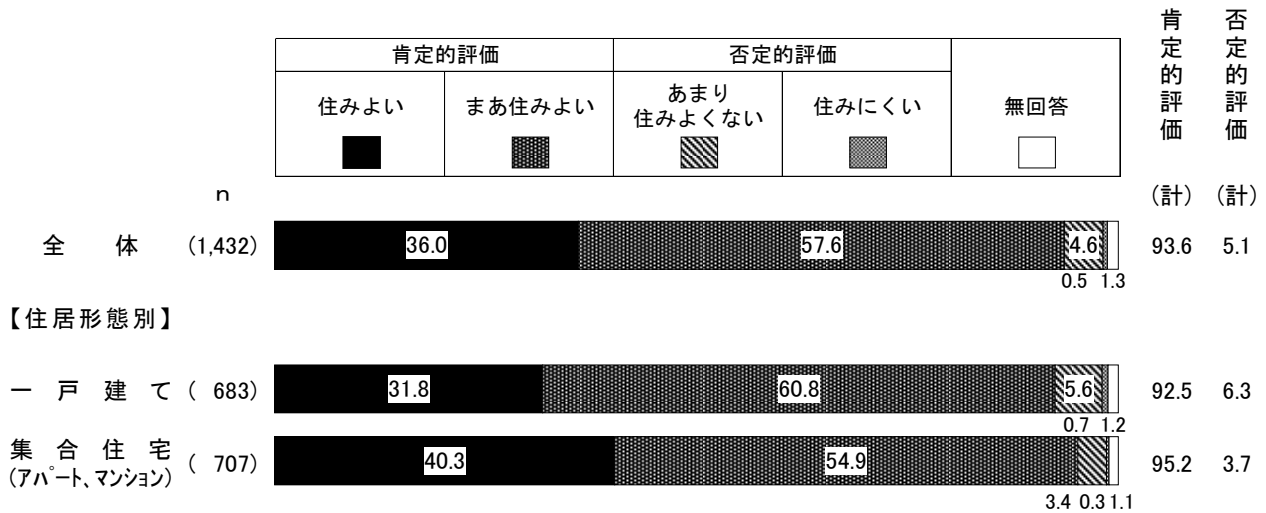
居住年数別にみると、『肯定的評価』はすべての居住年数で9割台となっている。(図1-2-5)

図1-2-6 住みごこち-家族構成別



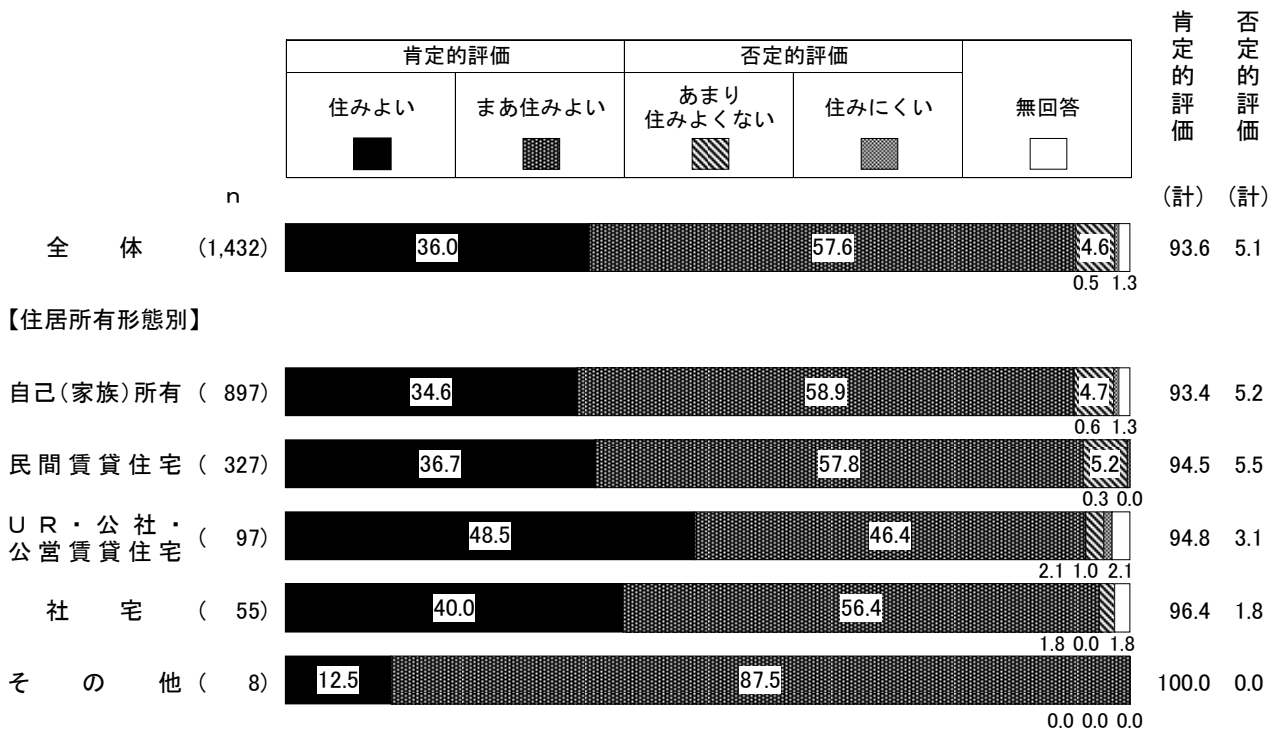
家族構成別にみると、『肯定的評価』はすべての家族構成で9割台となっている。(図1-2-6)

図1-2-7 住みごち—住居形態別



住居形態別にみると、「住みよい」は集合住宅（アパート・マンション）の方が8.5ポイント高くなっている。（図1-2-7）

図1-2-8 住みごち—住居所有形態別



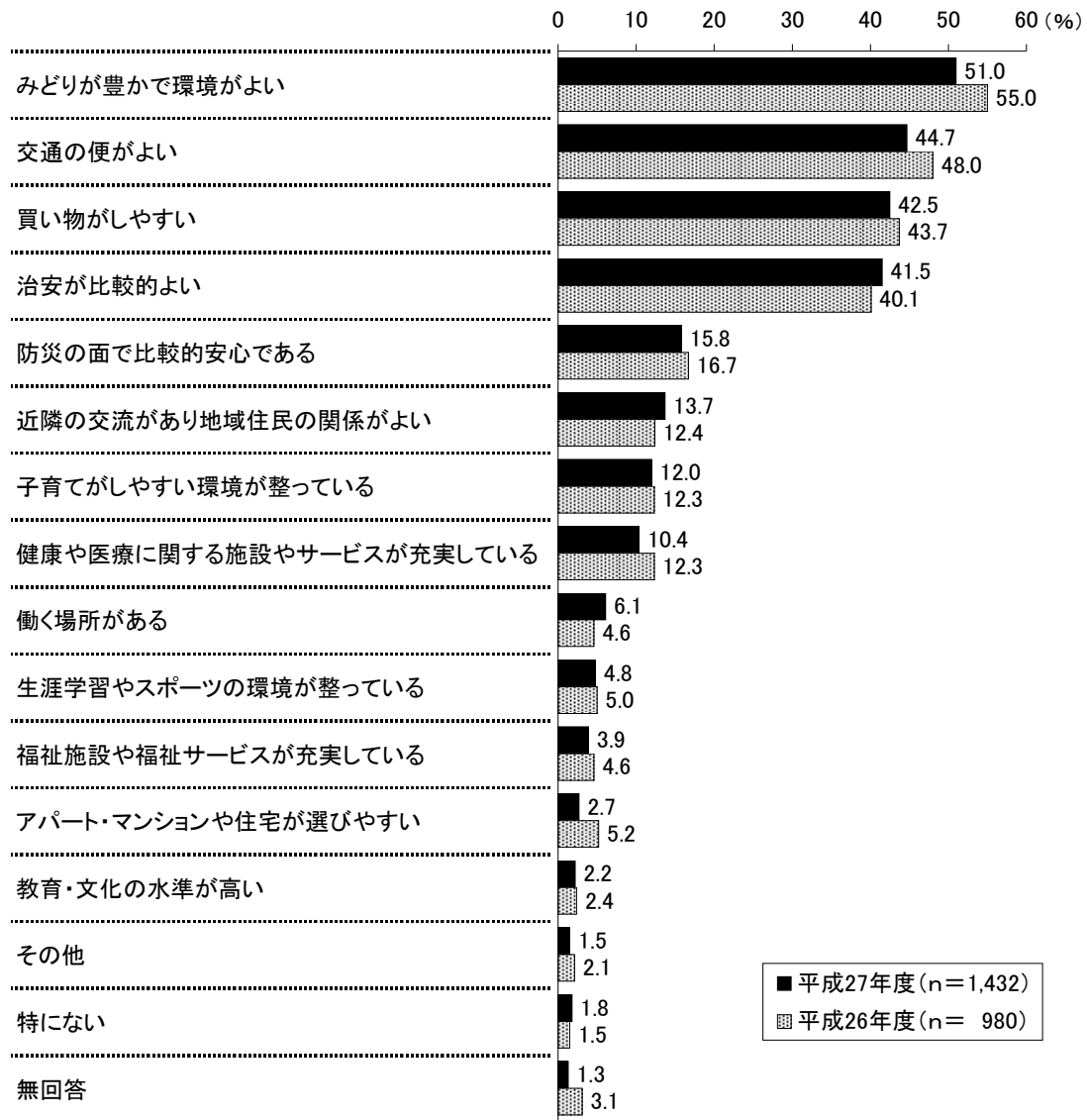
住居所有形態別にみると、「住みよい」はUR・公社・公営賃貸住宅で5割近くと多くなっている。『肯定的評価』はすべての住居所有形態で9割以上となっている。（図1-2-8）

(3) 練馬区が住みよいと感じるところ

◇「みどりが豊かで環境がよい」が5割を超える

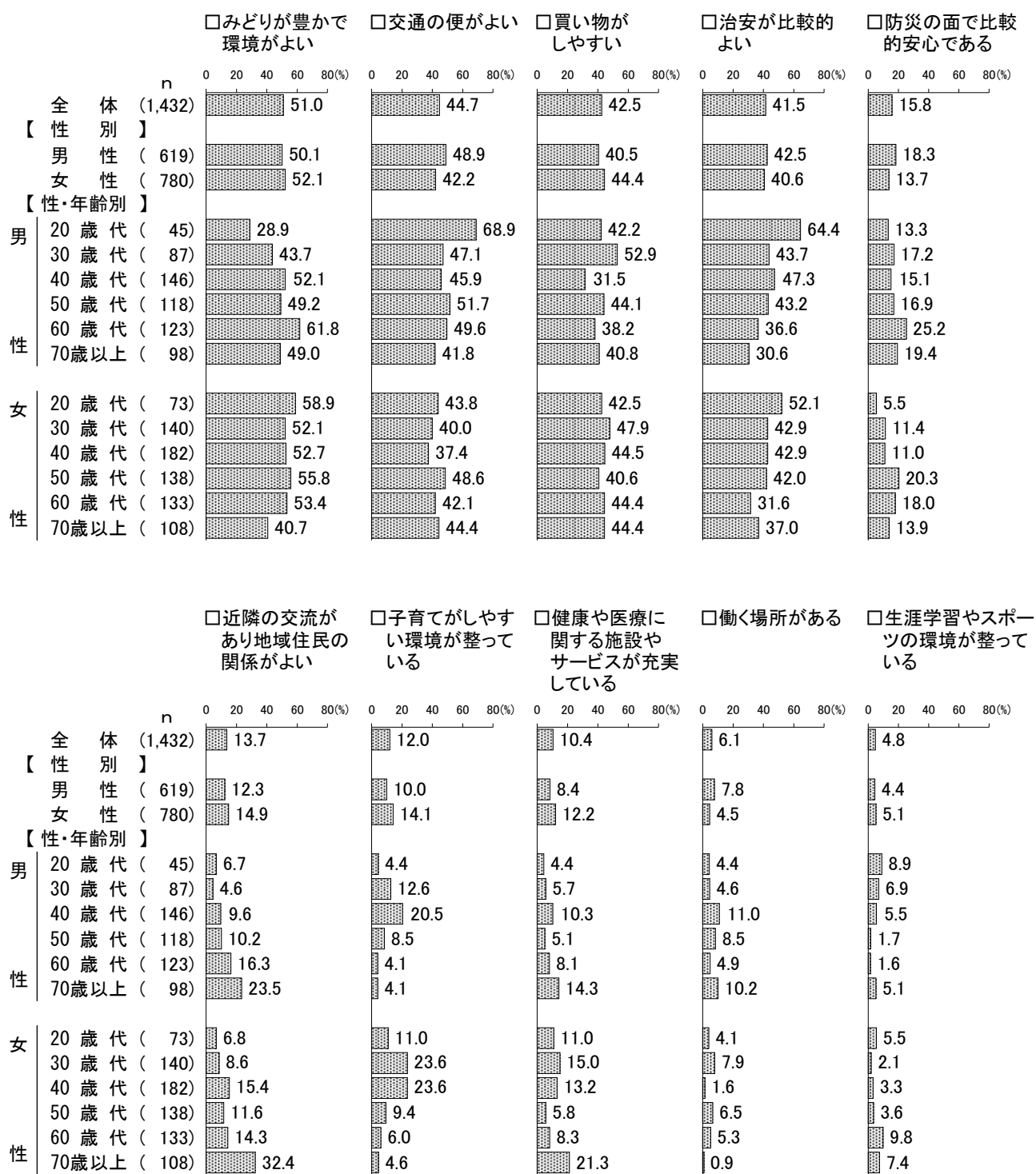
問3 あなたが、練馬区が住みよいと感じるところは、どんなところですか。次の中から住みよいと感じることを選んでください。(〇は3つまで)

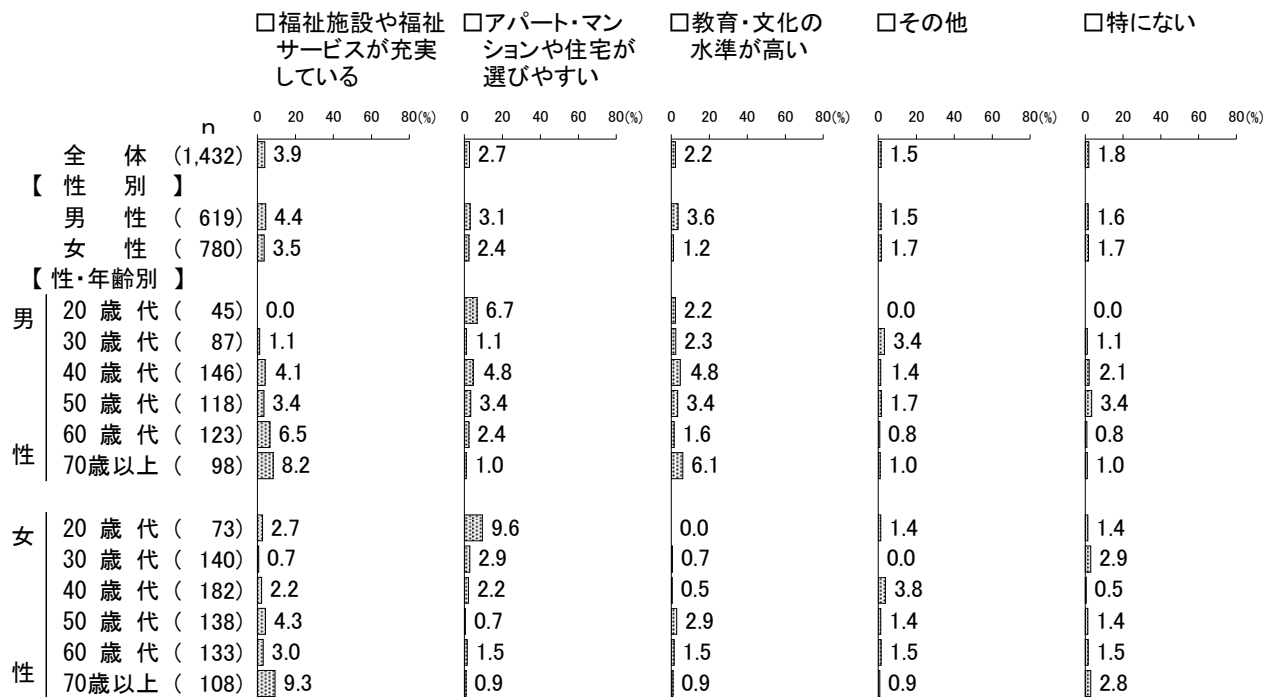
図1-3-1 練馬区が住みよいと感じるところ



練馬区が住みよいと感じるところを聞いたところ、「みどりが豊かで環境がよい」(51.0%)が5割を超えて最も多く、次いで「交通の便がよい」(44.7%)、「買い物がしやすい」(42.5%)、「治安が比較的よい」(41.5%)、「防災の面で比較的安心である」(15.8%)などの順になっている。(図1-3-1)

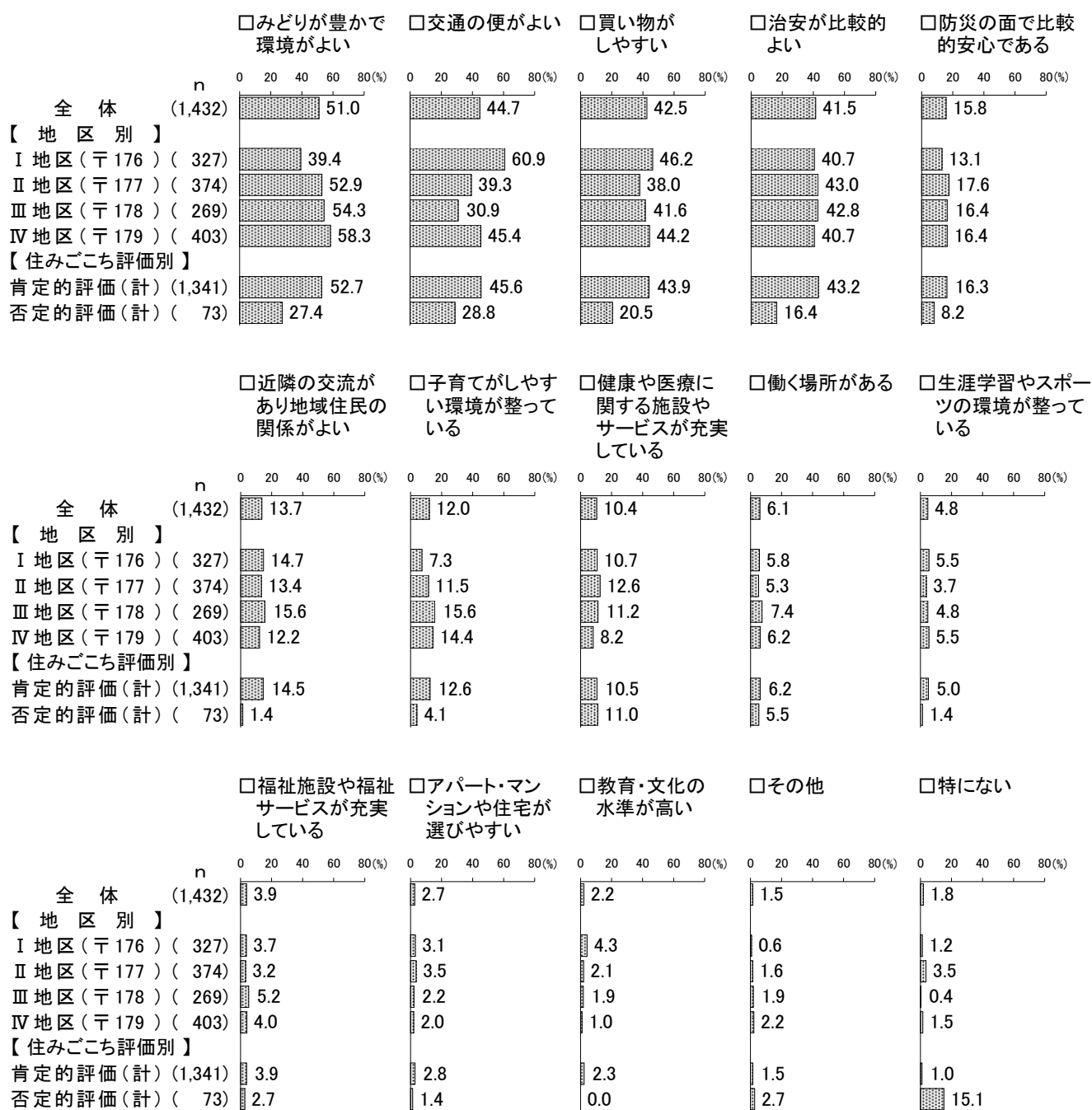
図 1-3-2 練馬区が住みよいと感じるところ—性別、性・年齢別





性・年齢別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」は男性60歳代で6割を超えて多くなっている。「交通の便がよい」は男性20歳代で7割近くと多くなっている。「治安が比較的よい」は男性20歳代で6割半ばと多くなっている。(図1-3-2)

図1-3-3 練馬区が住みよいと感じるところ—地区別、住みごち評価別



地区別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」はIV地区（〒179）で6割近くと多くなっている。「交通の便がよい」はI地区（〒176）でほぼ6割と多くなっている。

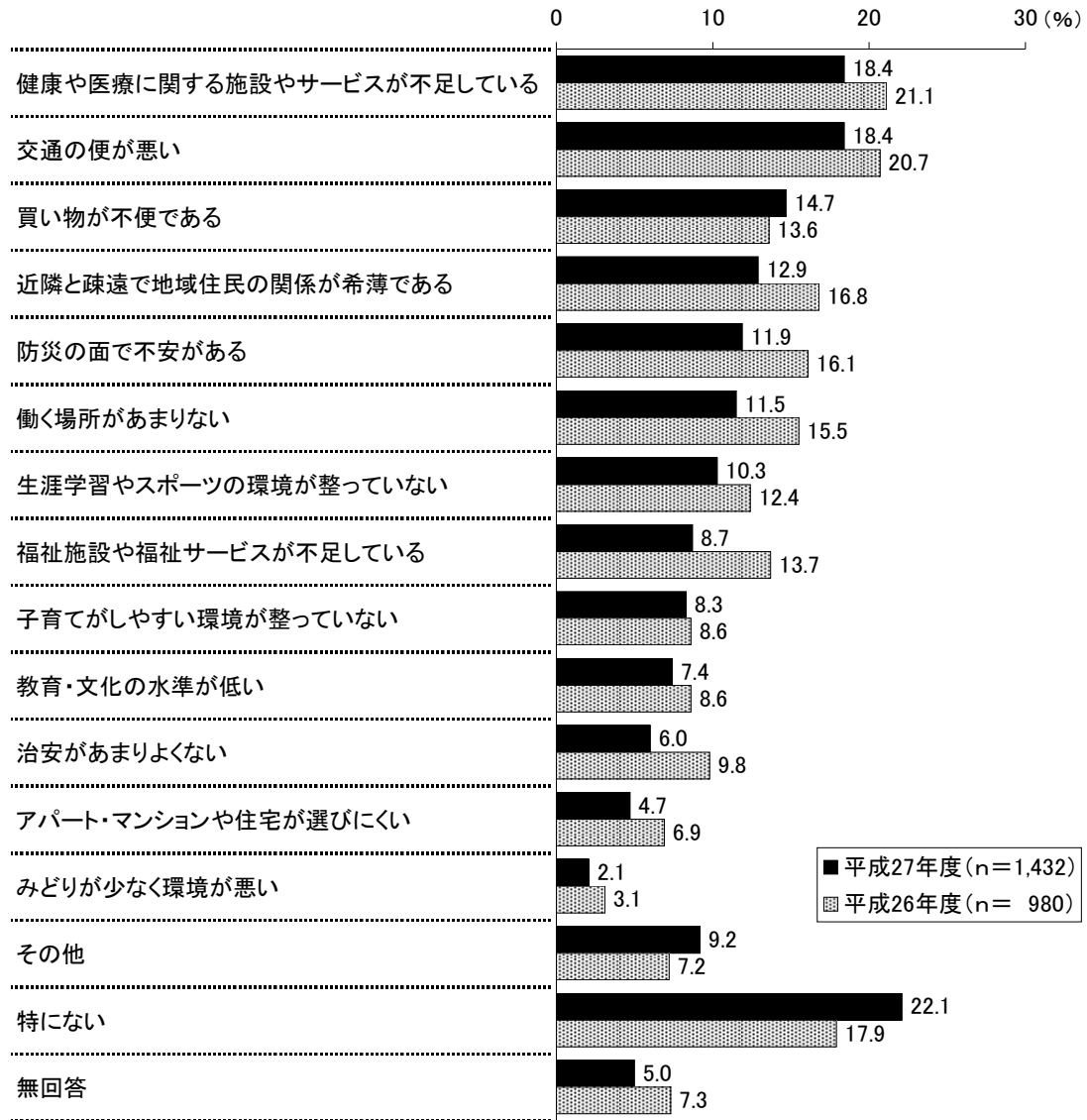
住みごち評価別にみると、「治安が比較的よい」は『肯定的評価』の方が26.8ポイント、「みどりが豊かで環境がよい」は『肯定的評価』の方が25.3ポイント、それぞれ高くなっている。（図1-3-3）

(4) 練馬区が住みにくいと感じるところ

◇「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」と「交通の便が悪い」が2割近く

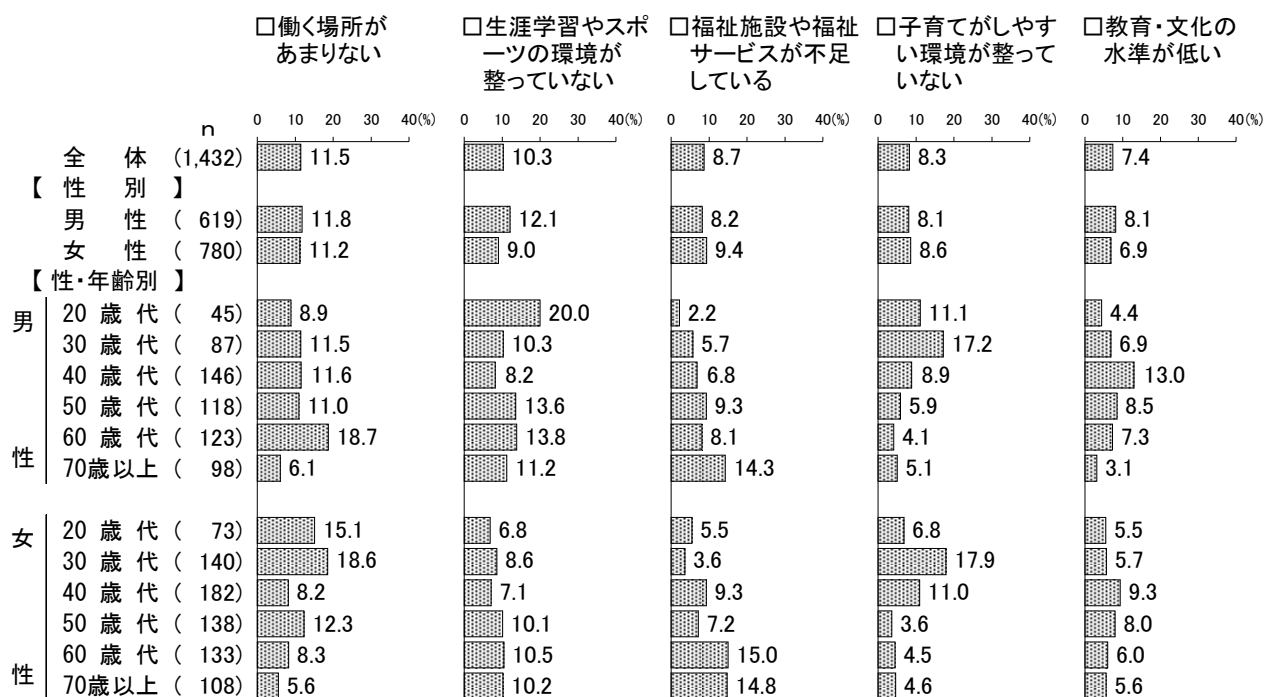
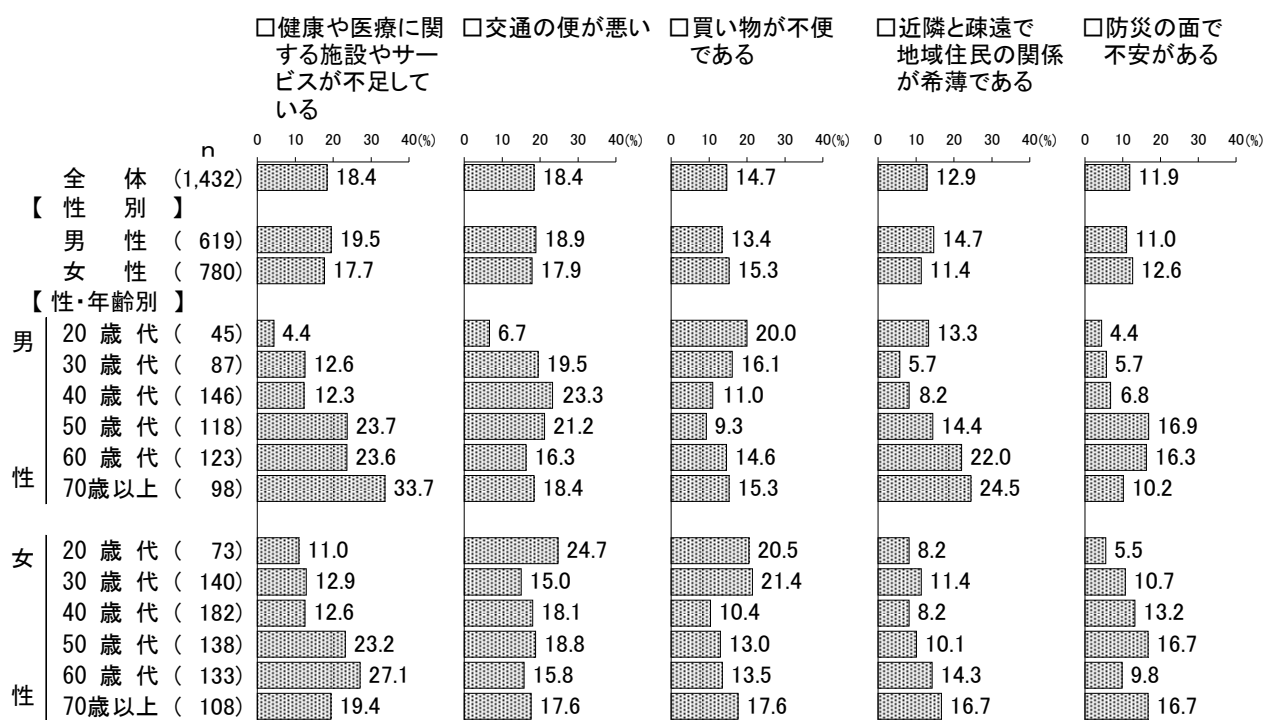
問4 では反対に、あなたが、練馬区が住みにくいと感じるところは、どんなところですか。次の中から住みにくいと感じることを選んでください。(○は3つまで)

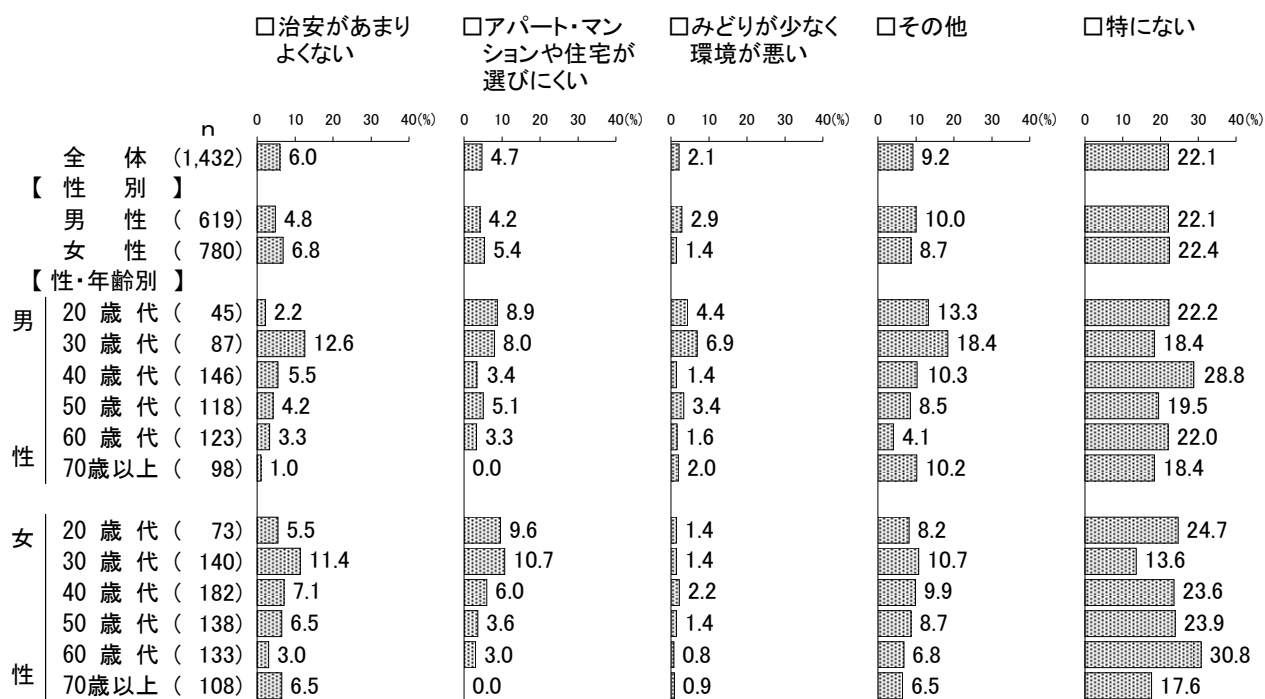
図1-4-1 練馬区が住みにくいと感じるところ



練馬区が住みにくいと感じるところを聞いたところ、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」と「交通の便が悪い」（ともに18.4%）が2割近くで最も多く、次いで「買い物が不便である」（14.7%）、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」（12.9%）、「防災の面で不安がある」（11.9%）、「働く場所があまりない」（11.5%）などの順になっている。（図1-4-1）

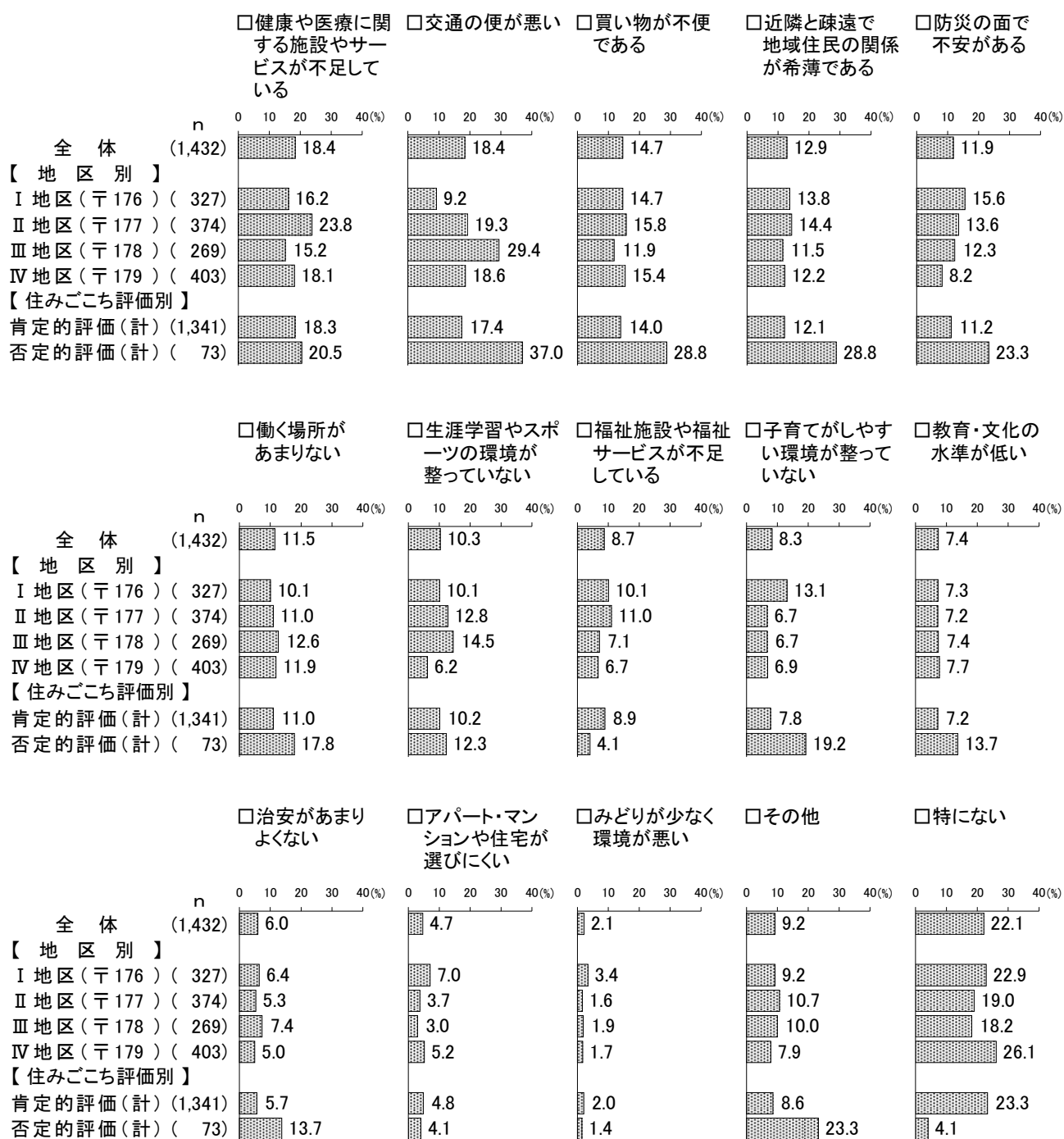
図 1-4-2 練馬区が住みにくいと感じるところ－性別、性・年齢別





性別・年齢別にみると、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」は男性70歳以上で3割を超えて多くなっている。「交通の便が悪い」は女性20歳代で2割半ばと多くなっている。「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」は男性70歳以上で2割半ばと多くなっている。(図1-4-2)

図1-4-3 練馬区が住みにくいと感ずるところ—地区別、住みごち評価別



地区別にみると、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」はII地区(〒177)で2割を超えて多くなっている。「交通の便が悪い」はIII地区(〒178)でほぼ3割と多くなっている。

住みごち評価別にみると、「交通の便が悪い」は『否定的評価』の方が19.6ポイント、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」は『否定的評価』の方が16.7ポイント、それぞれ高くなっている。

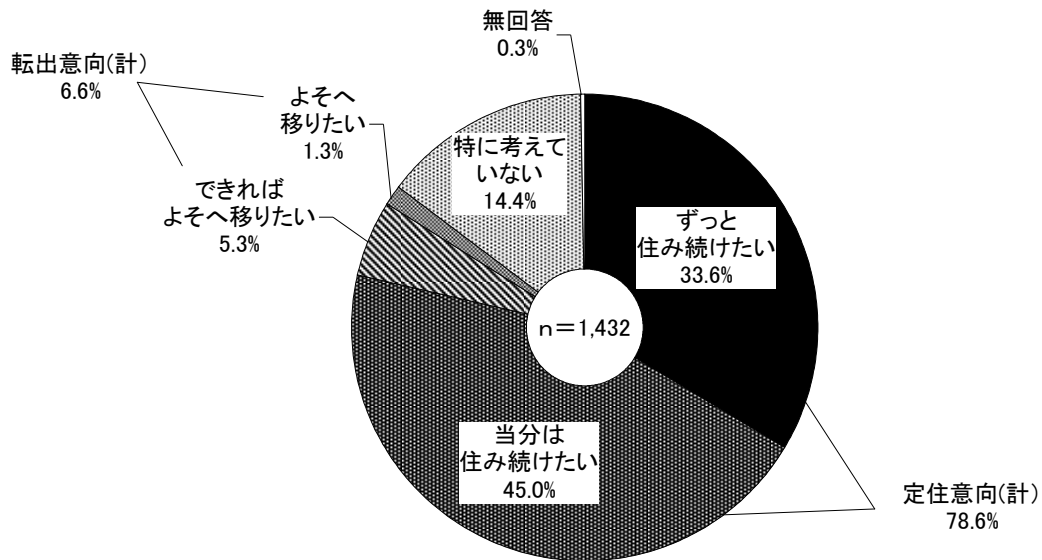
(図1-4-3)

(5) 定住意向

◇『定住意向』が8割近く

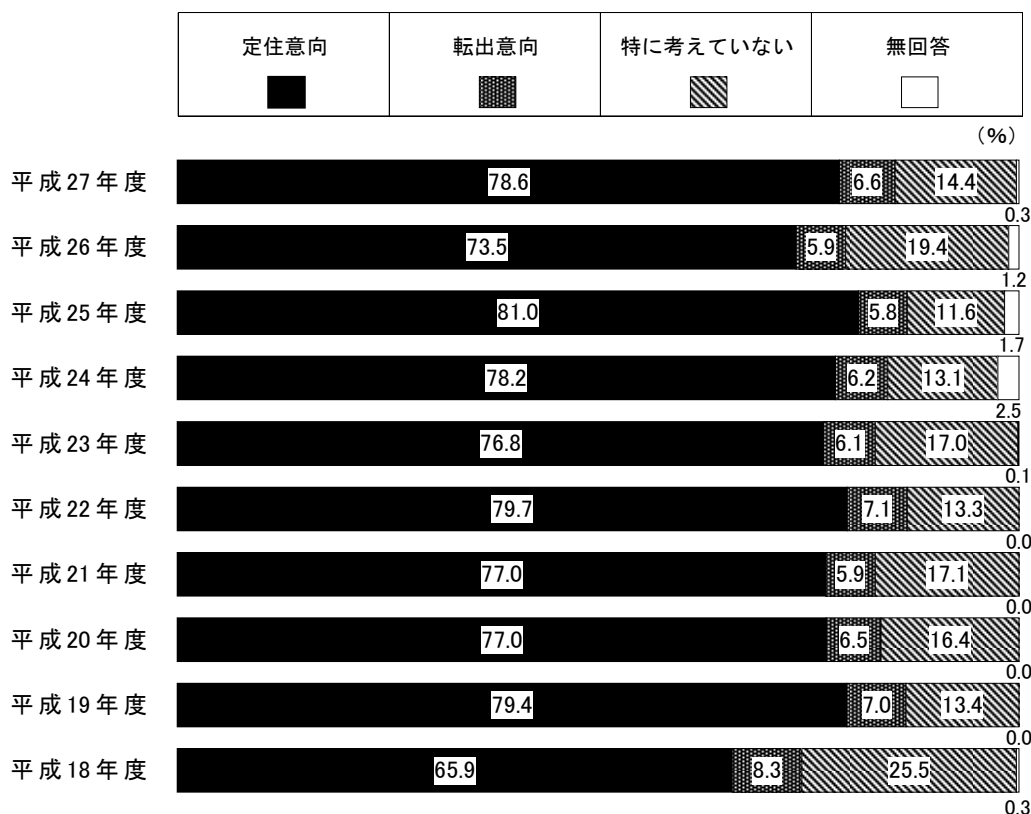
問5 あなたは、これからも引き続き練馬区に住みたいと思いますか。(○は1つ)

図1-5-1 定住意向



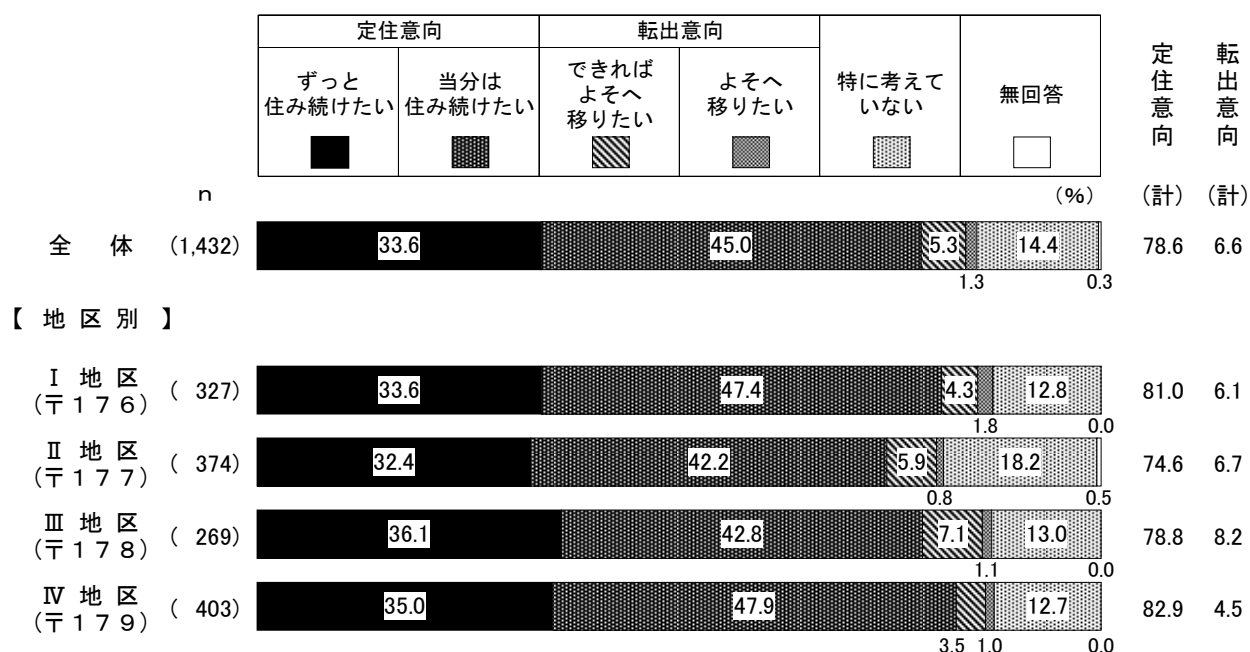
これからも引き続き練馬区に住みたいと思うか聞いたところ、「ずっと住みたい」(33.6%)と「当分は住みたい」(45.0%)を合わせた『定住意向』(78.6%)が8割近くとなっている。一方、「できればよそへ移りたい」(5.3%)と「よそへ移りたい」(1.3%)を合わせた『転出意向』(6.6%)は1割未満となっている。(図1-5-1)

図 1-5-2 定住意向一過年度比較



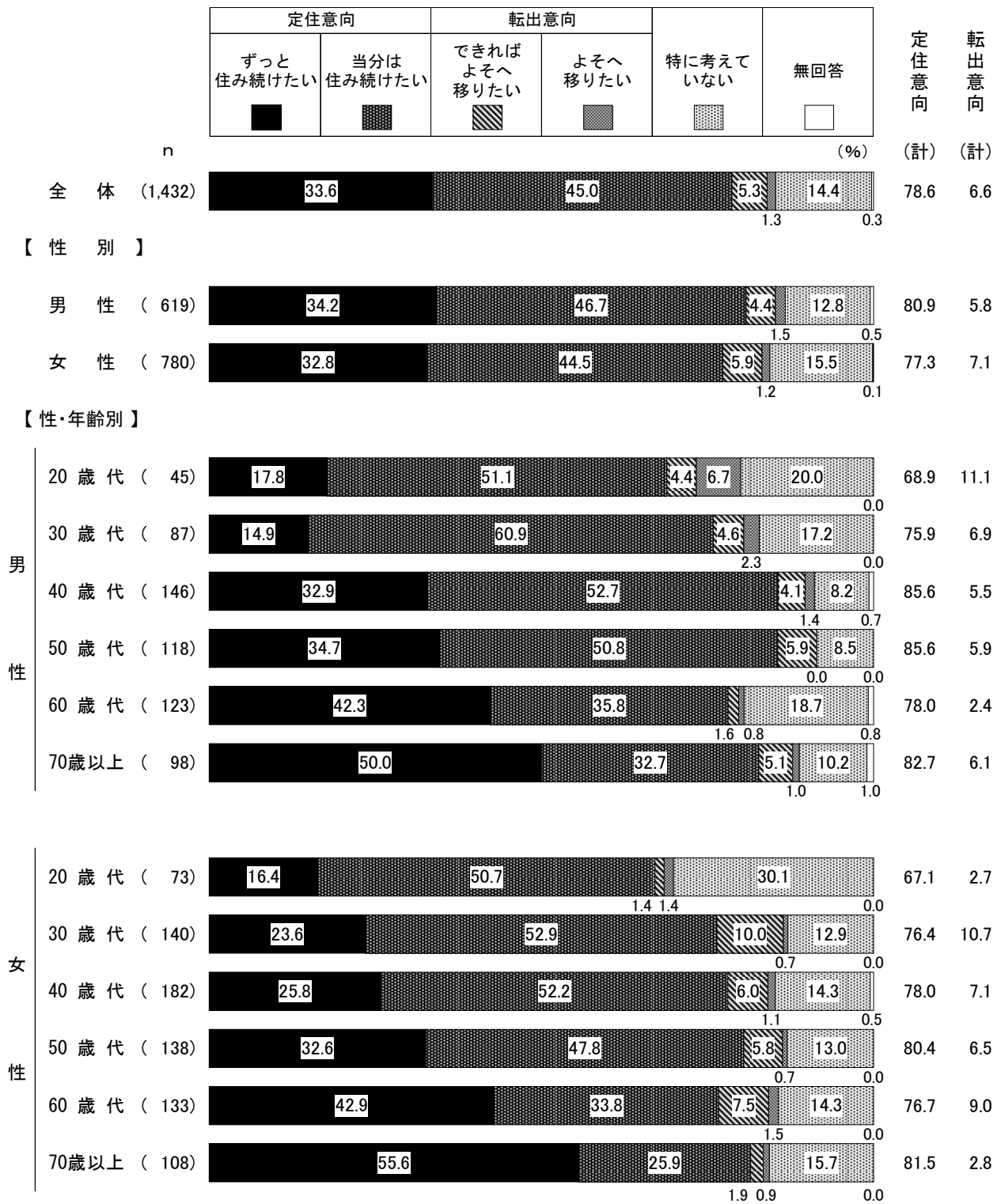
過去の調査と比較すると、『定住意向』は前回調査（平成26年度）より5.1ポイント増加し、平成19年度以降7割以上となっている。（図1-5-2）

図 1-5-3 定住意向一地区別



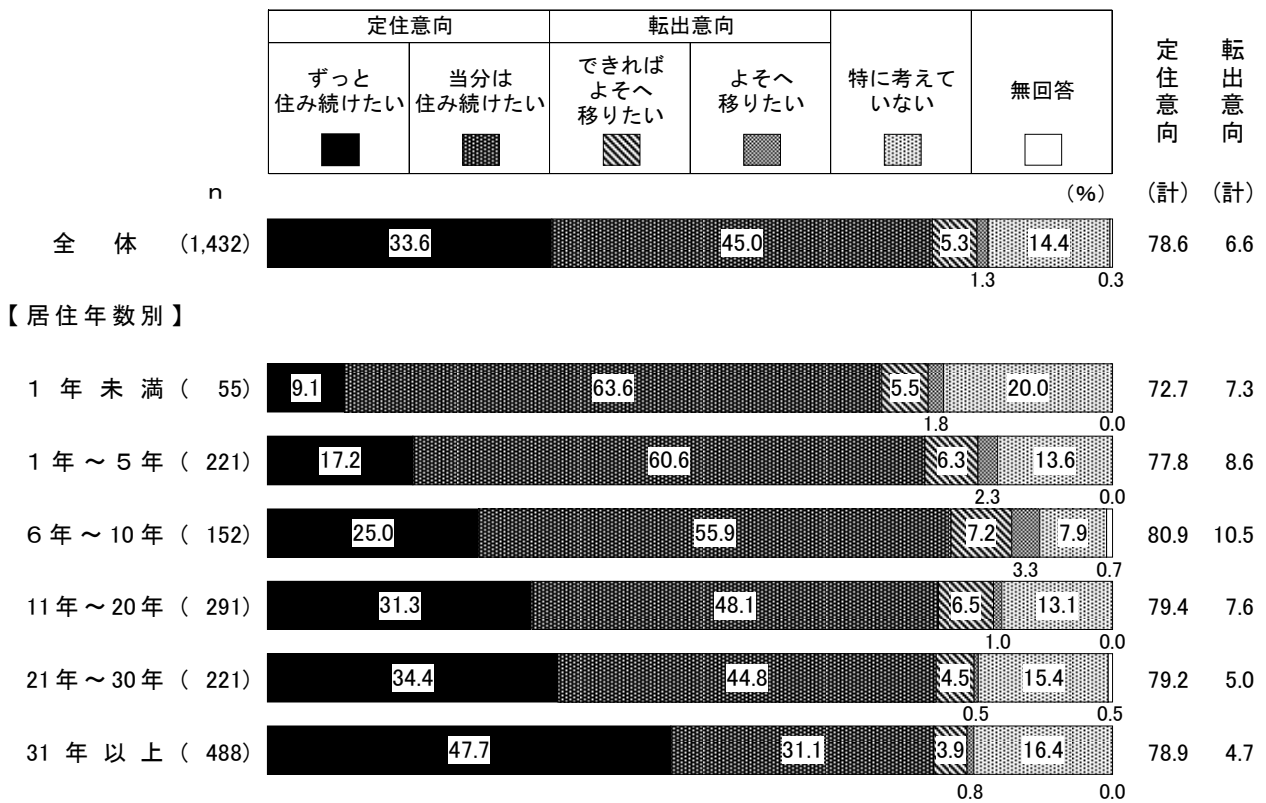
地区別にみると、『定住意向』はI地区（〒176）とIV地区（〒179）で8割を超えて多くなっている。（図1-5-3）

図1-5-4 定住意向—性別、性・年齢別



性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は女性70歳以上で5割半ば、男性70歳以上で5割と多くなっている。(図1-5-4)

図 1-5-5 定住意向-居住年数別



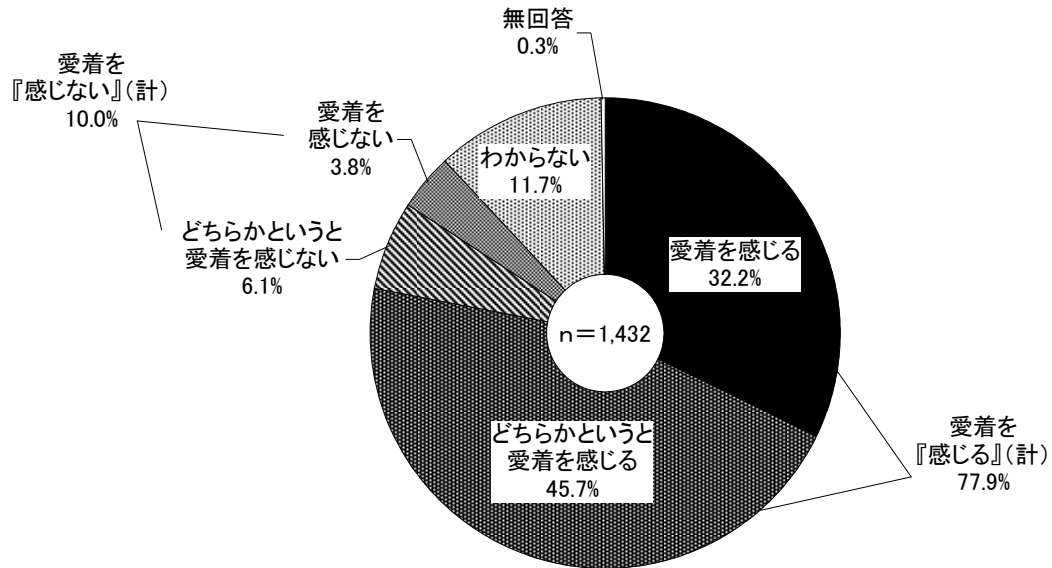
居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、31年以上居住している人で5割近くと多くなっている。(図1-5-5)

(6) 練馬区への愛着

◇愛着を『感じる』が8割近く

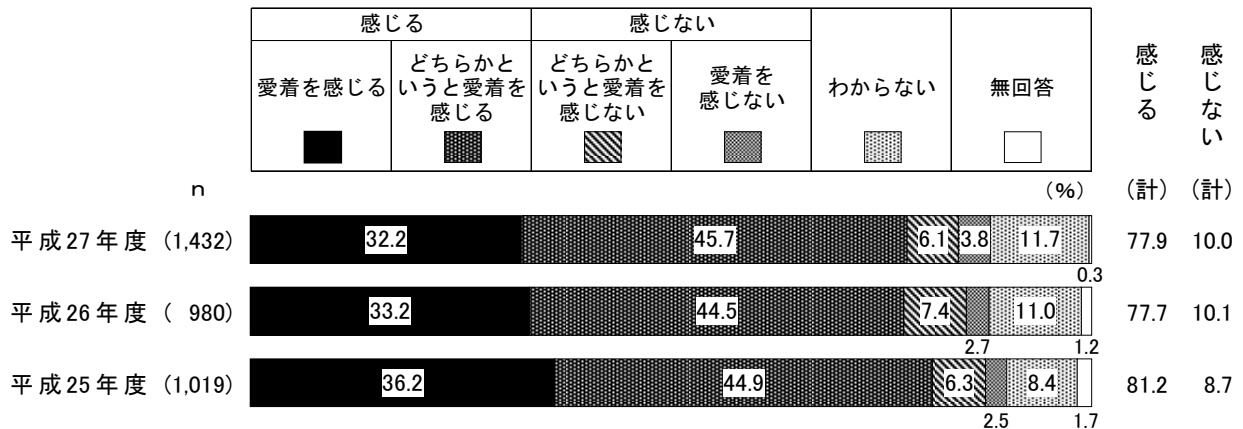
問6 あなたは、練馬区に愛着を感じますか。(○は1つ)

図1-6-1 練馬区への愛着



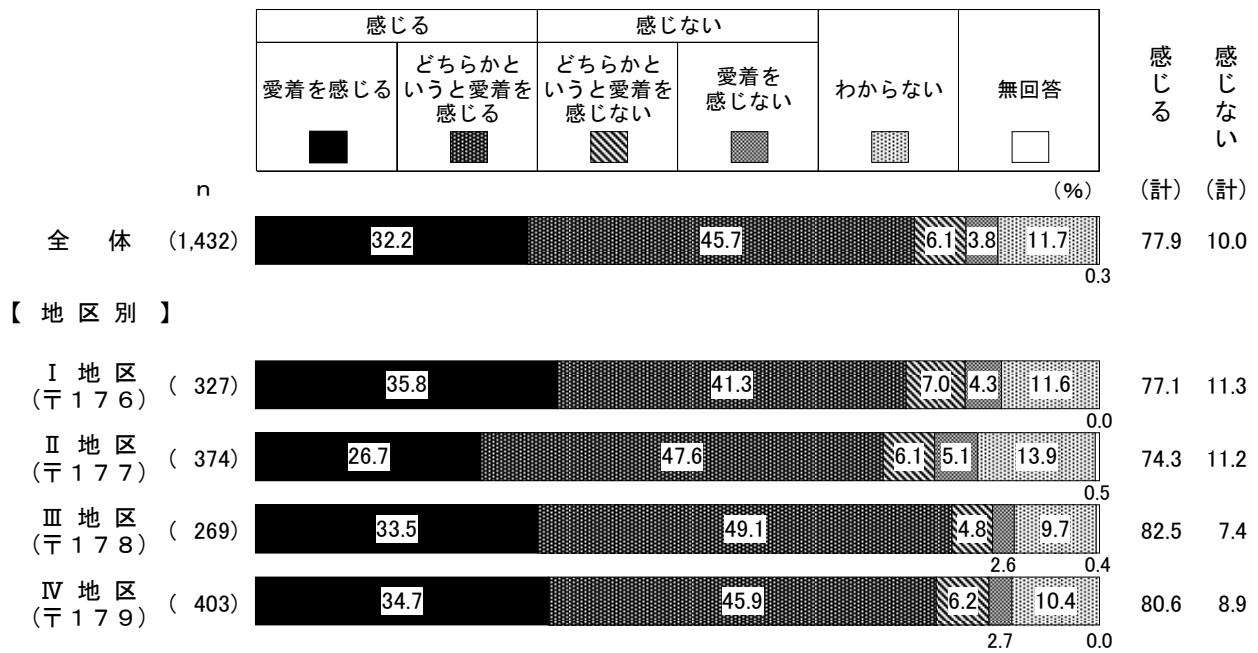
練馬区に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じる」(32.2%)と「どちらかという愛着を感じる」(45.7%)を合わせた、愛着を『感じる』(77.9%)が8割近くとなっている。一方、「どちらかという愛着を感じない」(6.1%)と「愛着を感じない」(3.8%)を合わせた、愛着を『感じない』(10.0%)は1割となっている。(図1-6-1)

図1-6-2 練馬区への愛着一過年度比較



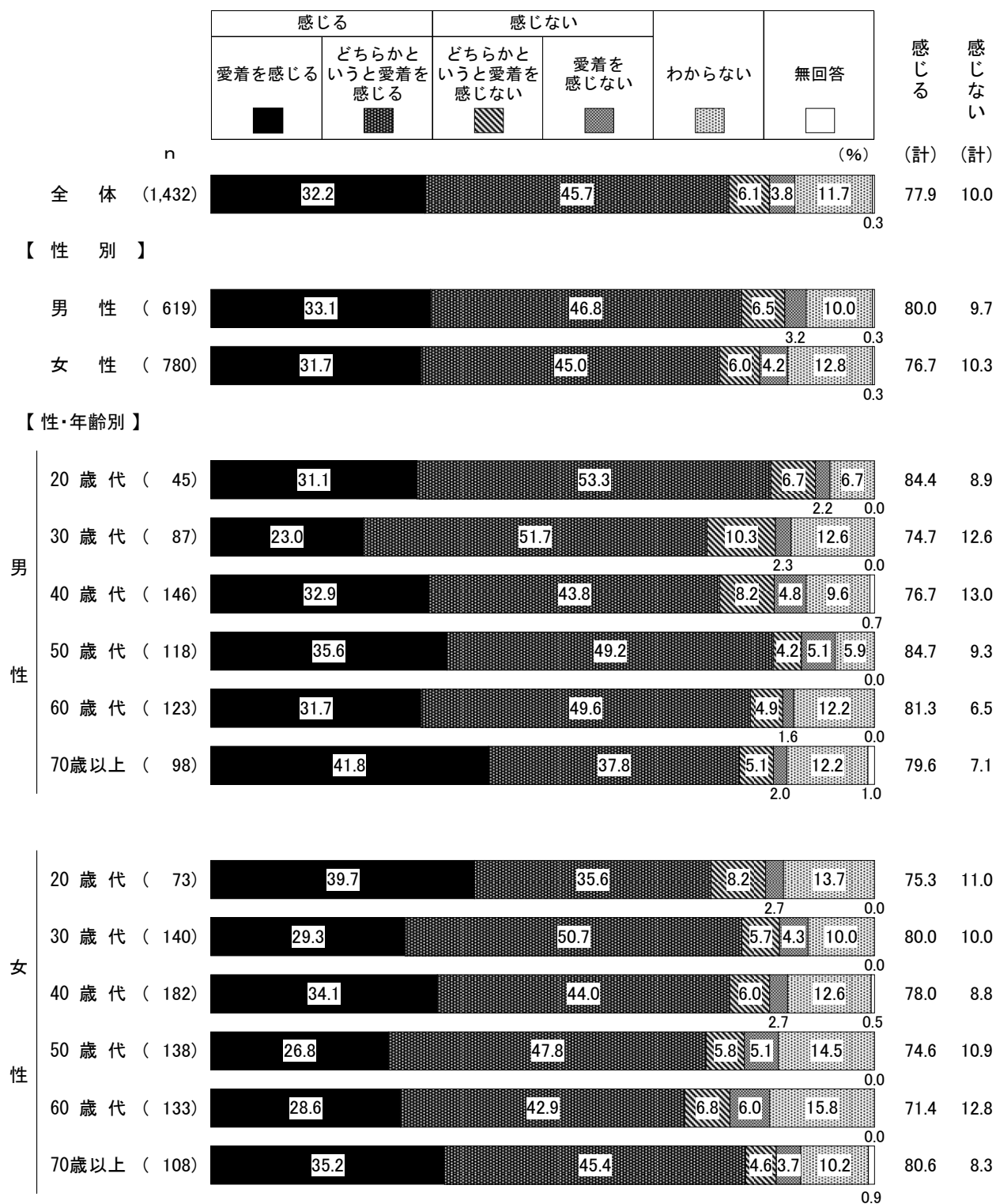
過去の調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。(図1-6-2)

図 1-6-3 練馬区への愛着—地区別



地区別にみると、愛着を『感じる』はⅢ地区（〒178）とⅣ地区（〒179）で8割台と多くなっている。
 (図 1-6-3)

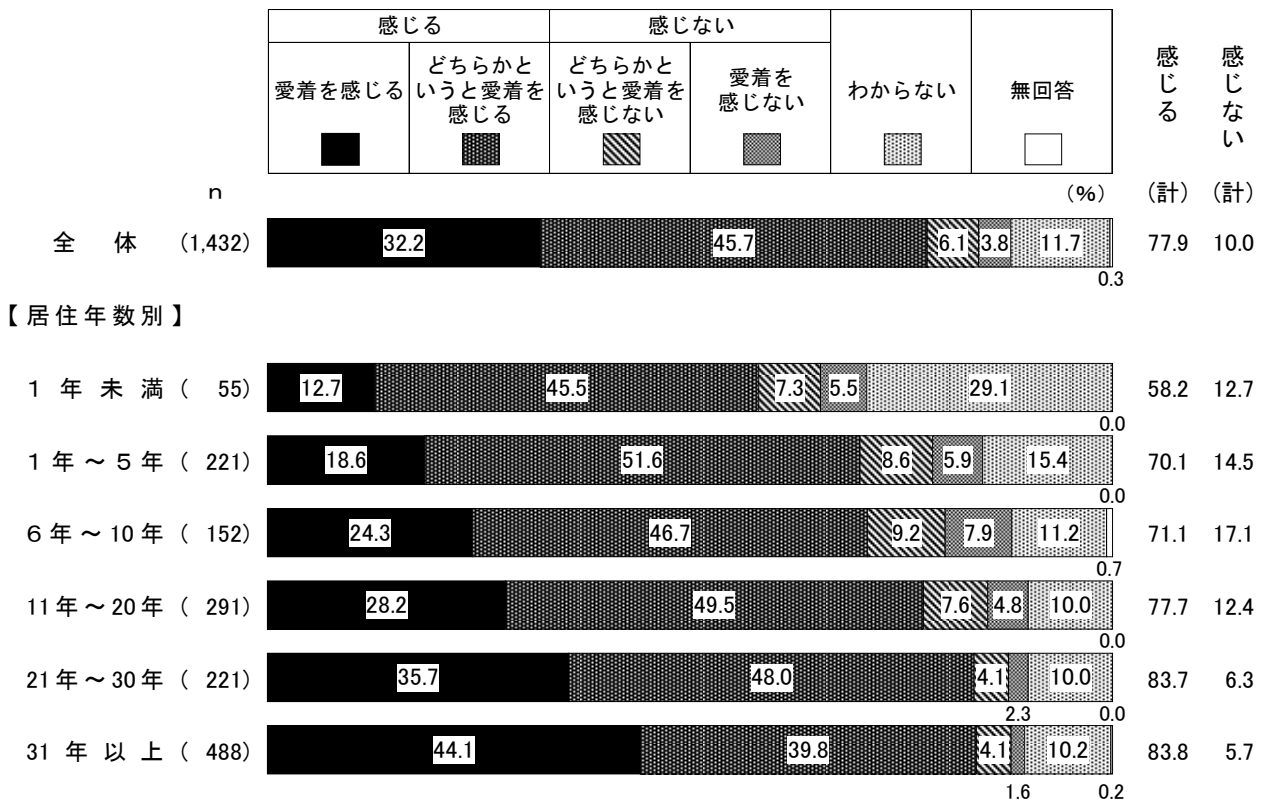
図 1-6-4 練馬区への愛着—性別、性・年齢別



性・年齢別にみると、愛着を『感じる』は男性の20歳代と50歳代で8割半ばと多くなっている。

(図 1-6-4)

図 1-6-5 練馬区への愛着—居住年数別



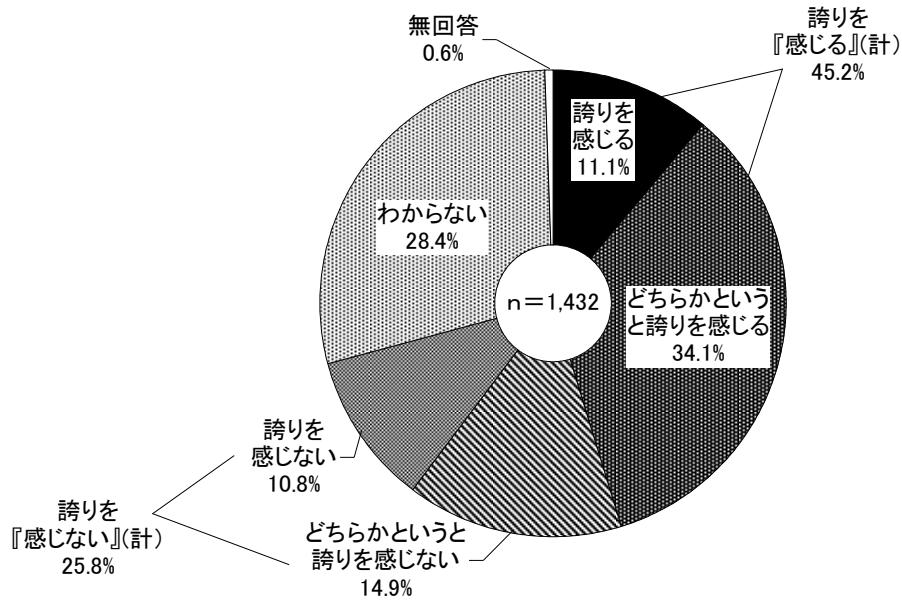
居住年数別にみると、愛着を『感じる』は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、21年以上居住している人で8割を超えて多くなっている。(図 1-6-5)

(7) 練馬区に対する誇り

◇誇りを『感じる』が4割半ば

問7 あなたは、練馬区に住んでいることに誇りを感じますか。(○は1つ)

図1-7-1 練馬区に対する誇り



練馬区に住んでいることに誇りを感じるか聞いたところ、「誇りを感じる」(11.1%)と「どちらかという
と誇りを感じる」(34.1%)を合わせた、誇りを『感じる』(45.2%)が4割半ばとなっている。一方、「どちらかという
と誇りを感じない」(14.9%)と「誇りを感じない」(10.8%)を合わせた、誇りを『感じない』(25.8%)は2割半ばとなっている。(図1-7-1)

図1-7-2 練馬区に対する誇り一過年度比較

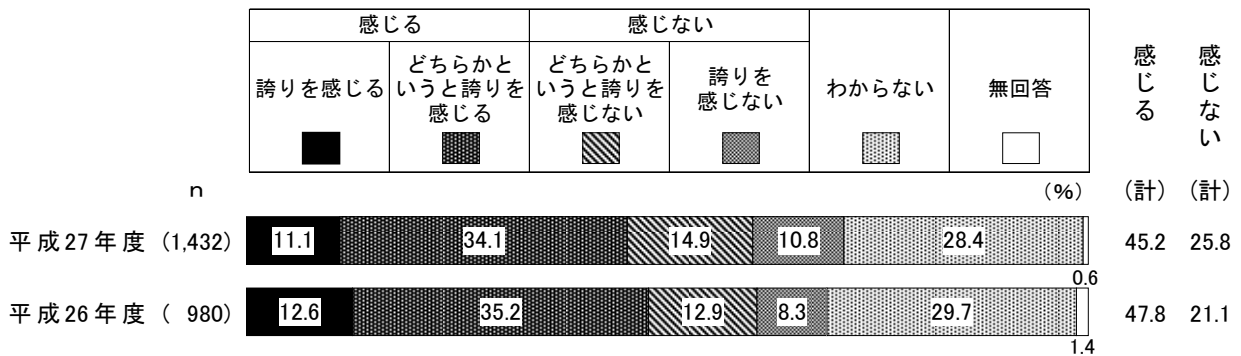
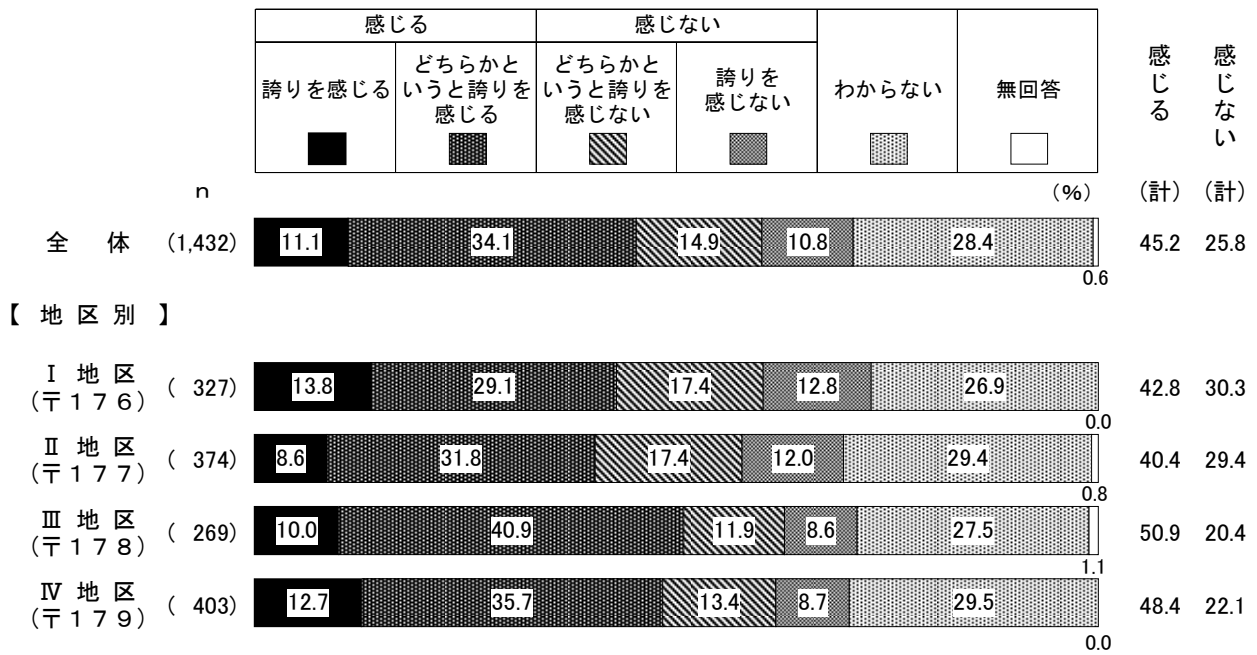
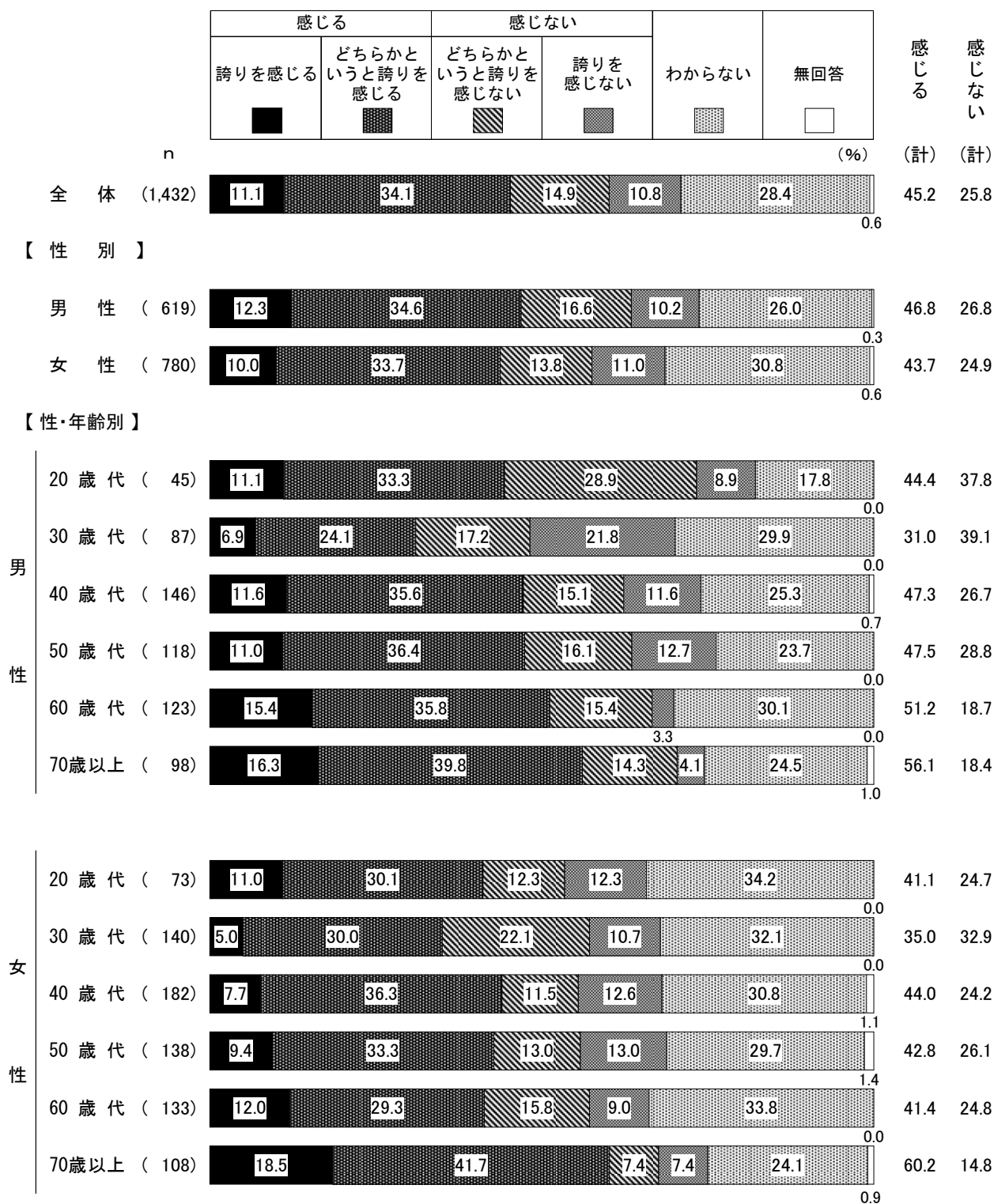


図 1-7-3 練馬区に対する誇り—地区別



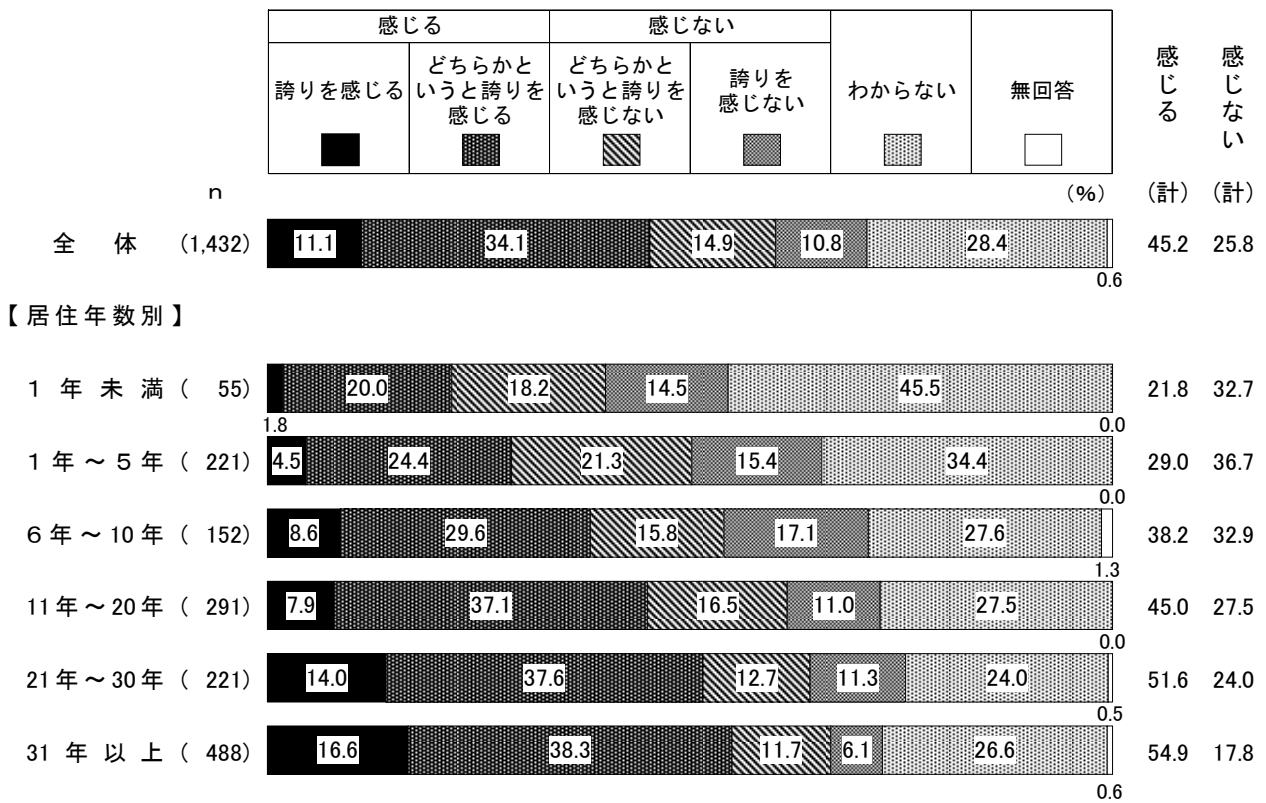
地区別にみると、誇りを『感じる』はIII地区（〒178）でほぼ5割と多くなっている。（図 1-7-3）

図1-7-4 練馬区に対する誇り—性別、性・年齢別



性・年齢別にみると、誇りを『感じる』は女性70歳以上で6割、男性70歳以上で5割半ばと多くなっている。(図1-7-4)

図 1-7-5 練馬区に対する誇り—居住年数別



居住年数別にみると、誇りを『感じる』は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、31年以上居住している人で5割半ばと多くなっている。(図1-7-5)

(8) 区施策への満足度と必要性

◇満足度の高い施策は「健康づくりの推進」が7割半ば、「みどりの保全と創造」が7割を超える

◇必要性の高い施策は「医療環境の充実」と「高齢者福祉」が8割半ば、「災害に強い安全なまちづくり」、「学校教育」、「子育て支援」が8割を超える

問8 区は様々な施策を行っていますが、あなたは、次にあげる施策にどの程度満足していますか。(各項目 ○は1つ)

問11 これらの施策に関する今後の必要性について、どのように考えますか。

(各項目 ○は1つ)

子ども・子育て	1 子育て支援 (保育所・学童クラブの充実、幼稚園の預かり保育、一時預かりや親子で交流できる場の拡充、子育ての相談をしやすい体制の整備など)
	2 学校教育 (学力の定着・向上、教員の質の向上、教育環境の整備、家庭や地域と連携した教育の推進、支援が必要な子どもたちへの取組の充実など)
	3 青少年の健全育成 (子ども向け講座・行事、社会環境の浄化活動、遊び場の確保、青少年館など)
福祉・医療・健康	4 高齢者福祉 (医療・介護等の連携による高齢者の生活支援、高齢者施設の整備、介護予防・介護サービスの充実など)
	5 障害者福祉(生活状況に応じた地域生活支援の強化、家族支援、住まいの確保、就労支援など)
	6 医療環境の充実(病床の確保、病院整備の促進、在宅療養ネットワークの構築など)
	7 地域福祉の推進 (地域における平常時の見守り、災害時の要援護者支援の充実、民生委員による福祉活動など)
	8 健康づくりの推進(健康診査、がん検診、母子保健、健康相談、食育、感染症対策、精神保健など)
	9 生活の安定に向けた自立支援(生活の相談や支援、生活保護など)
都市基盤整備	10 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 (都営大江戸線の延伸、都市計画道路の整備、西武新宿線の立体化、公共交通空白地域の改善など)
	11 災害に強い安全なまちづくり (建築物の耐震化・不燃化、無電柱化、木造住宅密集地域の改善、都市型水害対策の強化など)
	12 地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり(自主的な防災への取組支援、防犯・防火など)
	13 交通安全対策(歩行者空間の確保、自転車対策など)
	14 駅周辺のまちづくり (駅へのアクセス道路、生活利便性の高い駅前空間、良好な景観の形成など)
	15 エネルギー政策の展開 (災害時のエネルギーセキュリティの確保、住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ向けた取組、省エネルギー、地球温暖化防止など)
	16 循環型社会づくり(ごみの減量・リサイクル・環境学習の推進など)
	17 地域環境の保全(騒音などの公害問題、たばこのポイ捨て・歩きたばこ防止など)
	18 住まいの支援(区営住宅の運営、高齢者世帯への住宅支援など)

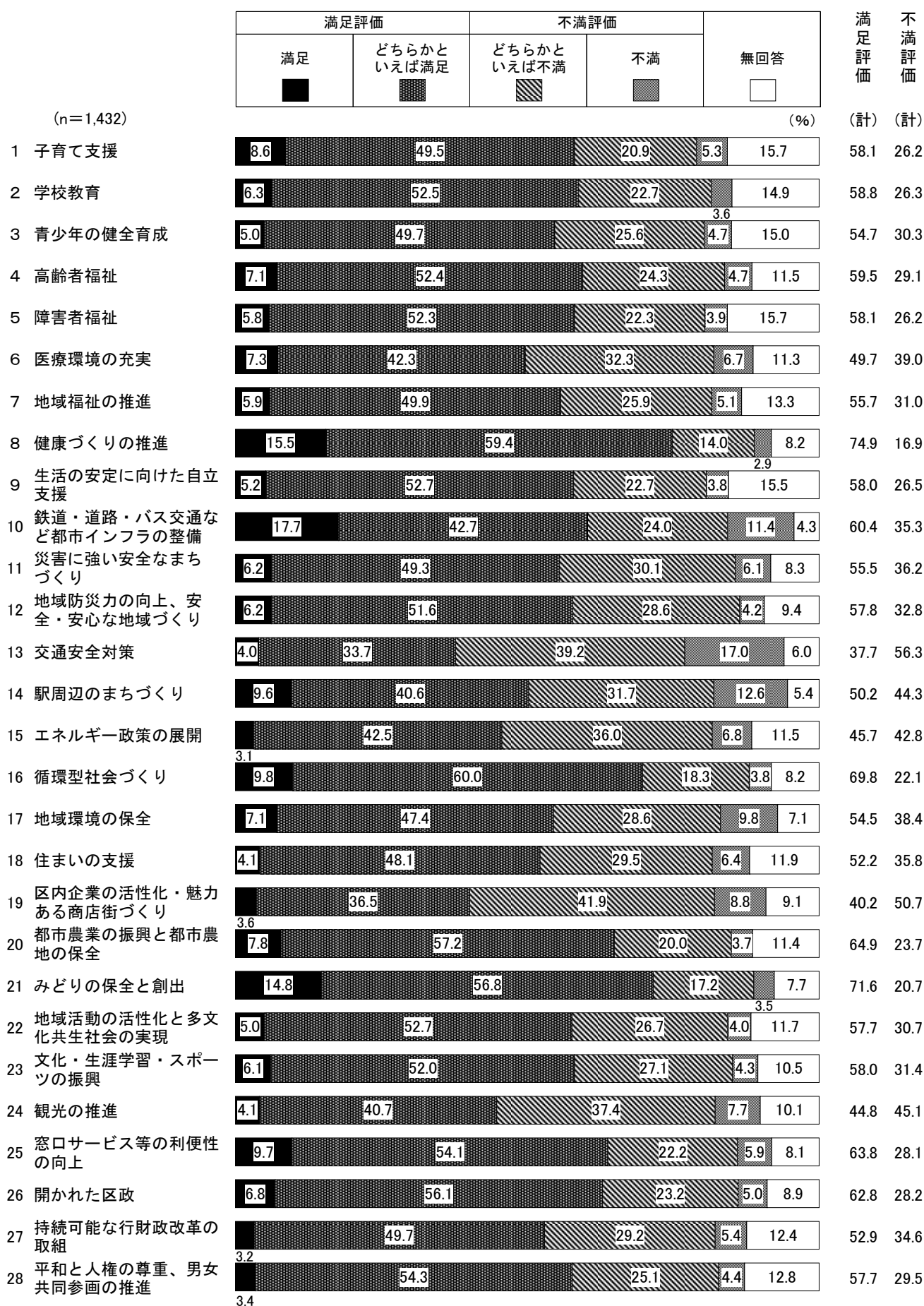
練馬区 の魅力	19 区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり (創業支援、企業活動活性化、個店・商店街支援など)
	20 都市農業の振興と都市農地の保全
	21 みどりの保全と創出 (公園の整備、樹林地の保全、みどりの美しい街並みづくりなど)
	22 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現 (町会・自治会等の支援、地域集会施設の運営、国際交流など)
	23 文化・生涯学習・スポーツの振興
	24 観光の推進 (徒歩や自転車によるまち歩き観光、区の魅力・観光情報の発信など)
区政 運営	25 窓口サービス等の利便性の向上 (窓口の受付日や時間の拡充、窓口の効率化、対応の質の向上など)
	26 開かれた区政 (区報やホームページなどの情報発信の充実、区民参加・協働の推進など)
	27 持続可能な行財政改革の取組 (サービスの質の向上や費用対効果、受益者負担、行政と民間の役割分担等の観点からのサービス・事務の見直しなど)
	28 平和と人権の尊重、男女共同参画の推進 (啓発イベントや講座、女性に対する各種相談の実施、情報誌の発行など)

満足度

「満足」および「どちらかといえば満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかといえば不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。(図1-8-1)

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①健康づくりの推進	(74.9%)	①交通安全対策	(56.3%)
②みどりの保全と創出	(71.6%)	②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(50.7%)
③循環型社会づくり	(69.8%)	③観光の推進	(45.1%)
④都市農業の振興と都市農地の 保全	(64.9%)	④駅周辺のまちづくり	(44.3%)
⑤窓口サービス等の利便性の向上	(63.8%)	⑤エネルギー政策の展開	(42.8%)

図 1-8-1 区施策への満足度



必要性

「とても必要」および「必要」の2項目を合わせた『必要性が高い評価』と、「どちらかといえば必要」および「あまり必要でない」の2項目を合わせた『必要性が低い評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようにになっている。(図1-8-2)

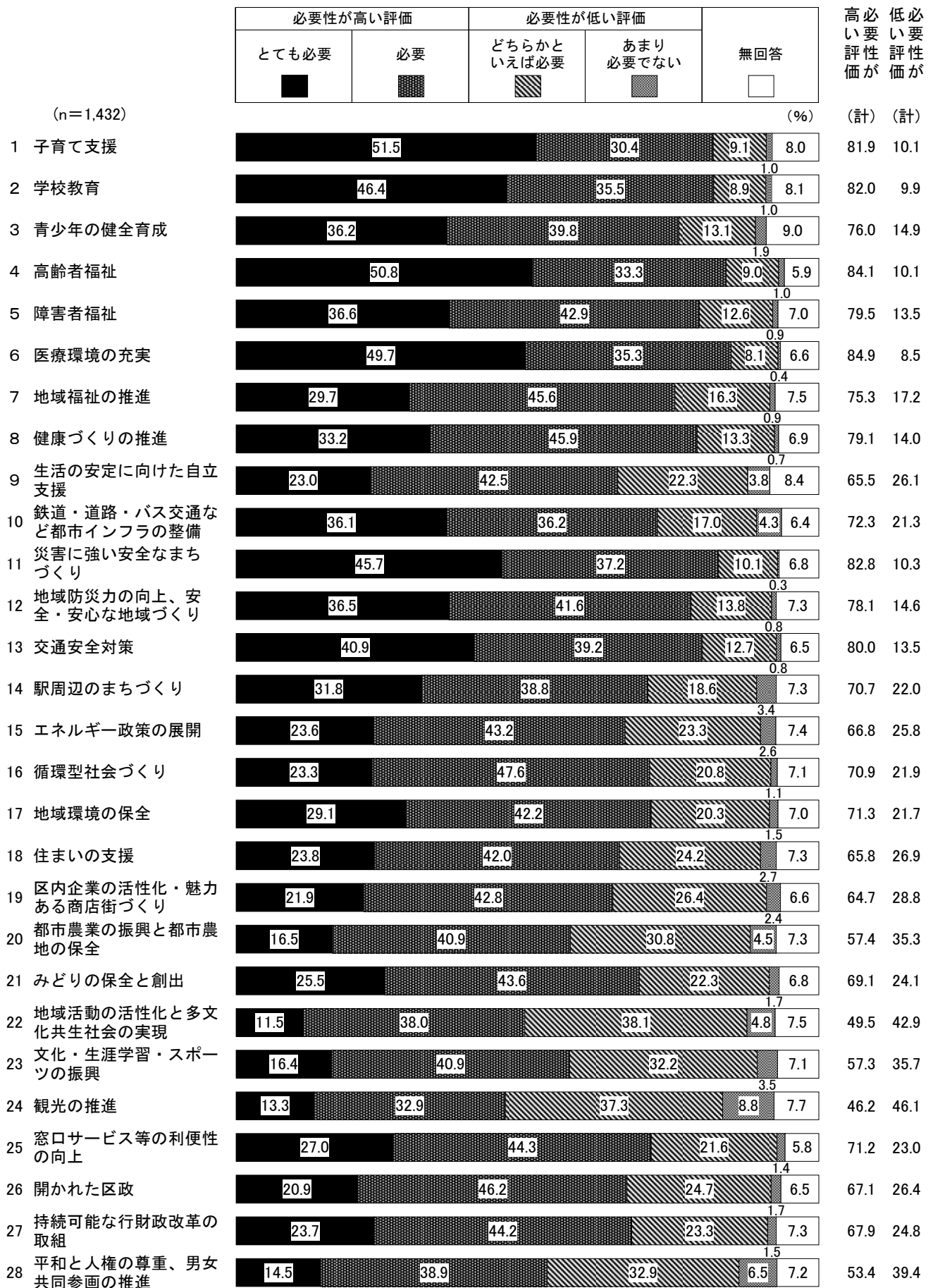
『必要性が高い評価』上位5項目

- | | |
|----------------|---------|
| ①医療環境の充実 | (84.9%) |
| ②高齢者福祉 | (84.1%) |
| ③災害に強い安全なまちづくり | (82.8%) |
| ④学校教育 | (82.0%) |
| ⑤子育て支援 | (81.9%) |

『必要性が低い評価』上位5項目

- | | |
|--------------------------|---------|
| ①観光の推進 | (46.1%) |
| ②地域活動の活性化と多文化共生社会の
実現 | (42.9%) |
| ③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進 | (39.4%) |
| ④文化・生涯学習・スポーツの振興 | (35.7%) |
| ⑤都市農業の振興と都市農地の保全 | (35.3%) |

図 1-8-2 区施策への必要性



加重平均値

満足度と必要性を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{満足度評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「満足」の回答者数} \times 2) + (\text{「どちらかといえば満足」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかといえば不満」の回答者数} \times -1) + (\text{「不満」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

$$\text{必要性評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「とても必要」の回答者数} \times 2) + (\text{「必要」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかといえば必要」の回答者数} \times -1) + (\text{「あまり必要でない」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

この計算方法では、評価点は+2.0点～-2.0点の間に分布し、中間点の0.0点を境に、+2.0点に近くなるほど満足度・必要性は高くなり、逆に、-2.0点に近くなるほど満足度・必要性が低くなる。

満足度と必要性の加重平均値の上位5項目と下位5項目は、以下のようになっている。

(表1-8-1)

満足度評価点 上位5項目		満足度評価点 下位5項目	
①健康づくりの推進	(0.77)	①交通安全対策	(-0.34)
②みどりの保全と創出	(0.67)	②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(-0.17)
③循環型社会づくり	(0.58)	③観光の推進	(-0.04)
④都市農業の振興と都市農地の保全	(0.51)	④エネルギー政策の展開	(-0.01)
⑤窓口サービス等の利便性の向上	(0.43)	⑤駅周辺のまちづくり	(0.03)
必要性評価点 上位5項目		必要性評価点 下位5項目	
①医療環境の充実	(1.34)	①観光の推進	(0.05)
②子育て支援	(1.33)	②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	(0.14)
③高齢者福祉	(1.31)	③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	(0.24)
④学校教育	(1.28)	④都市農業の振興と都市農地の保全	(0.37)
⑤災害に強い安全なまちづくり	(1.27)	④文化・生涯学習・スポーツの振興	(0.37)

表 1-8-1 区施策への満足度と必要性（加重平均値）－地区別

		満足度評価点					必要性評価点				
		区 全 体	I 地 区	II 地 区	III 地 区	IV 地 区	区 全 体	I 地 区	II 地 区	III 地 区	IV 地 区
子ども 子育て	1 子育て支援	0.42	0.29	0.36	0.48	0.56	1.33	1.35	1.41	1.29	1.28
	2 学校教育	0.41	0.44	0.41	0.40	0.42	1.28	1.30	1.31	1.28	1.24
	3 青少年の健全育成	0.29	0.29	0.20	0.26	0.41	1.05	1.10	1.13	0.98	1.00
福祉・医療・健康	4 高齢者福祉	0.37	0.40	0.30	0.43	0.43	1.31	1.32	1.29	1.37	1.29
	5 障害者福祉	0.40	0.45	0.35	0.39	0.47	1.09	1.04	1.14	1.04	1.12
	6 医療環境の充実	0.13	0.21	0.10	-0.01	0.20	1.34	1.34	1.36	1.33	1.32
	7 地域福祉の推進	0.29	0.34	0.22	0.33	0.34	0.94	0.90	0.99	0.94	0.98
	8 健康づくりの推進	0.77	0.70	0.77	0.86	0.83	1.05	1.08	1.07	1.00	1.05
	9 生活の安定に向けた自立支援	0.39	0.38	0.35	0.42	0.46	0.64	0.66	0.72	0.51	0.66
都市基盤整備	10 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	0.33	0.79	0.19	-0.15	0.42	0.89	0.72	1.07	1.18	0.71
	11 災害に強い安全なまちづくり	0.21	0.26	0.07	0.05	0.41	1.27	1.31	1.32	1.36	1.16
	12 地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり	0.30	0.31	0.20	0.19	0.45	1.07	1.11	1.07	1.12	1.04
	13 交通安全対策	-0.34	-0.27	-0.41	-0.61	-0.17	1.14	1.19	1.16	1.18	1.07
	14 駅周辺のまちづくり	0.03	0.16	-0.20	-0.04	0.20	0.83	0.83	0.99	0.80	0.74
	15 エネルギー政策の展開	-0.01	-0.04	-0.09	-0.09	0.16	0.67	0.68	0.75	0.55	0.64
	16 循環型社会づくり	0.58	0.56	0.52	0.55	0.71	0.77	0.76	0.82	0.66	0.80
	17 地域環境の保全	0.14	0.12	0.10	0.15	0.18	0.83	0.89	0.88	0.70	0.83
18 住まいの支援	0.16	0.14	0.19	0.15	0.19	0.65	0.72	0.63	0.50	0.69	
練馬区の魅力	19 区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	-0.17	-0.17	-0.34	-0.09	-0.07	0.59	0.65	0.62	0.47	0.62
	20 都市農業の振興と都市農地の保全	0.51	0.44	0.46	0.60	0.56	0.37	0.34	0.43	0.33	0.36
	21 みどりの保全と創出	0.67	0.54	0.66	0.66	0.79	0.74	0.77	0.79	0.68	0.72
	22 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	0.32	0.30	0.25	0.37	0.39	0.14	0.10	0.15	0.06	0.26
	23 文化・生涯学習・スポーツの振興	0.32	0.34	0.24	0.24	0.43	0.37	0.35	0.37	0.37	0.39
	24 観光の推進	-0.04	-0.11	-0.17	-0.01	0.09	0.05	0.02	0.06	-0.08	0.14
区政運営	25 窓口サービス等の利便性の向上	0.43	0.42	0.36	0.43	0.50	0.78	0.79	0.79	0.63	0.86
	26 開かれた区政	0.40	0.37	0.35	0.44	0.48	0.64	0.65	0.69	0.50	0.67
	27 持続可能な行財政改革の取組	0.18	0.17	0.13	0.13	0.31	0.71	0.73	0.69	0.60	0.75
	28 平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	0.31	0.29	0.23	0.30	0.43	0.24	0.20	0.35	0.09	0.29

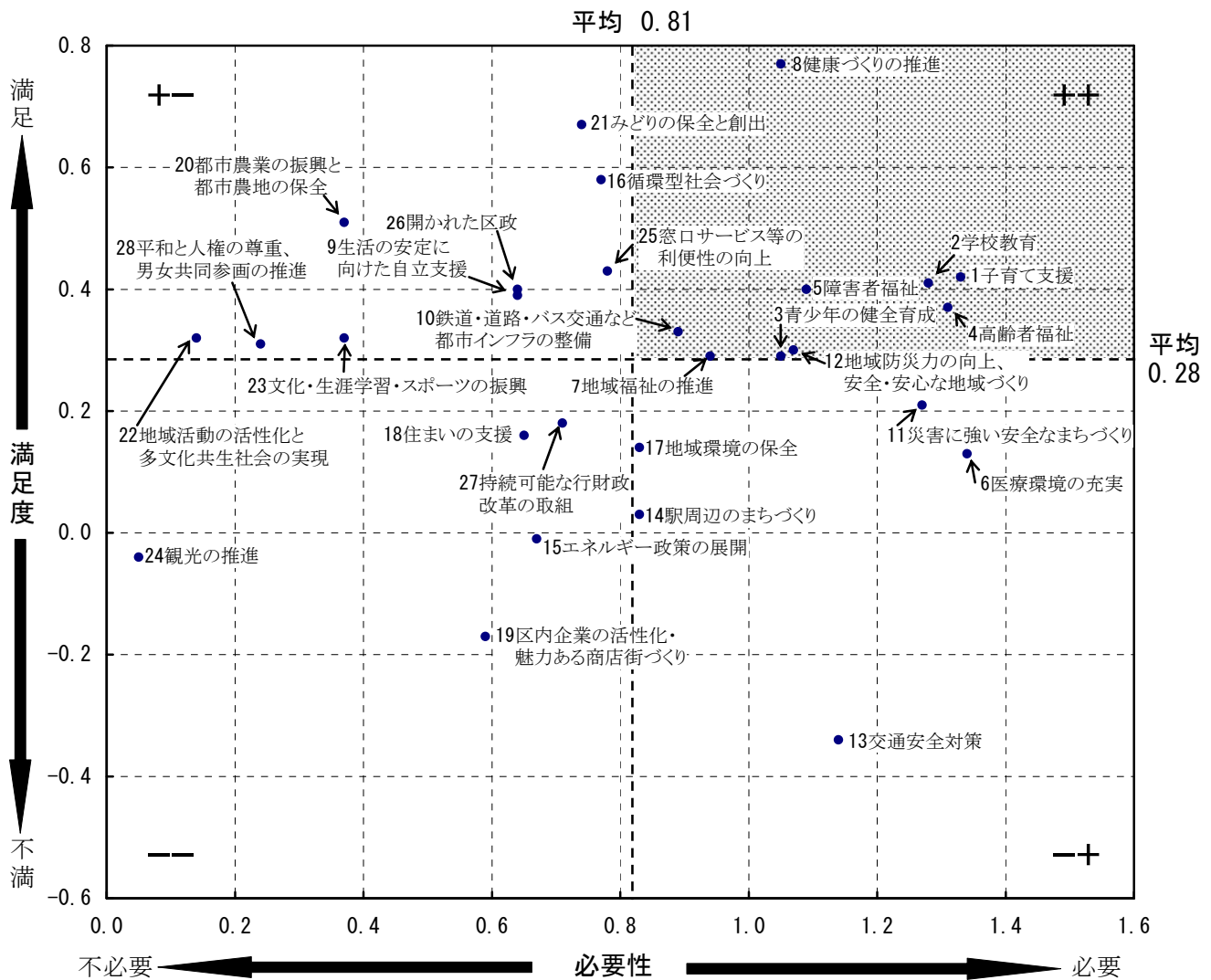
満足度と必要性の相関

満足度と必要性の相関を加重平均値でみると、下の図1-8-3のようになっている。

この相関図では、●の点が上にいくほど満足度が高く、右に行くほど必要性が高くなる。

さらに、満足度の平均（0.28点）および必要性の平均（0.81点）を相関図上に点線を引いて4つに分割し、平均より上位であるか下位であるかが明確になるように示した。

図1-8-3 区施策への満足度と必要性（加重平均値）の相関



これによると、満足度も必要性も高い（++：網かけ部分）のは、「健康づくりの推進」、「子育て支援」、「学校教育」、「障害者福祉」、「高齢者福祉」などである。

満足度が高いが必要性が低い（+-）のは、「地域活動の活性化と多文化共生社会の実現」、「平和と人権の尊重、男女共同参画の推進」、「文化・生涯学習・スポーツの振興」、「都市農業の振興と都市農地の保全」などである。

満足度が低いが必要性が高い（-+）のは、「交通安全対策」、「駅周辺のまちづくり」、「医療環境の充実」、「地域環境の保全」などである。

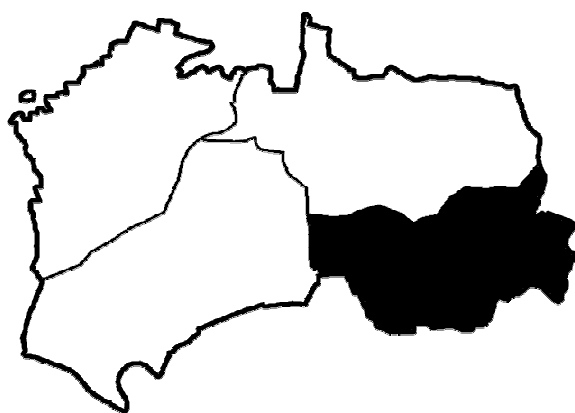
満足度も必要性も低い（--）のは、「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」、「観光の推進」、「エネルギー政策の展開」、「住まいの支援」などである。（図1-8-3）

満足度の区全体と地区別比較

【I地区 (〒176)】

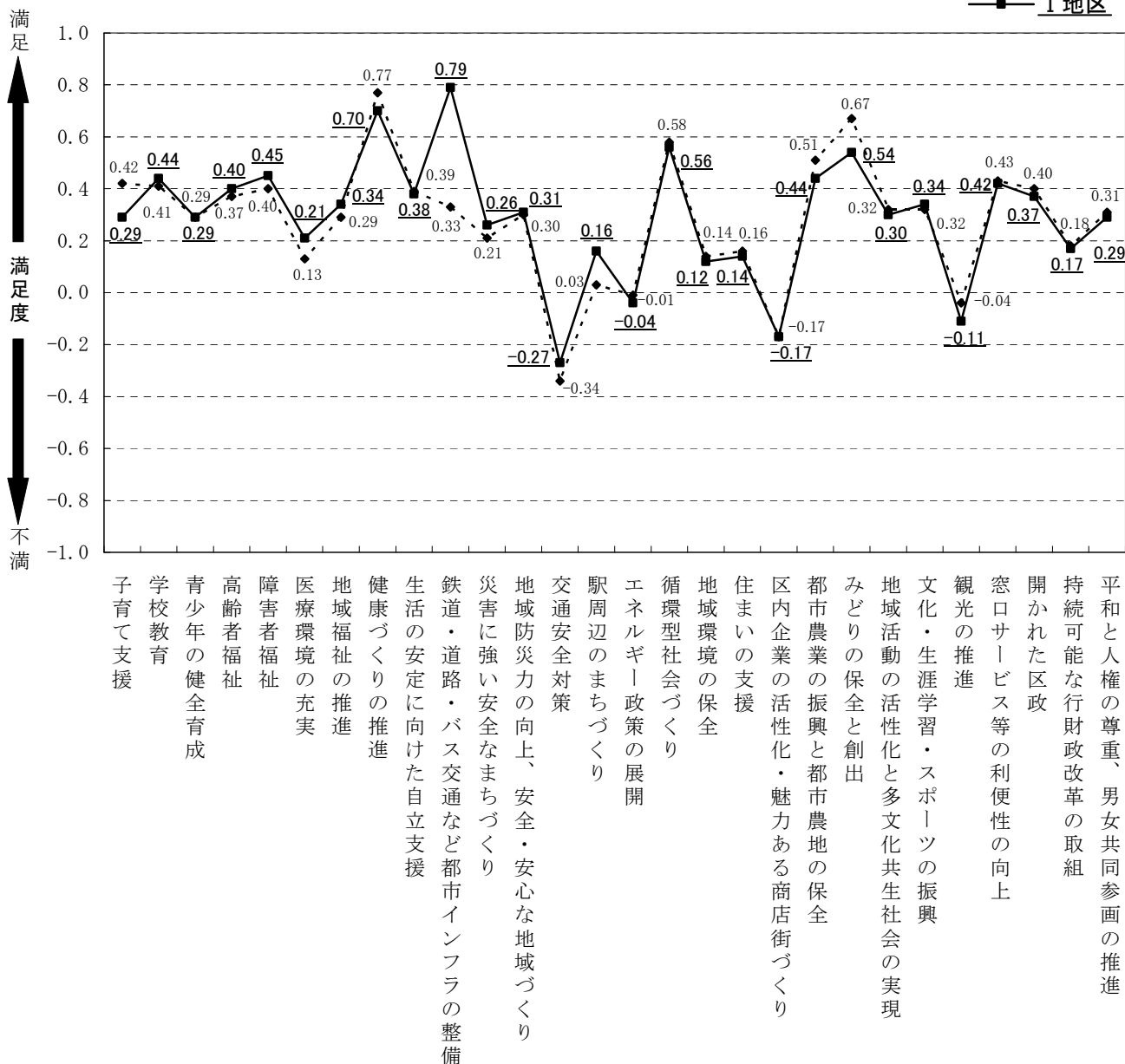
全体と比較して満足度が高いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(+0.46点)、「駅周辺のまちづくり」(+0.13点)、「医療環境の充実」(+0.08点) などである。

満足度が低いのは「子育て支援」、「みどりの保全と創出」(ともに-0.13点)、「健康づくりの推進」、「都市農業の振興と都市農地の保全」、「観光の推進」(いずれも-0.07点) などである。



(図1-8-4)

図1-8-4 区施策の満足度—I地区



【Ⅱ地区（〒177）】

全体と比較して満足度が高いのは「住まいの支援」（+0.03点）である。

満足度が低いのは「駅周辺のまちづくり」（-0.23点）、「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」（-0.17点）、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」、「災害に強い安全なまちづくり」（ともに-0.14点）、「観光の推進」（-0.13点）などである。（図1-8-5）

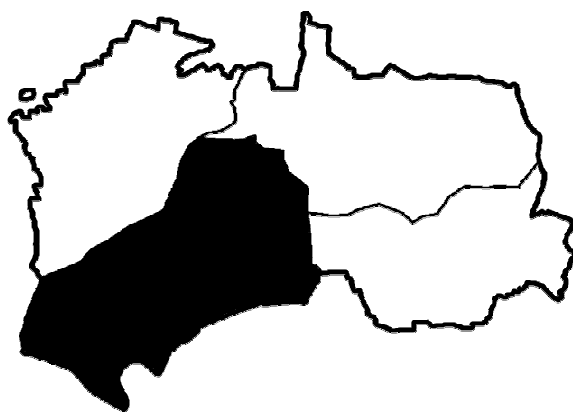
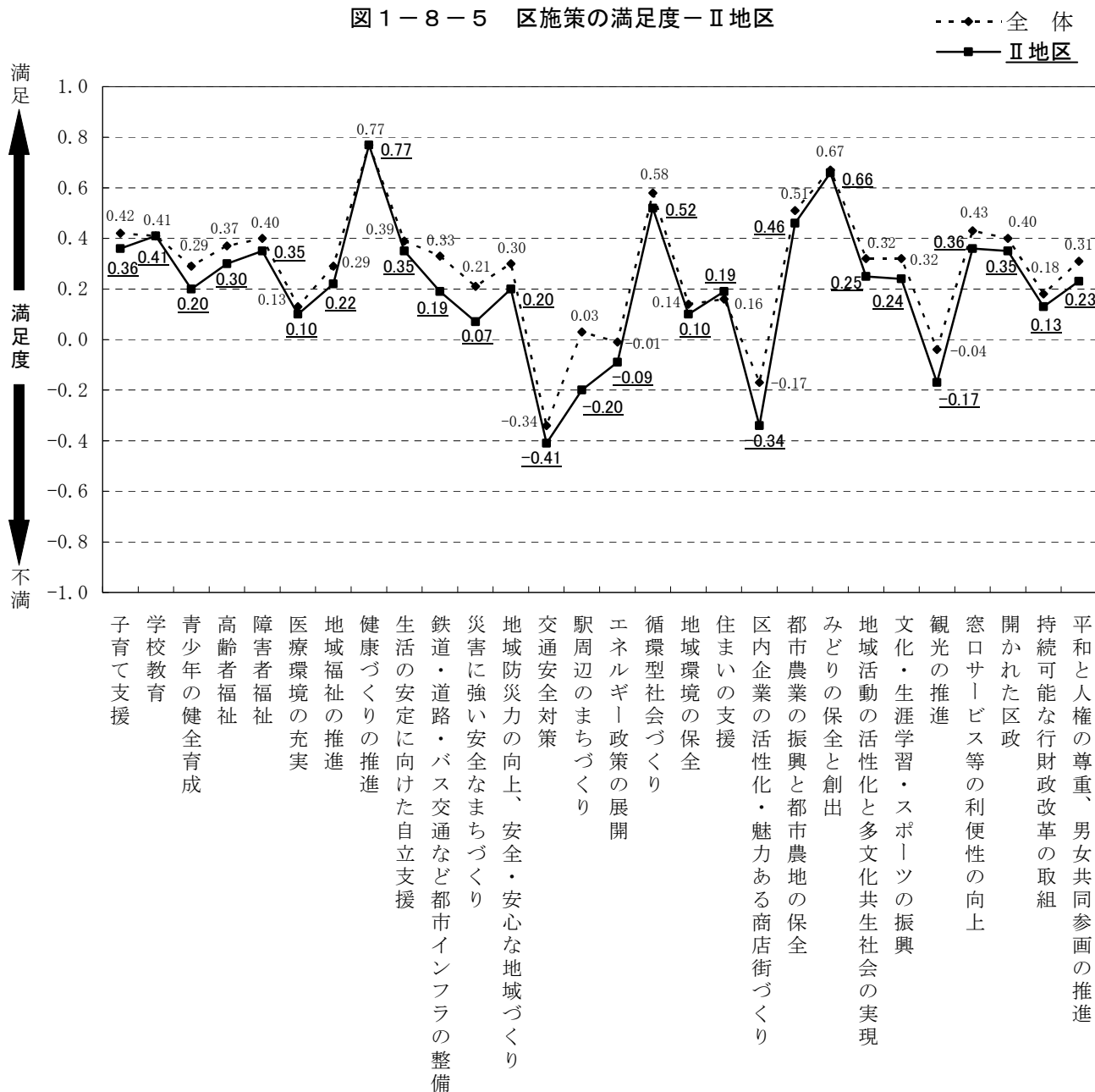


図1-8-5 区施策の満足度－Ⅱ地区



【Ⅲ地区 (〒178)】

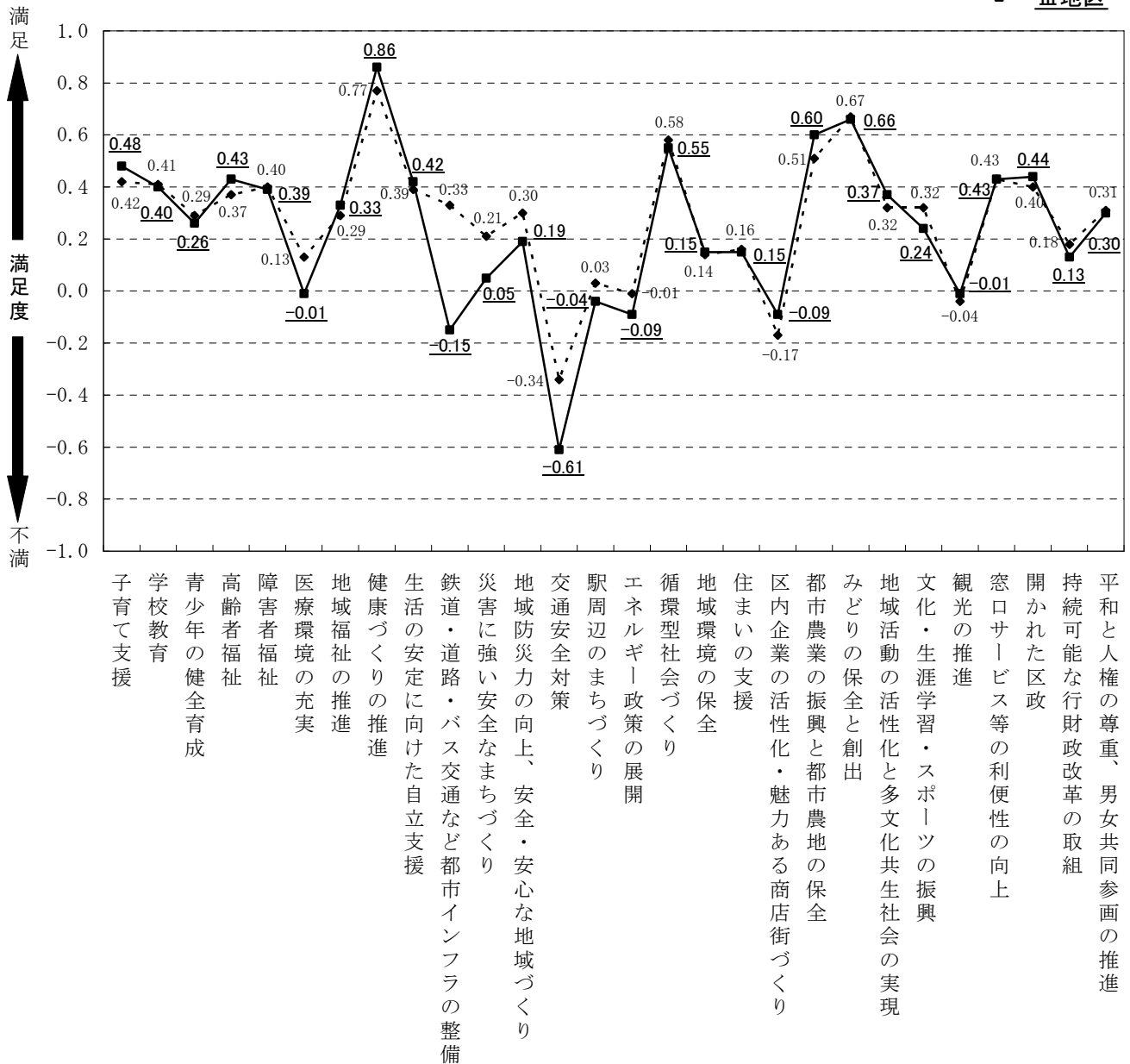
全体と比較して満足度が高いのは「健康づくりの推進」、「都市農業の振興と都市農地の保全」（ともに+0.09点）、「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」（+0.08点）などである。

満足度が低いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（-0.48点）、「交通安全対策」（-0.27点）、「災害に強い安全なまちづくり」（-0.16点）などである。（図1-8-6）



図1-8-6 区施策の満足度－Ⅲ地区

---◆--- 全体
—■— Ⅲ地区

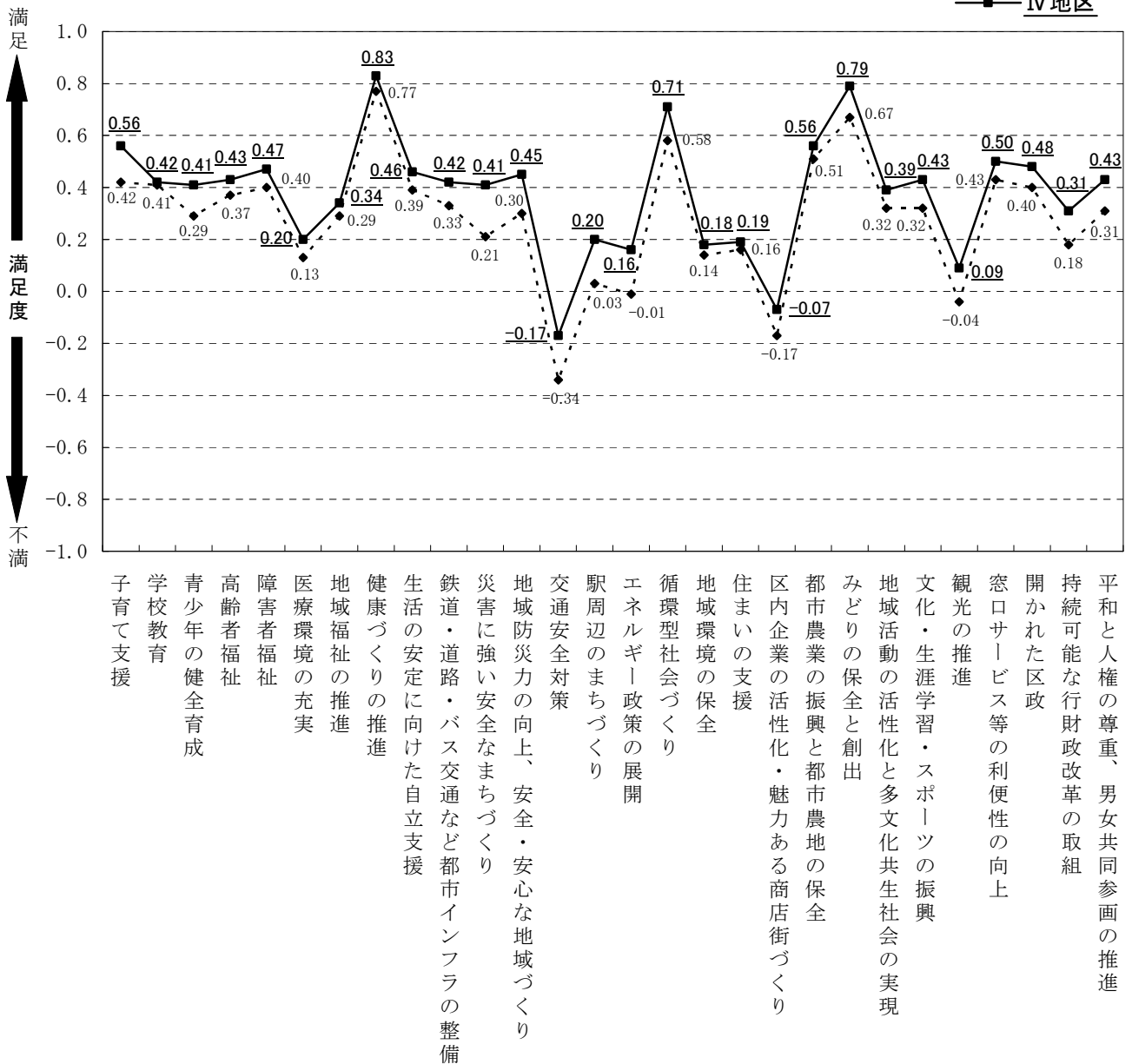


【IV地区（〒179）】

全体と比較して満足度が高いのは「災害に強い安全なまちづくり」(+0.20点)、「交通安全対策」、「駅周辺のまちづくり」、「エネルギー政策の展開」（いずれも+0.17点）などであり、すべての項目で全体を上回っている。（図1-8-7）



図1-8-7 区施策の満足度-IV地区

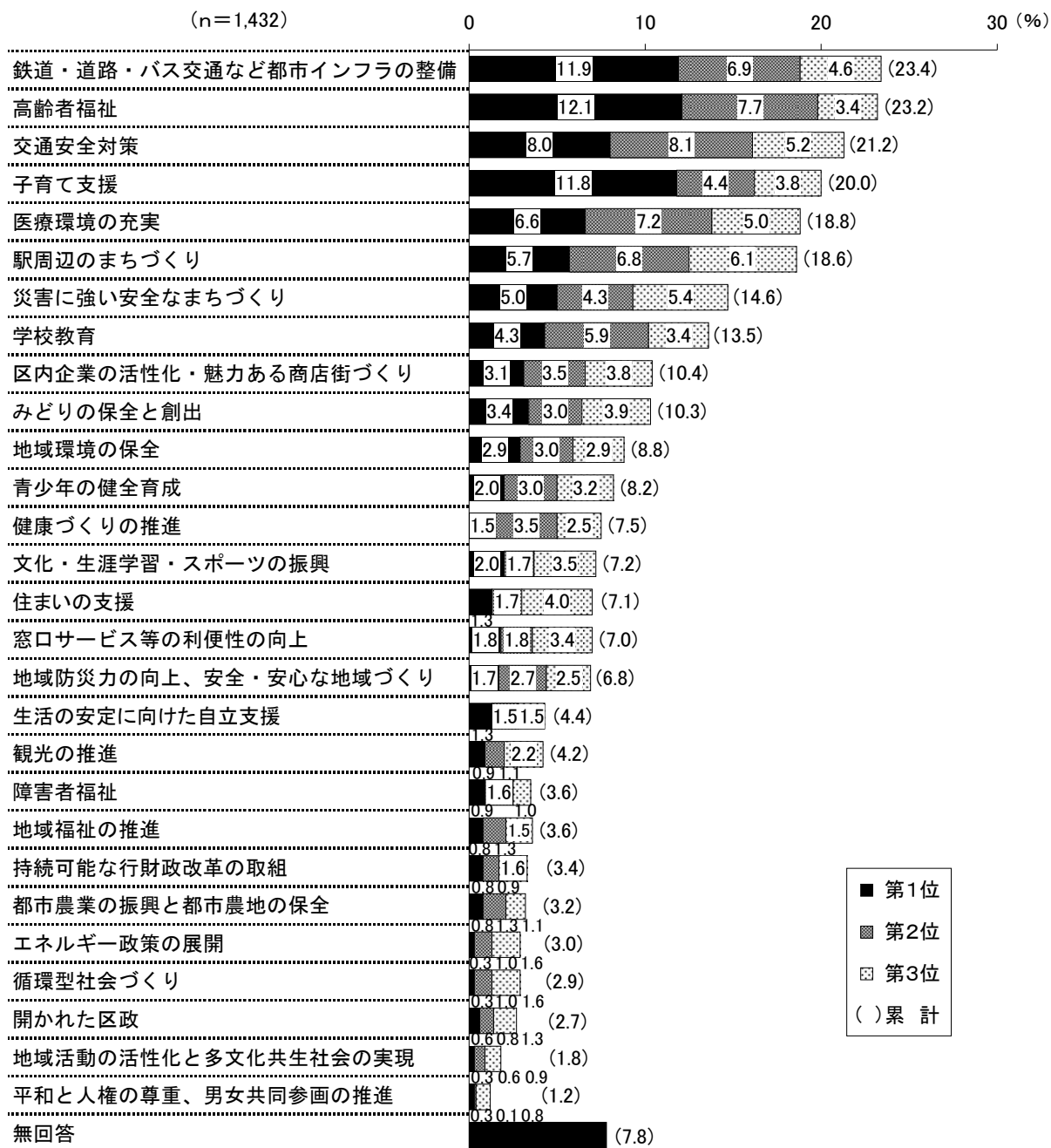


(9) 施策への要望

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」、「高齢者福祉」、「交通安全対策」が2割を超える

問9 問8の施策1～28の中で、あなたが特に力を入れてほしいと思うものを、第1位、第2位、第3位と順位をつけて、その番号を下の該当する欄に記入してください。

図1-9-1 施策への要望



特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(23.4%)が2割を超えて最も多く、次いで「高齢者福祉」(23.2%)、「交通安全対策」(21.2%)、「子育て支援」(20.0%)、「医療環境の充実」(18.8%)などの順になっている。(図1-9-1)

表 1-9-1 施策への要望一過年度比較

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成27年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	医療環境の充実
平成26年度	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	医療体制の確立	道路や公共交通の整備
平成25年度	医療体制の確立	高齢者福祉	防犯・防火・防災	交通安全対策	子育て支援
平成24年度	防犯・防火・防災	交通安全対策	災害に強く生活しやすいまちづくり	子育て支援	医療体制の確立
平成23年度	子育て支援	防犯・防火・防災	災害に強く生活しやすいまちづくり	医療体制の確立	高齢者福祉
平成22年度	医療体制の確立	高齢者福祉	子育て支援	交通安全対策	防犯・防火・防災
平成21年度	高齢者福祉	子育て支援	防犯・防火・防災	交通安全対策	生活しやすいまちづくり
平成20年度	高齢者福祉	防犯・防火・防災	交通安全対策	子育て支援	学校教育
平成19年度	防犯・防火・防災	高齢者福祉	交通安全対策	生活しやすいまちづくり	子育て支援
平成18年度	防犯・防火・防災	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	学校教育

過去の調査と比較すると、前回調査（平成26年度）で第5位だった^{注1}「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が今回調査で第1位となり、「高齢者福祉」が3年連続第2位となっている。「交通安全対策」と「子育て支援」、^{注1}「医療体制の確立」はともに前回調査（平成26年度）と変わらず5位以内に入っている。（表1-9-1）

注1) 「医療環境の充実」は平成26年度までは「医療体制の確立」としていた。

「地域福祉の推進」は平成26年度までは「地域で支える福祉」としていた。

「健康づくりの推進」は平成26年度までは「健康づくり」としていた。

「生活の安定に向けた自立支援」は平成26年度までは「生活の安定のための支援」としていた。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は平成26年度までは「道路や公共交通（鉄道やバスなど）の整備」としていた。

「災害に強い安全なまちづくり」は平成26年度までは「災害に強く生活しやすいまちづくり」としていた。

「地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり」は平成26年度までは「防犯・防火・防災」としていた。

「住まいの支援」は平成26年度までは「公共住宅の整備や住まいづくりの情報提供」としていた。

「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」は平成26年度までは「中小企業・商店街の振興」としていた。

「都市農業の振興と都市農地の保全」は平成26年度までは「都市農業の振興・農地の保全」としていた。

「みどりの保全と創出」は平成26年度までは「みどりの保全と創造」としていた。

「地域活動の活性化と多文化共生社会の実現」は平成26年度までは「地域活動の支援」・「地域の国際交流」としていた。

「文化・生涯学習・スポーツの振興」は平成26年度までは「文化芸術・生涯学習活動、スポーツ活動の支援」としていた。

「窓口サービス等の利便性の向上」は平成26年度までは「区の窓口サービスの向上」としていた。

「開かれた区政」は平成26年度までは「開かれた行政運営」としていた。

「持続可能な行財政改革の取組」は平成26年度までは「行財政改革の取組」としていた。

「平和と人権の尊重、男女共同参画の推進」は平成26年度までは「平和と人権の尊重や男女共同参画の推進」としていた。

注2) 「駅周辺のまちづくり」、「エネルギー政策の展開」は平成27年度から追加された選択肢。

表 1-9-2 施策への要望—地区別、性別、性・年齢別

(%)

		AA (50%以上)	A (40~50%未満)	B (30~40%未満)	C (20~30%未満)	
地区別	I地区 (〒176)				・高齢者福祉 ・子育て支援	25.4 22.3
	II地区 (〒177)				・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・駅周辺のまちづくり ・交通安全対策 ・医療環境の充実	27.8 24.1 21.4 20.9
	III地区 (〒178)			・鉄道・道路・バス交通 など都市インフラの整備 37.5	・高齢者福祉 ・交通安全対策	23.8 23.4
	IV地区 (〒179)				・高齢者福祉 ・子育て支援 ・交通安全対策	23.1 22.1 22.1
性別	男性				・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・高齢者福祉 ・交通安全対策	24.4 23.3 21.5
	女性				・高齢者福祉 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・子育て支援 ・交通安全対策	23.1 22.8 22.2 21.3
性・年齢別	男性	20歳代	・駅周辺の まちづくり 44.4	・鉄道・道路・バス交通 など都市インフラの整備 33.3	・交通安全対策 ・観光の推進	20.0 20.0
		30歳代		・子育て支援 31.0	・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・駅周辺のまちづくり ・交通安全対策	27.6 25.3 24.1
		40歳代			・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・交通安全対策 ・子育て支援 ・学校教育 ・駅周辺のまちづくり	29.5 26.7 22.6 20.5 20.5
		50歳代		・高齢者福祉 33.1	・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・医療環境の充実 ・交通安全対策	25.4 23.7 21.2
		60歳代		・高齢者福祉 30.1	・医療環境の充実	27.6
		70歳以上		・高齢者福祉 32.7	・医療環境の充実 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	26.5 23.5
		20歳代			・子育て支援 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・駅周辺のまちづくり ・学校教育 ・交通安全対策	28.8 27.4 26.0 20.5 20.5
	女性	30歳代	・子育て支援 40.7		・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・学校教育 ・交通安全対策 ・駅周辺のまちづくり	27.1 25.7 23.6 21.4
		40歳代			・交通安全対策 ・子育て支援 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・学校教育 ・災害に強い安全なまちづくり	29.1 26.4 24.2 20.9 20.9
		50歳代		・高齢者福祉 30.4	・駅周辺のまちづくり ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 ・医療環境の充実	23.2 21.7 21.0
		60歳代		・高齢者福祉 35.3 ・医療環境の充実 30.1		
		70歳以上		・高齢者福祉 37.0	・医療環境の充実	25.0

次に、要望の大きさを、比率に応じてAA（50%以上）、A（40～50%未満）、B（30～40%未満）、C（20～30%未満）の4つのランクに分けて、地区別、性別、性・年齢別に分類した。その結果が表1-9-2である。

地区別にみると、各地区ともにAAランク、Aランクに入る施策はない。

Bランク以下をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」はⅢ地区（〒178）でBランク、Ⅱ地区（〒177）でCランクになっている。

性別にみると、男女ともにAAランク、Aランク、Bランクに入る施策はない。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」、「高齢者福祉」、「交通安全対策」は男女ともにCランクになっている。

性・年齢別にみると、「駅周辺のまちづくり」は男性20歳代でAランク、男性の30歳代と40歳代、女性の20歳代、30歳代、50歳代でCランクになっている。

「子育て支援」は女性30歳代でAランク、男性30歳代でBランク、男性40歳代、女性の20歳代と40歳代でCランクになっている。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は男性20歳代でBランク、男性の20歳代と60歳代を除くすべての年代と女性の50歳代以下の年代でCランクになっている。

「高齢者福祉」は男女ともに50歳代以上の年代でBランクになっている。

「医療環境の充実」は女性60歳代でBランク、男性の50歳代以上の年代と女性の50歳代と70歳以上でCランクになっている。

「交通安全対策」は男性の50歳代以下の年代と女性の40歳代以下の年代でCランクになっている。

「学校教育」は男性40歳代と女性の40歳代以下の年代でCランクになっている。

このほか、「観光の推進」は男性20歳代でCランク、「災害に強い安全なまちづくり」は女性40歳代でCランクになっている。（表1-9-2）

施策への要望（住みよい—満足度評価）

練馬区の住みごころ（問2・65ページ参照）の評価は、28項目の区施策への満足度（問8・90～92ページ参照）および施策への要望（問9・102ページ参照）とどのような関係があるのかをみる。

練馬区が「住みよい」と答えた方（516人）の区政策への満足度（問8）をみると、「満足」および「どちらかといえば満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかといえば不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。（図1-9-2）

『満足評価』上位5項目	『不満評価』上位5項目
①健康づくりの推進 (81.2%)	①交通安全対策 (43.4%)
②みどりの保全と創出 (79.7%)	②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり (41.3%)
③循環型社会づくり (76.2%)	③観光の推進 (35.9%)
④鉄道・道路・バス交通など 都市インフラの整備 (73.4%)	④エネルギー政策の展開 (30.8%)
⑤都市農業の振興と都市 農地の保全 (73.3%)	⑤地域環境の保全 (30.2%)

練馬区が「住みよい」と答えた方（516人）の施策への要望（問9）をみると、第1位から第3位までの累計は、「子育て支援」（22.9%）、「高齢者福祉」（22.9%）、「医療環境の充実」（22.7%）の3項目が2割を超えて多く、次いで「交通安全対策」（19.2%）、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（19.0%）、「学校教育」（16.3%）などの順になっている。（図1-9-3）

図1-9-2 練馬区の住みごこちが「住みよい」と答えた人の区施策への満足度

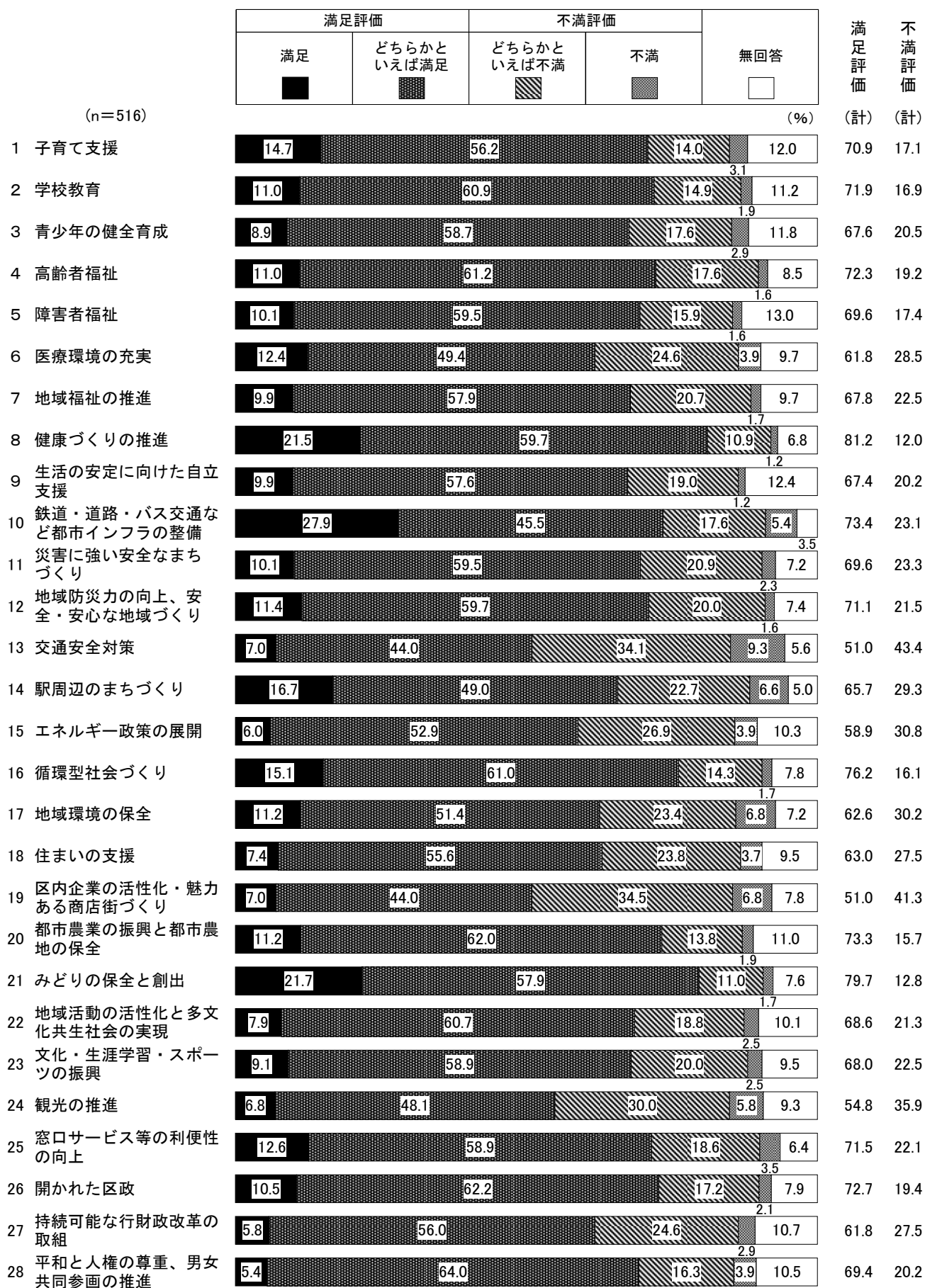
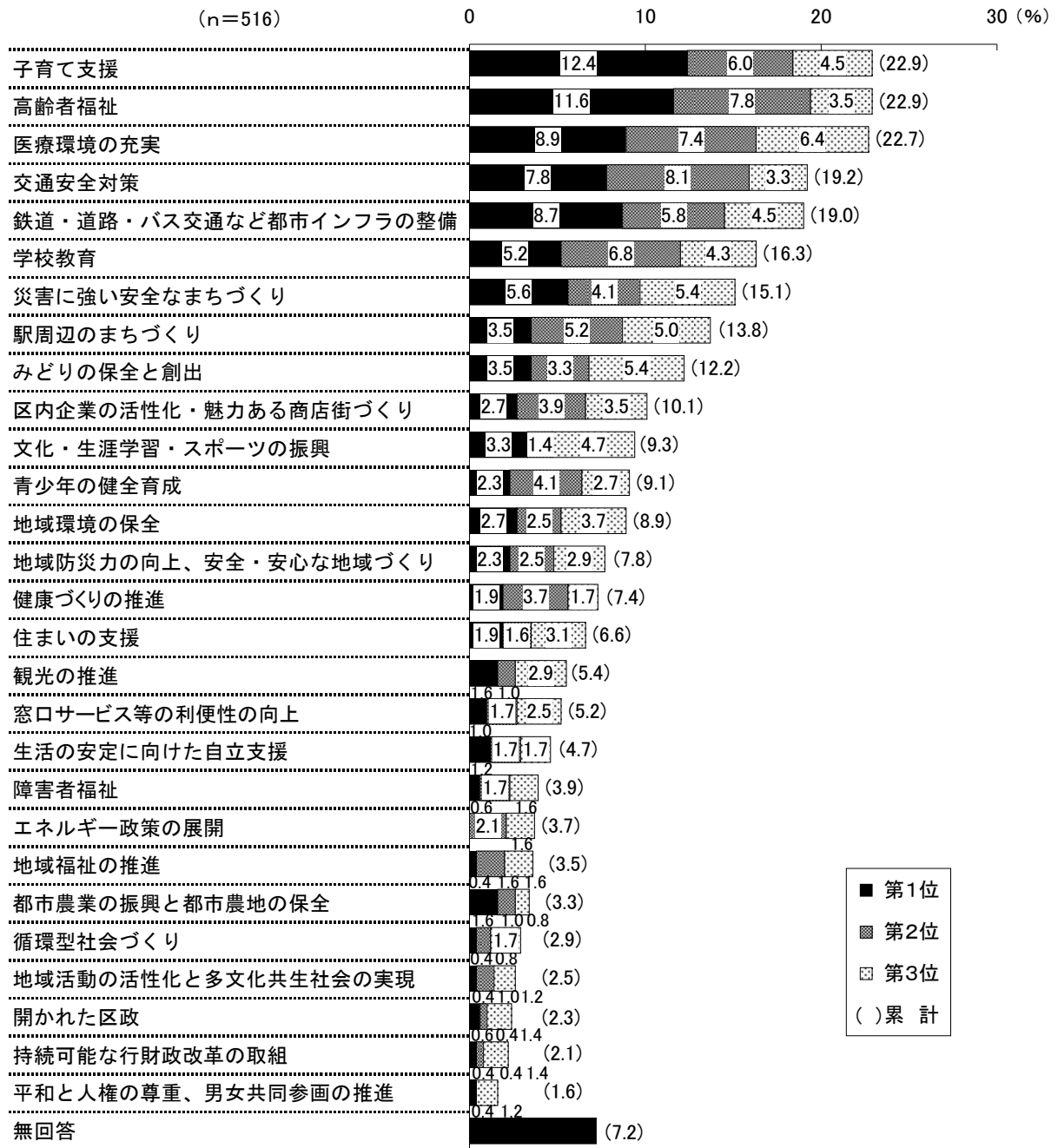


図1-9-3 練馬区の住みごこちが「住みよい」と答えた人の施策への要望



施策への要望（住みにくい—満足度評価）

次に、練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方（73人）の区政策への満足度（問8）をみると、『満足評価』と『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。

（図1-9-4）

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①健康づくりの推進	(52.1%)	①交通安全対策	(78.1%)
②循環型社会づくり	(46.6%)	②駅周辺のまちづくり	(68.5%)
②窓口サービス等の利便性の向上	(46.6%)	③エネルギー政策の展開	(67.1%)
④みどりの保全と創出	(43.8%)	④地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり	(64.4%)
⑤開かれた区政	(42.5%)	⑤鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	(63.0%)
		⑤災害に強い安全なまちづくり	(63.0%)
		⑤地域環境の保全	(63.0%)
		⑤区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(63.0%)

練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方（73人）の施策への要望（問9）をみると、第1位から第3位までの累計は、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（38.4%）が4割近くで最も多く、次いで「交通安全対策」（28.8%）、「高齢者福祉」と「駅周辺のまちづくり」（ともに19.2%）などの順になっている。（図1-9-5）

図 1-9-4 練馬区の住みごこちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた人の区施策への満足度

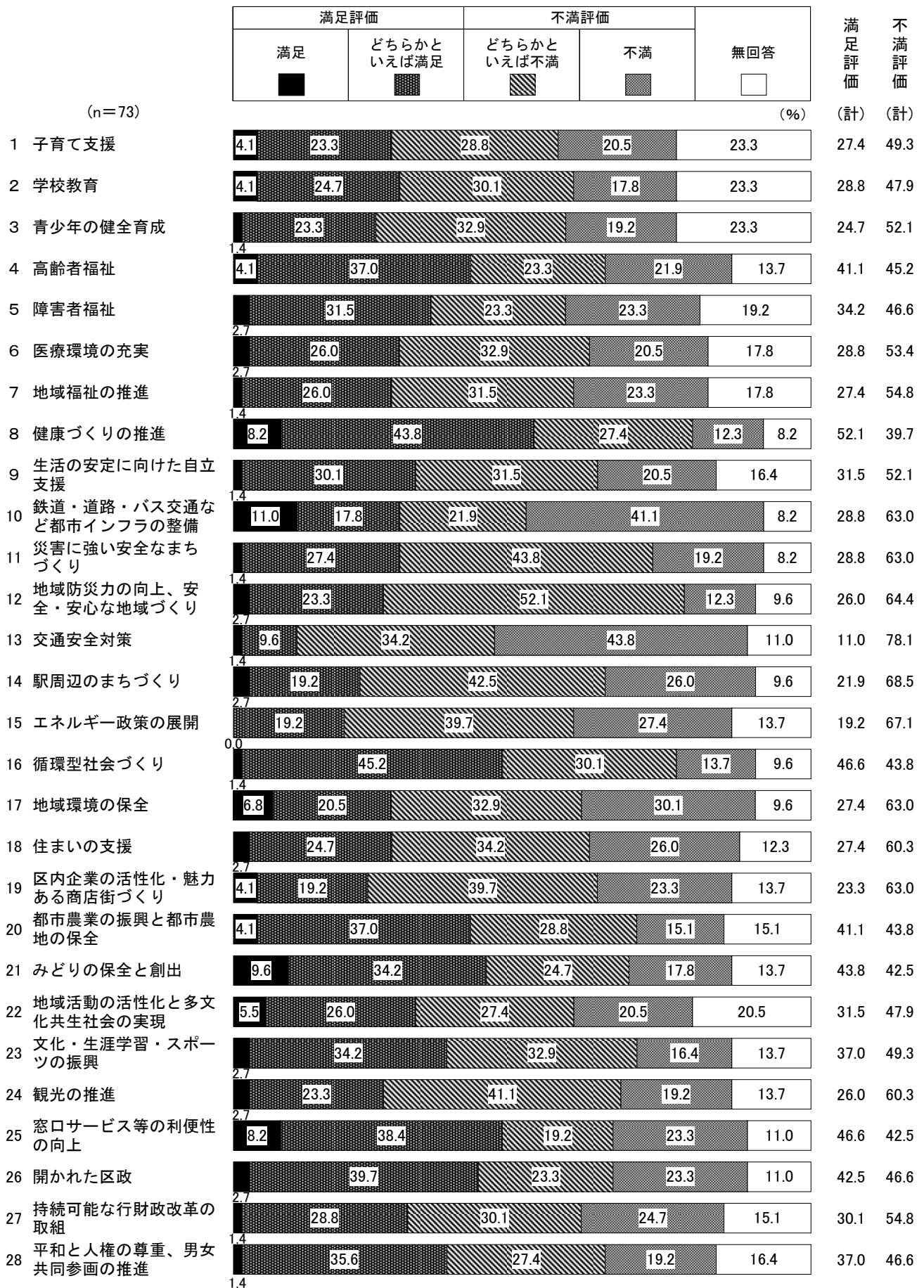


図1-9-5 練馬区の住みごこちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた人の施策への要望

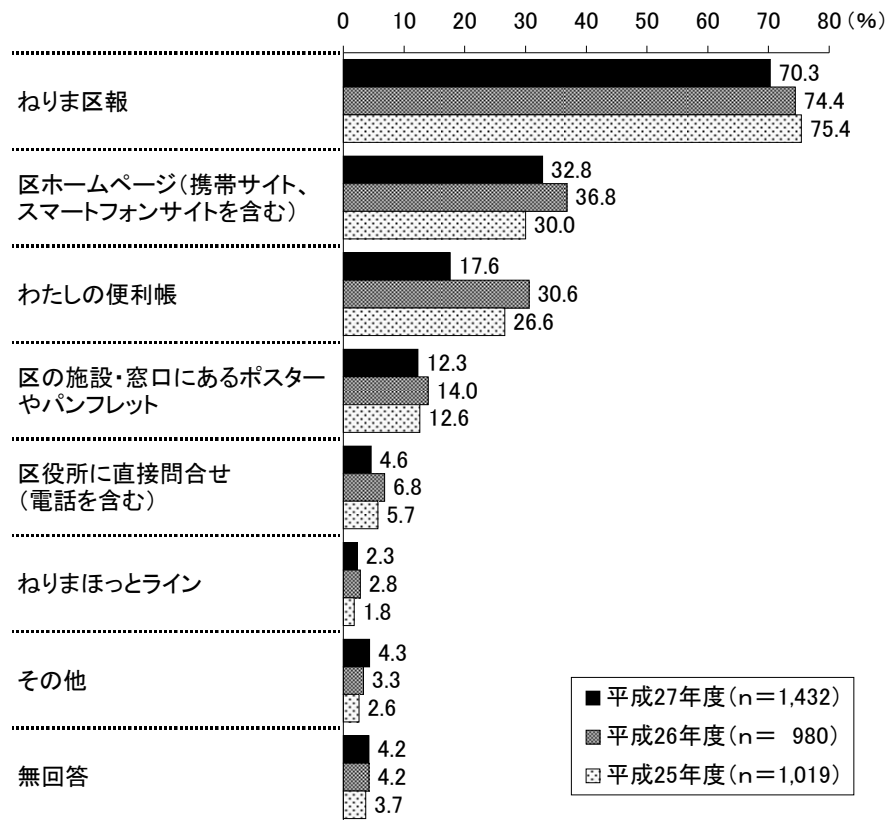


(10) 区政情報の入手先

◇「ねりま区報」が7割

問13 あなたは、区政の情報を主に何から入手していますか。(〇は2つまで)

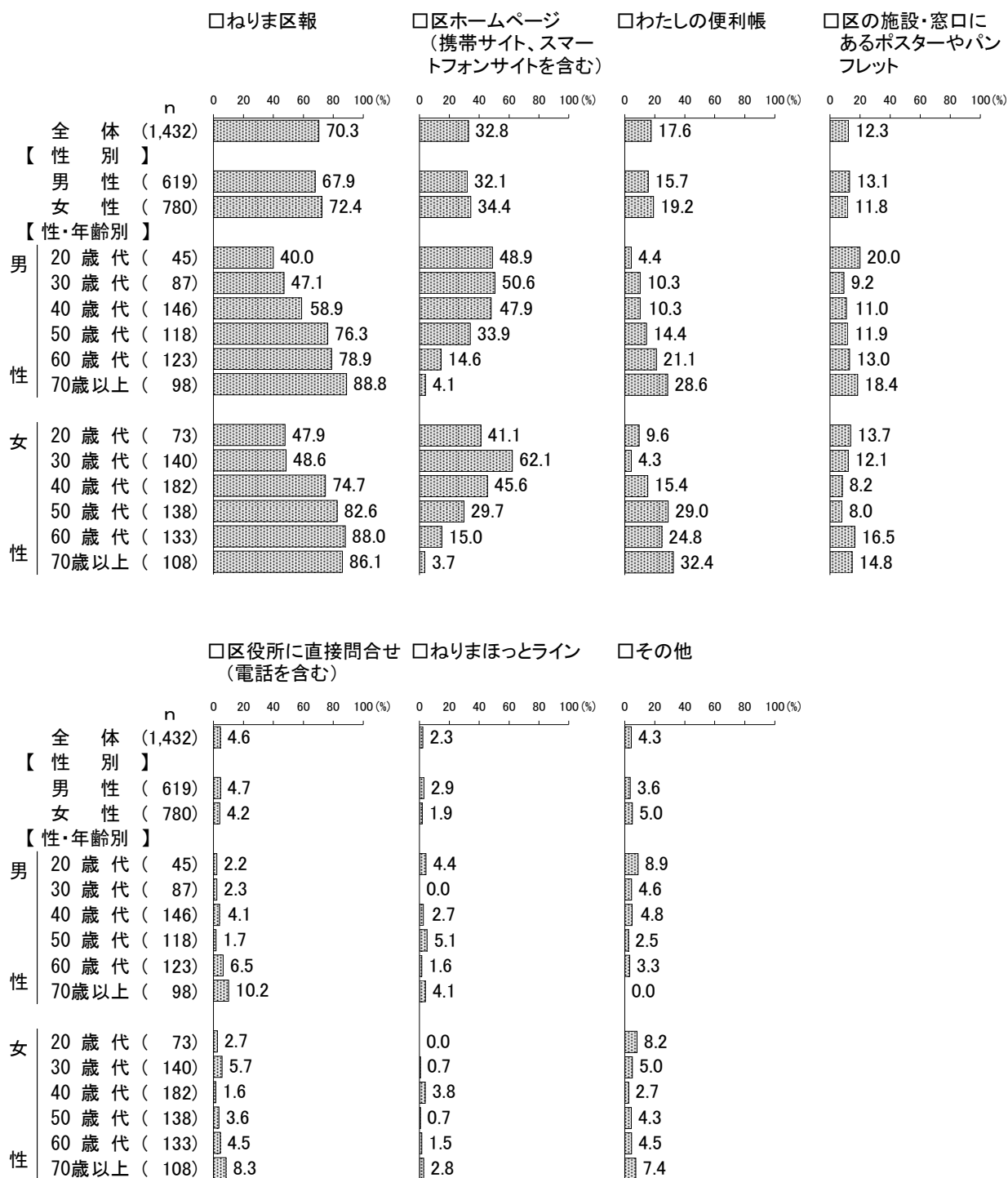
図1-10-1 区政情報の入手先



区政の情報を主に何から入手しているか聞いたところ、「ねりま区報」(70.3%)が7割で最も多く、次いで「区ホームページ(携帯サイト、スマートフォンサイトを含む)」(32.8%)、「わたしの便利帳」(17.6%)、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」(12.3%)などの順になっている。

過去の調査と比較すると、「わたしの便利帳」は前回調査(平成26年度)より13.0ポイント、「ねりま区報」は前回調査(平成26年度)より4.1ポイント、「区ホームページ(携帯サイト、スマートフォンサイトを含む)」は前回調査(平成26年度)より4.0ポイント、それぞれ減少している。(図1-10-1)

図 1-10-2 区政情報の入手先—性別、性・年齢別



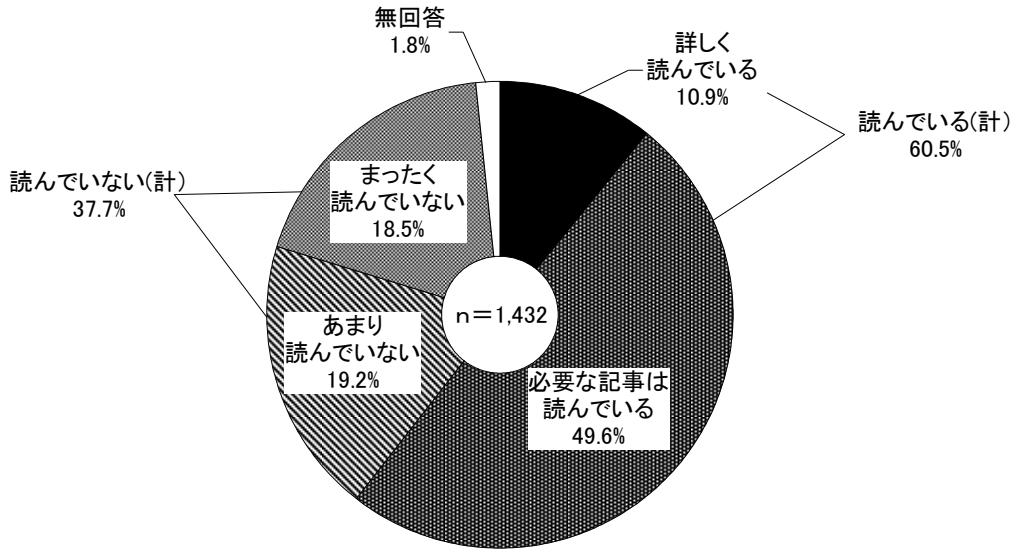
性・年齢別にみると、「ねりま区報」は男性70歳以上と女性60歳代で9割近くと多くなっている。「区ホームページ（携帯サイト、スマートフォンサイトを含む）」は女性30歳代で6割を超えて多くなっている。「わたしの便利帳」は女性70歳以上で3割を超えて多くなっている。（図1-10-2）

(11) 『ねりま区報』の閲読度

◇『読んでいる』がほぼ6割

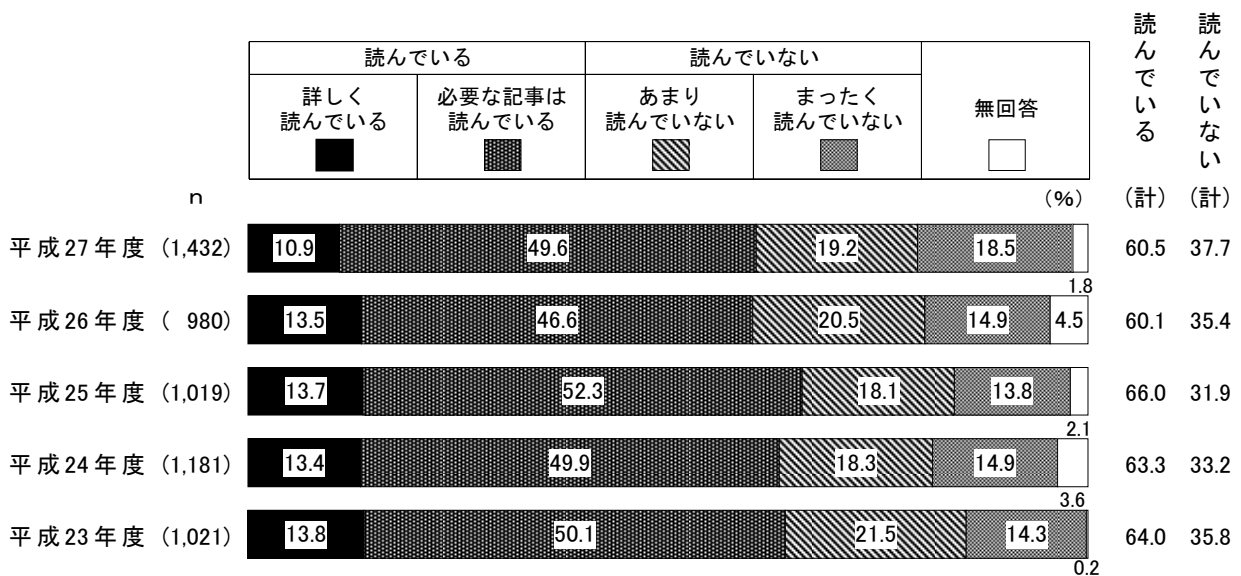
問14 あなたは、『ねりま区報』をどの程度読んでいますか。(○は1つ)

図1-11-1 『ねりま区報』の閲読度



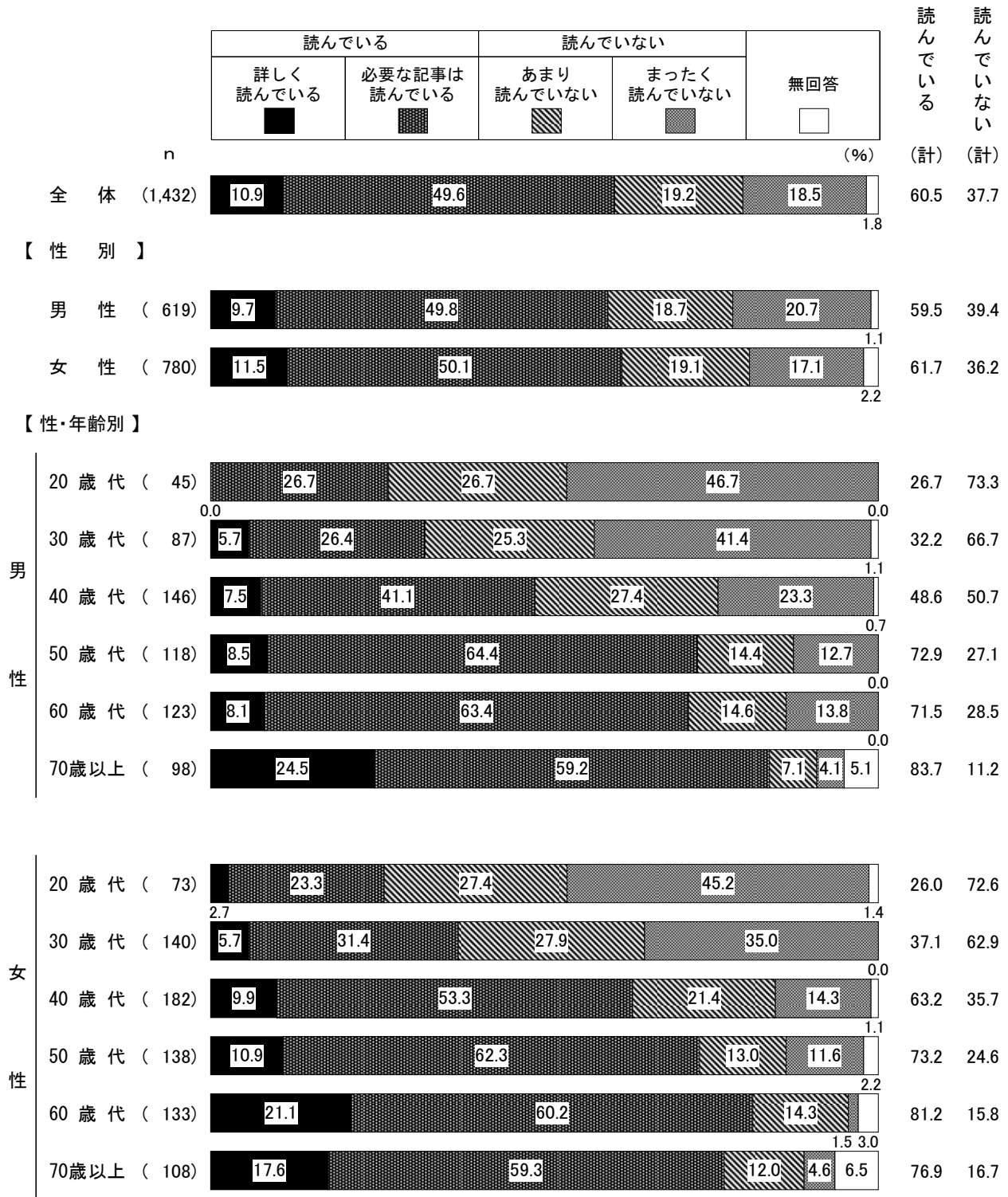
『ねりま区報』をどの程度読んでいるか聞いたところ、「詳しく読んでいる」(10.9%)と「必要な記事は読んでいる」(49.6%)を合わせた『読んでいる』(60.5%)がほぼ6割となっている。一方、「あまり読んでいない」(19.2%)と「まったく読んでいない」(18.5%)を合わせた『読んでいない』(37.7%)は4割近くとなっている。(図1-11-1)

図1-11-2 『ねりま区報』の閲読度一過年度比較



過去の調査と比較すると、『読んでいる』は平成23年度以降6割台で推移しており、大きな傾向の違いはみられない。(図1-11-2)

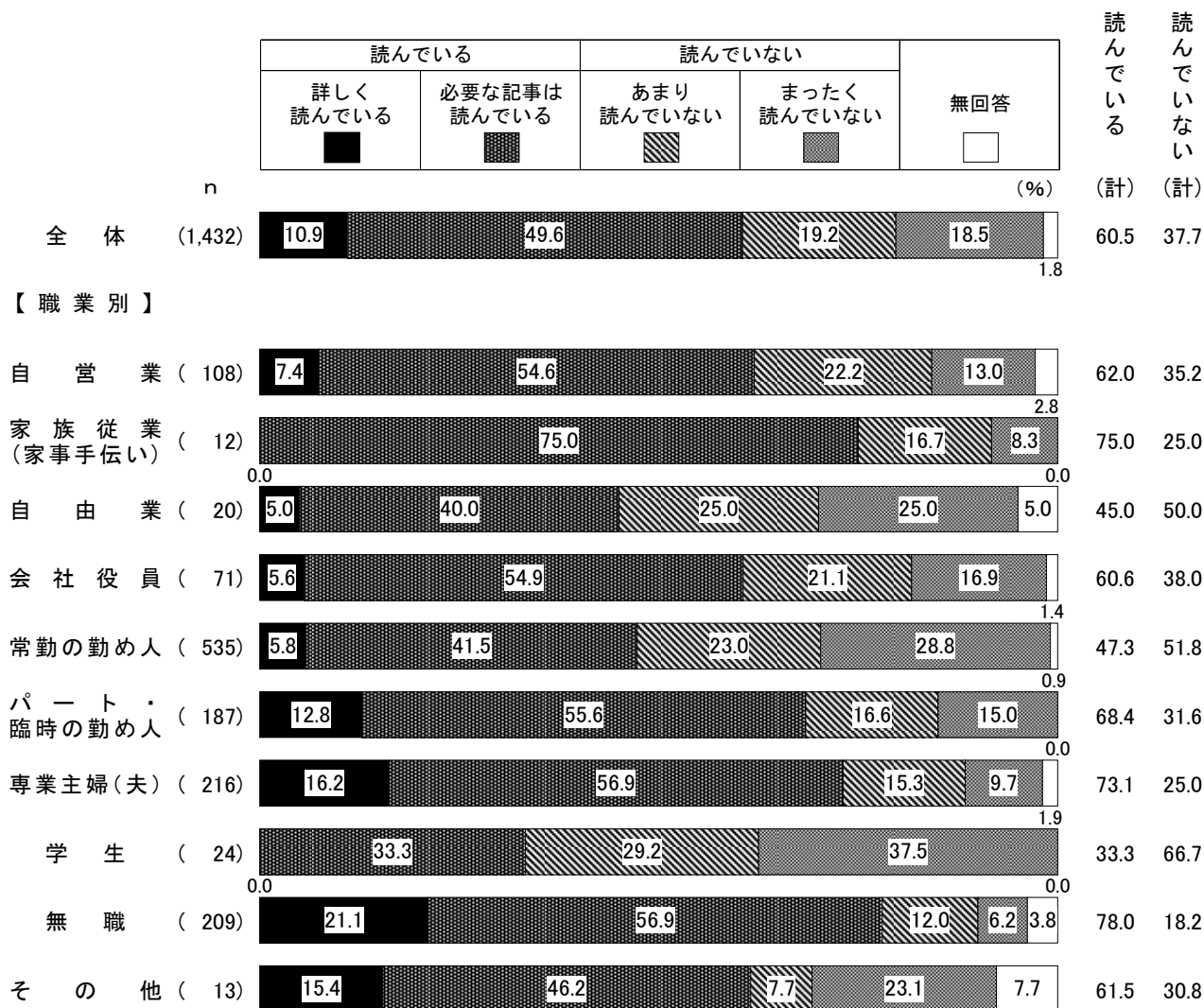
図1-11-3 『ねりま区報』の読読度—性別、性・年齢別



性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、『読んでいる』は男性70歳以上と女性60歳代で8割を超えて多くなっている。『読んでいない』は男女ともに20歳代で7割を超えて多くなっている。(図1-11-3)

図 1-11-4 『ねりま区報』の読読度-職業別



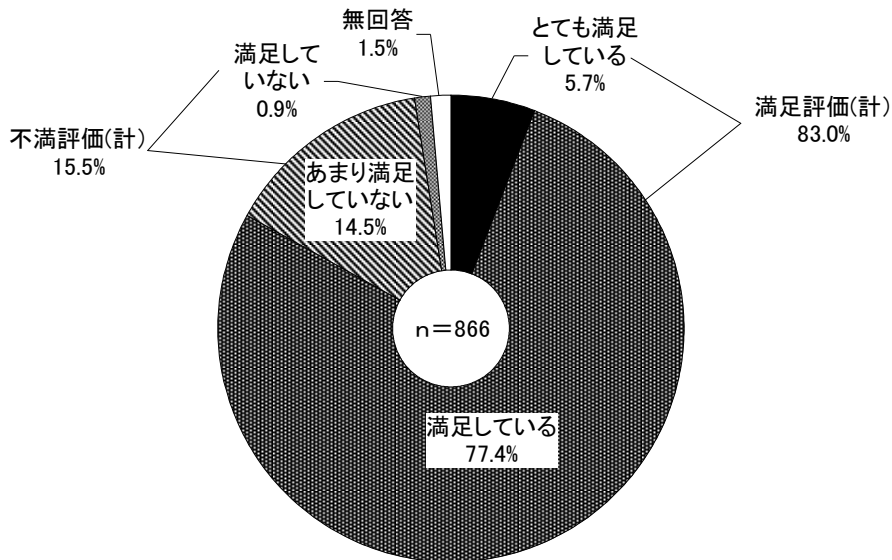
職業別にみると、『読んでいる』は無職、専業主婦(夫)で7割台と多くなっている。(図 1-11-4)

(11-1) 『ねりま区報』の満足度

◇『満足評価』が8割を超える

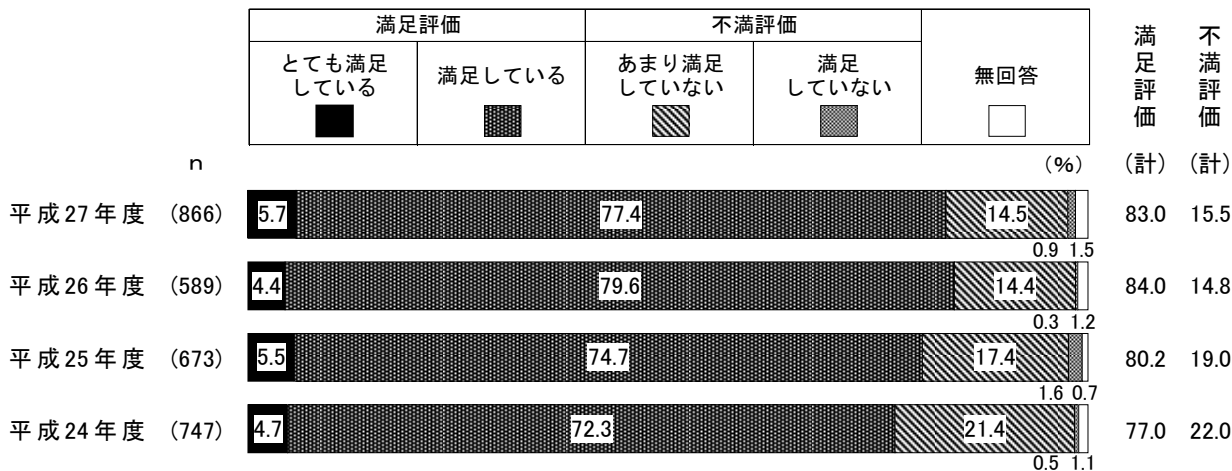
(問14で「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方へ)
 問14-1 あなたは、『ねりま区報』にどの程度満足していますか。(○は1つ)

図1-11-5 『ねりま区報』の満足度



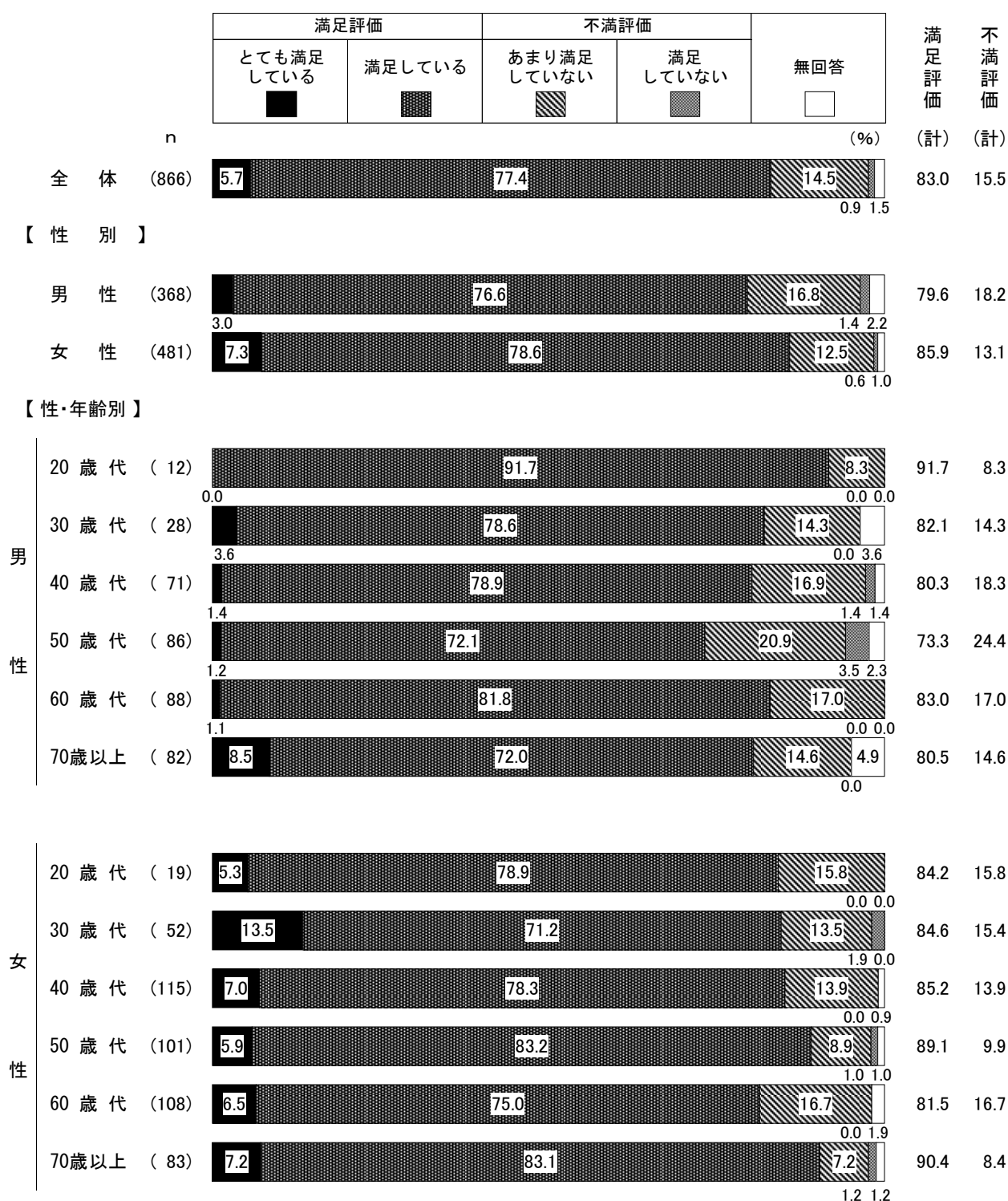
『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方(866人)に、『ねりま区報』にどの程度満足しているか聞いたところ、「とても満足している」(5.7%)と「満足している」(77.4%)を合わせた『満足評価』(83.0%)が8割を超えている。一方、「あまり満足していない」(14.5%)と「満足していない」(0.9%)を合わせた『不満評価』(15.5%)は1割半ばとなっている。(図1-11-5)

図1-11-6 『ねりま区報』の満足度一過年度比較



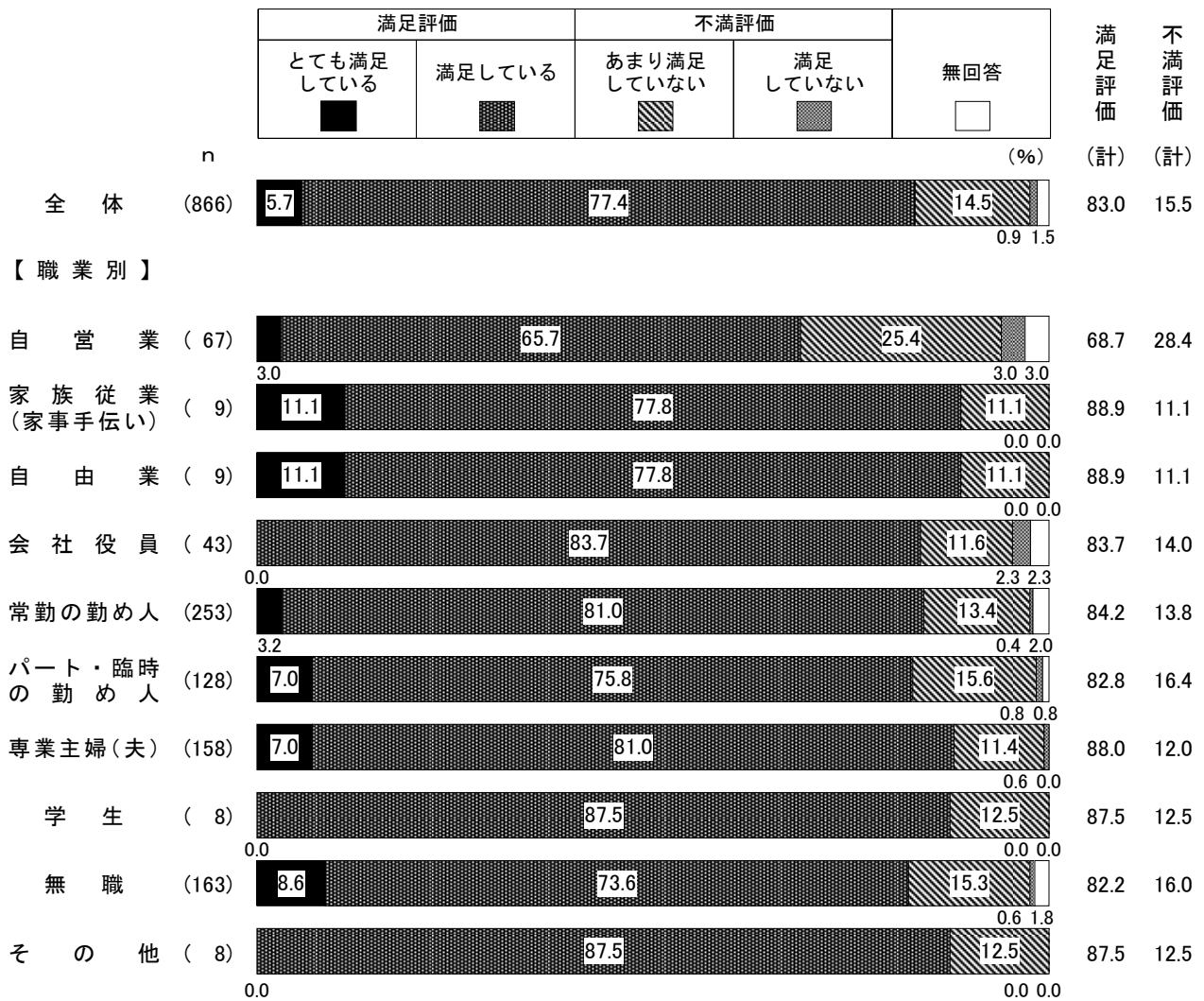
過去の調査と比較すると、『満足評価』は平成25年度以降8割台で推移しており、大きな傾向の違いはみられない。(図1-11-6)

図1-11-7 『ねりま区報』の満足度—性別、性・年齢別



性・年齢別にみると、『満足評価』は女性の50歳代と70歳以上でほぼ9割と多くなっている。『不満評価』は男性50歳代で2割半ばと多くなっている。(図1-11-7)

図 1-11-8 『ねりま区報』の満足度－職業別



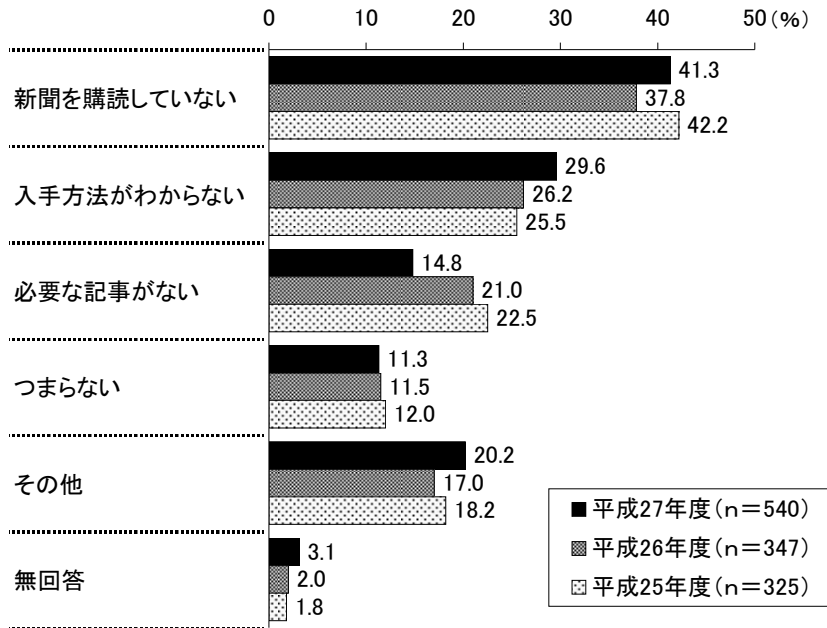
職業別にみると、『満足評価』は自営業を除くすべての職業で8割台となっている。(図 1-11-8)

(11-2) 『ねりま区報』 を読んでいない理由

◇ 「新聞を購読していない」 が4割を超える

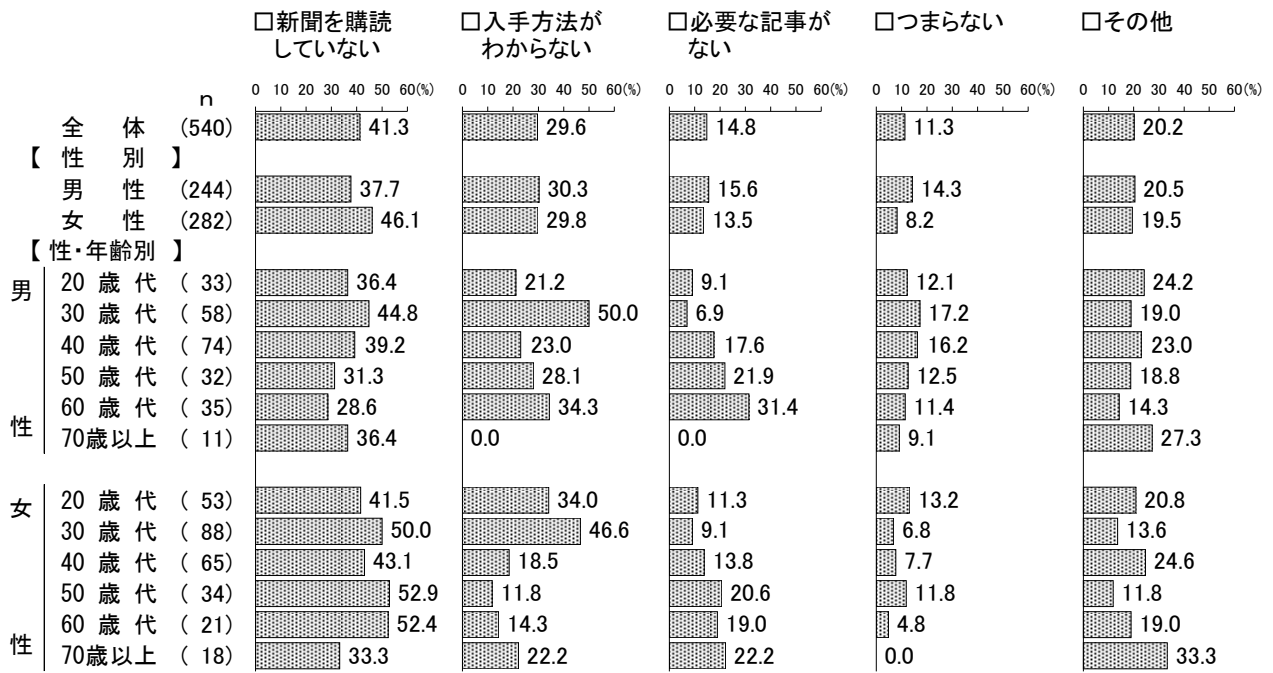
(問14で「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」と答えた方へ)
問14-2 あなたが、『ねりま区報』 を読んでいない理由はなぜですか。(〇はいくつでも)

図1-11-9 『ねりま区報』 を読んでいない理由



『ねりま区報』を「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」と答えた方(540人)に、その理由を聞いたところ、「新聞を購読していない」(41.3%)が4割を超えて最も多く、次いで「入手方法がわからない」(29.6%)、「必要な記事がない」(14.8%)、「つまらない」(11.3%)の順になっている。(図1-11-9)

図 1-11-10 『ねりま区報』を読んでいない理由—性別、性・年齢別



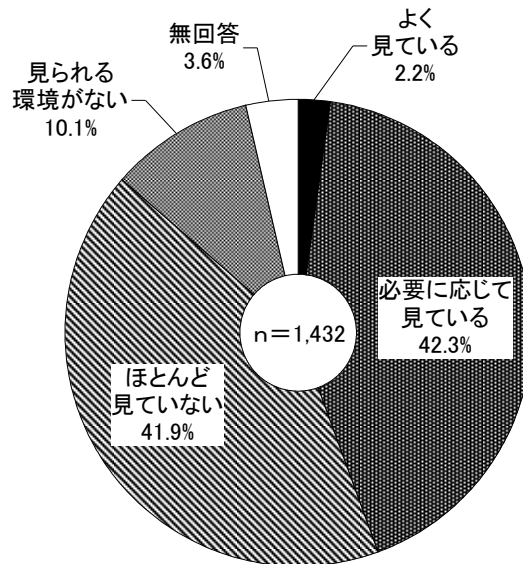
性・年齢別にみると、「新聞を購読していない」は女性50歳代で5割を超えて多くなっている。「入手方法がわからない」は男性30歳代で5割、女性30歳代で5割近くと多くなっている。「必要な記事がない」は男性60歳代で3割を超えて多くなっている。(図1-11-10)

(12) 『区ホームページ』の閲覧度

◇「必要に応じて見ている」と「ほとんど見ていない」が4割を超える

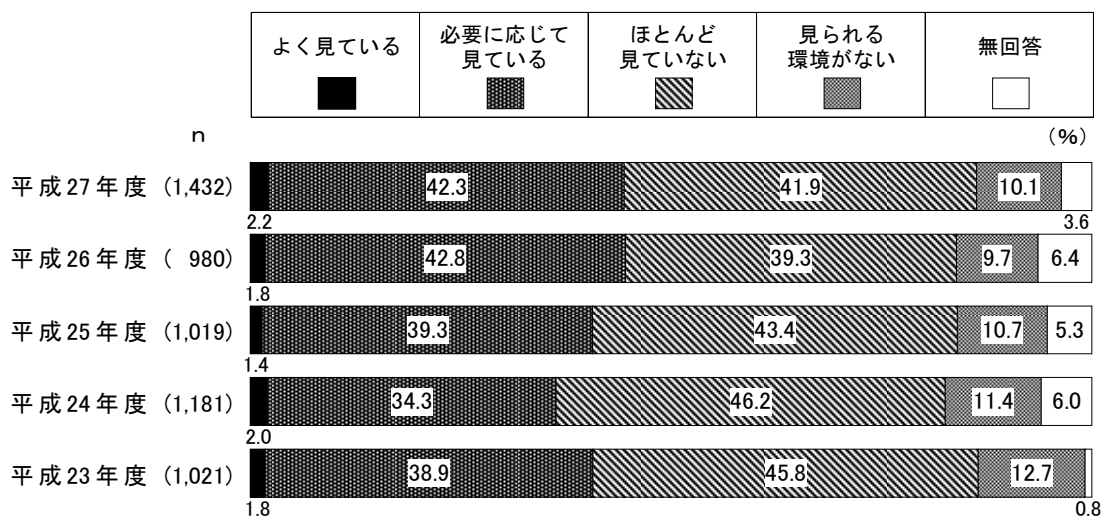
問15 あなたは、『区ホームページ』をどの程度閲覧していますか。(○は1つ)

図1-12-1 『区ホームページ』の閲覧度



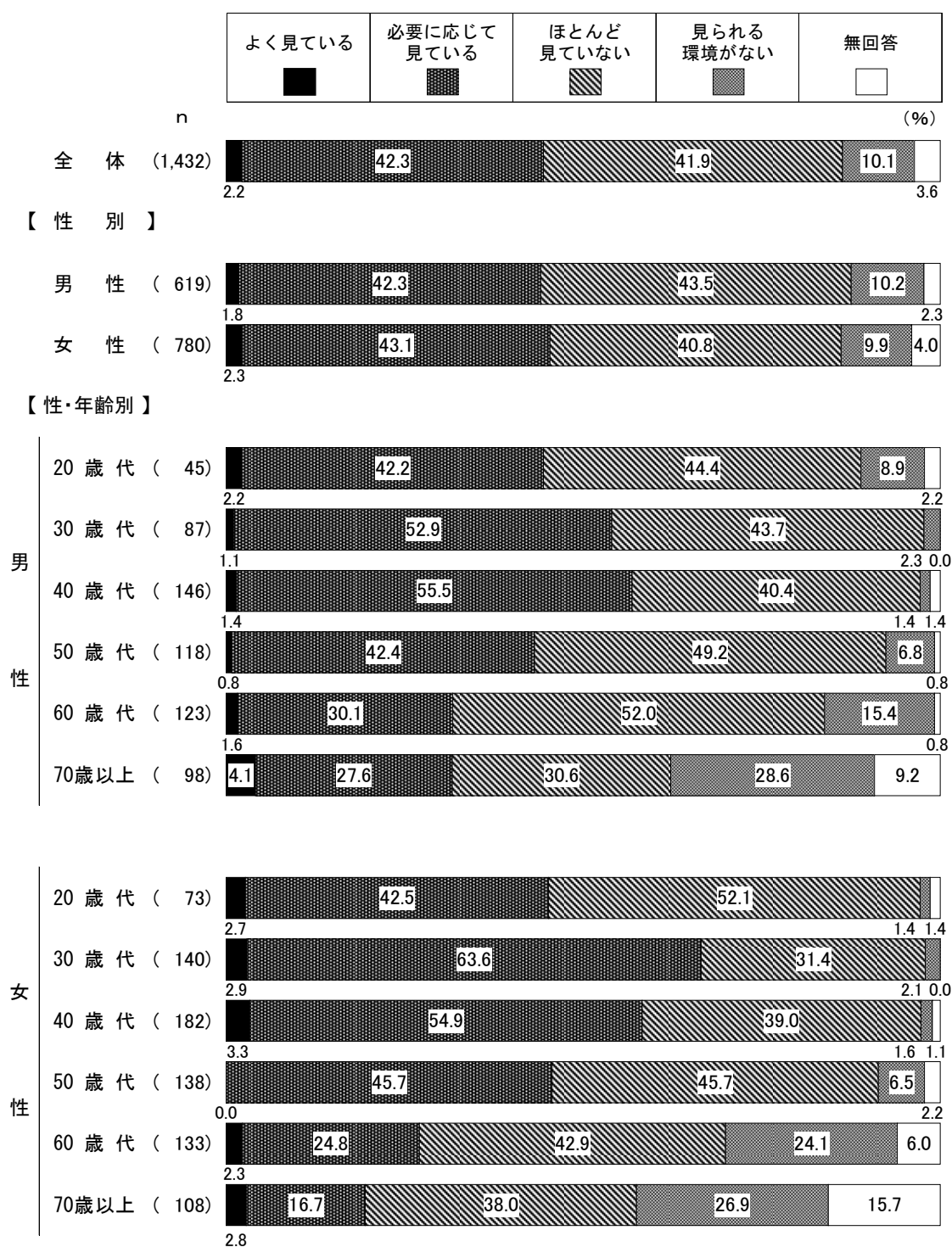
『区ホームページ』をどの程度閲覧しているか聞いたところ、「必要に応じて見ている」(42.3%)と「ほとんど見ていない」(41.9%)が4割を超えている。「見られる環境がない」(10.1%)は1割となっている。(図1-12-1)

図1-12-2 『区ホームページ』の閲覧度－過年度比較



過去の調査と比較すると、前回調査(平成26年度)とほぼ同様の傾向となっている。(図1-12-2)

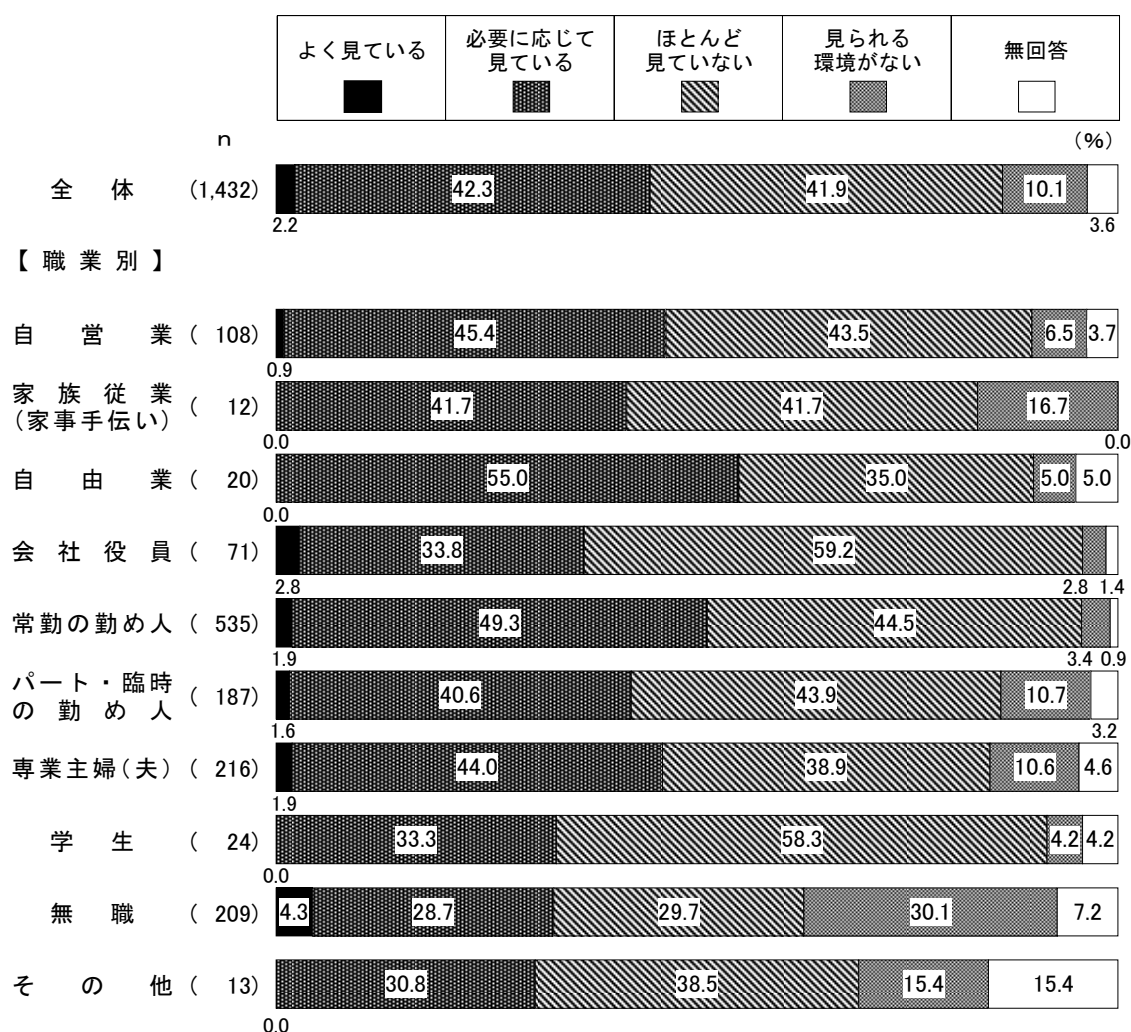
図1-12-3 『区ホームページ』の閲覧度—性別、性・年齢別



性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「必要に応じて見ている」は女性30歳代で6割を超えて多くなっている。「ほとんど見ていない」は女性20歳代と男性60歳代で5割を超えて多くなっている。「見られる環境がない」は男女ともに70歳以上で3割近くと多くなっている。(図1-12-3)

図 1-12-4 『区ホームページ』の閲覧度—職業別



職業別にみると、「必要に応じて見ている」は常勤の勤め人でほぼ5割と多くなっている。「ほとんど見ていない」は会社役員でほぼ6割と多くなっている。「見られる環境がない」は無職で3割と多くなっている。(図 1-12-4)

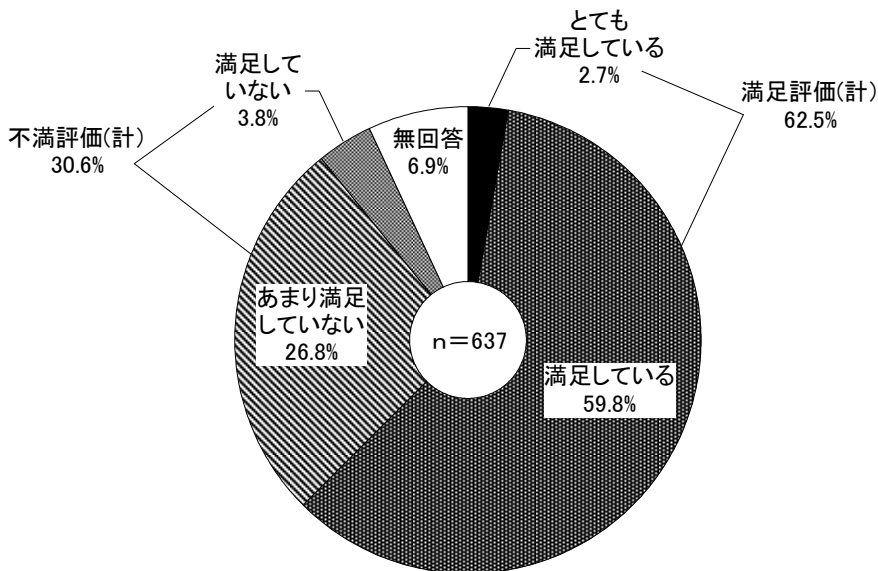
(12-1) 『区ホームページ』の情報の見つけやすさ・わかりやすさ

◇『満足評価』が6割を超える

(問15で「よく見ている」または「必要に応じて見ている」と答えた方へ)

問15-1 『区ホームページ』で閲覧している情報は、見つけやすさ・わかりやすさの満足度はどの程度ですか。(〇は1つ)

図1-12-5 『区ホームページ』の情報の見つけやすさ・わかりやすさ



『区ホームページ』を「よく見ている」または「必要に応じて見ている」と答えた方(637人)に、閲覧している情報の見つけやすさ・わかりやすさの満足度を聞いたところ、「とても満足している」(2.7%)と「満足している」(59.8%)を合わせた『満足評価』(62.5%)が6割を超えている。一方、「あまり満足していない」(26.8%)と「満足していない」(3.8%)を合わせた『不満評価』(30.6%)はほぼ3割となっている。(図1-12-5)

図1-12-6 『区ホームページ』の情報の見つけやすさ・わかりやすさ一過年度比較

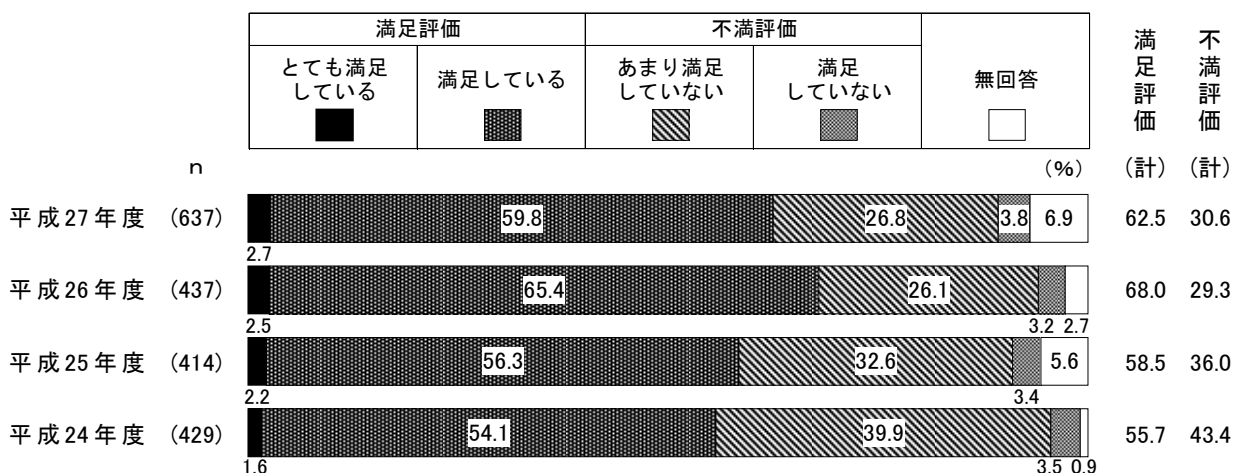
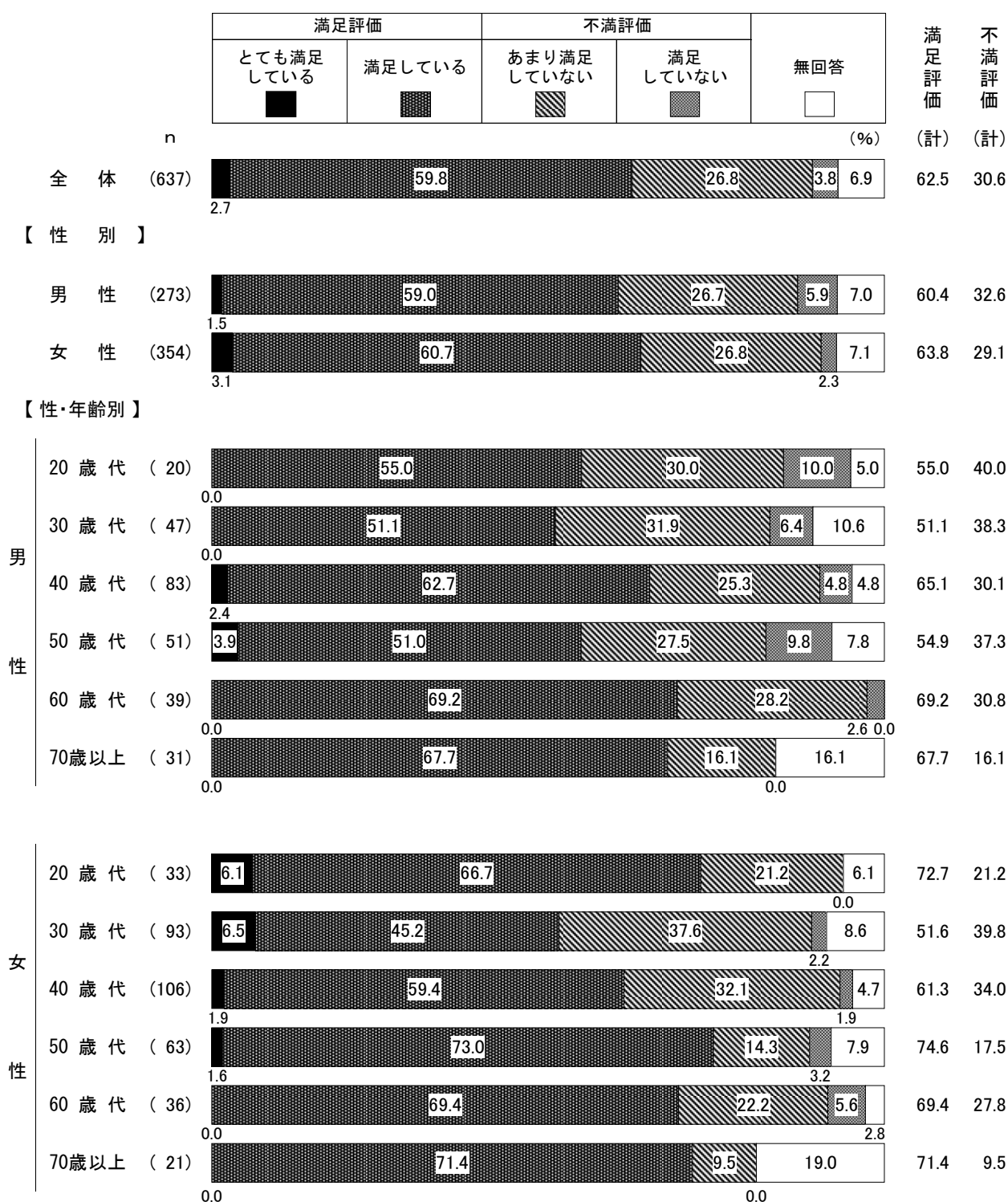
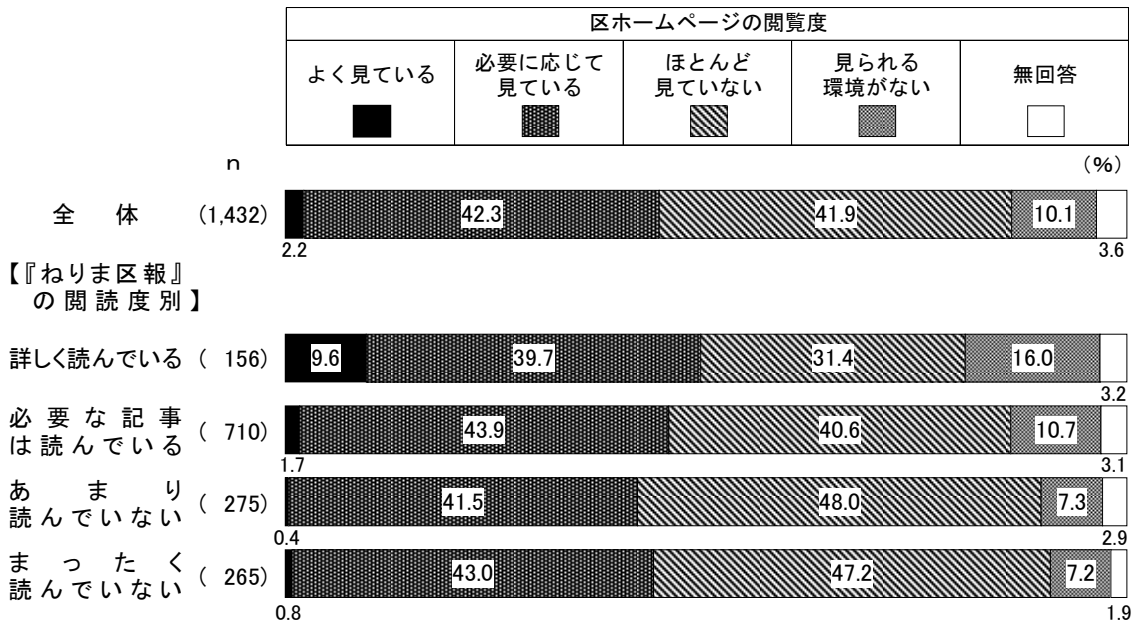


図1-12-7 『区ホームページ』の情報の見つけやすさ・わかりやすさー性別、性・年齢別



性・年齢別にみると、『満足評価』は女性の20歳代と50歳代で7割台と多くなっている。『不満評価』は女性30歳代で4割と多くなっている。(図1-12-7)

図1-12-8 『区ホームページ』の閲覧度－『ねりま区報』の閲読度別



『区ホームページ』の閲覧度（問15・122ページ参照）について、『ねりま区報』の閲読度（問14・114ページ参照）別にみると、『ねりま区報』を詳しく読んでいる人では、『区ホームページ』を「よく見ている」の割合が9.6%、『区ホームページ』を「見られる環境がない」の割合が16.0%となっており、『ねりま区報』の閲覧頻度が低い人に比べて割合が高くなっている。（図1-12-8）

図1-12-9 『区ホームページ』の閲覧度－『ねりま区報』の閲読度別（平成26年度調査の結果）

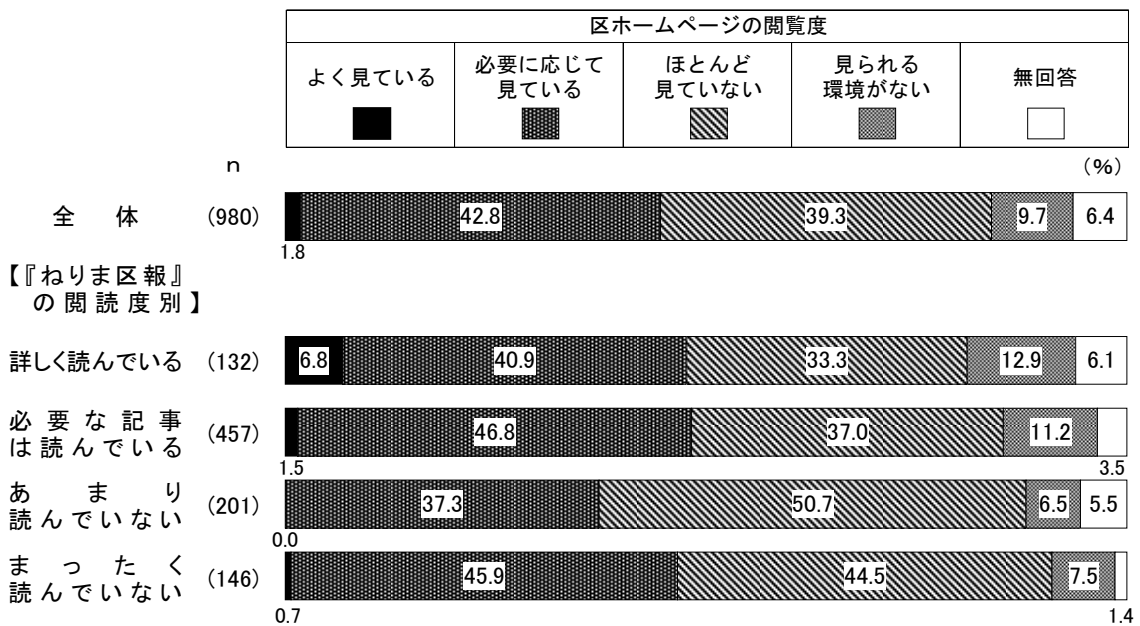
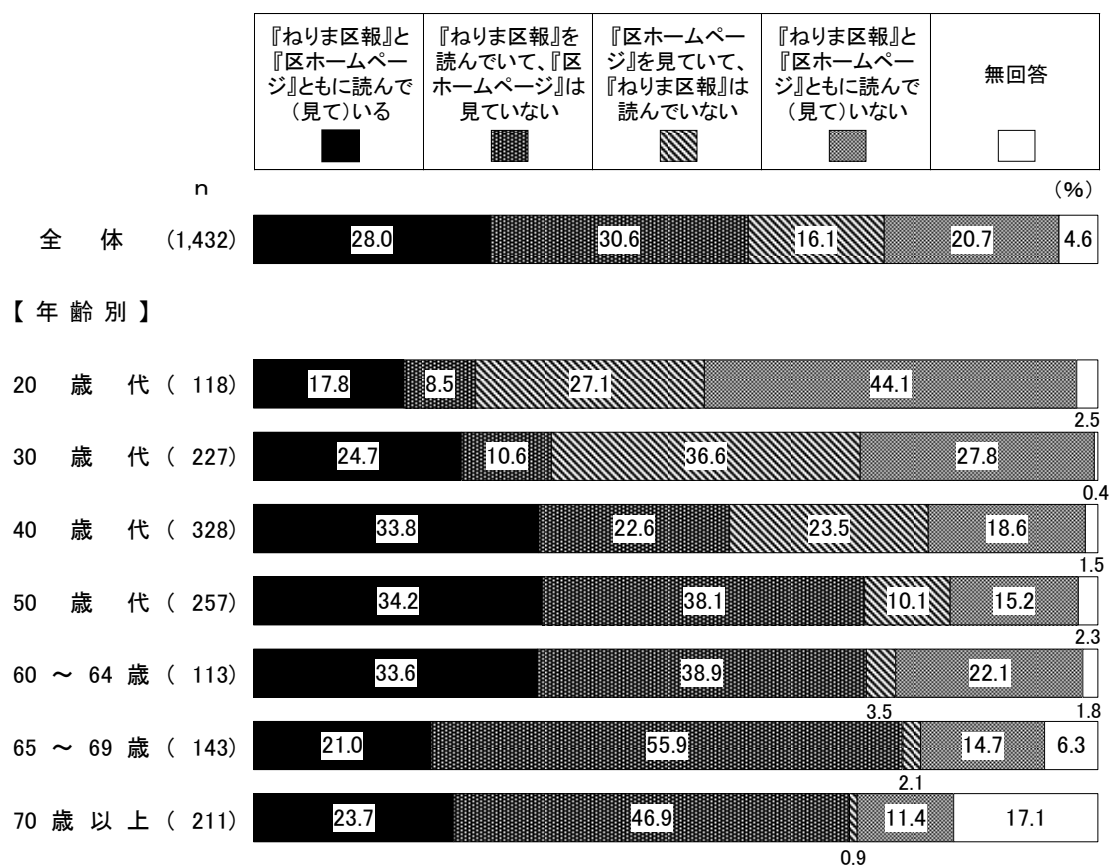


図1-12-10 『ねりま区報』の閲読度と『区ホームページ』の閲覧度一年齢別



『ねりま区報』と『区ホームページ』の2つの広報の手段について、年齢別の接触度をみた。

『ねりま区報』の閲読度(問14・114ページ参照)と『区ホームページ』の閲覧度(問15・122ページ参照)の各回答について、以下の表に示すとおり分類した。

	読んで(見て)いる	読んで(見て)いない
『ねりま区報』の閲読度 (問14・114ページ参照)	「詳しく読んでいる」 「必要な記事は読んでいる」	「あまり読んでいない」 「まったく読んでいない」
『区ホームページ』の閲覧度 (問15・122ページ参照)	「よく見ている」 「必要に応じて見ている」	「ほとんど見ていない」 「見られる環境がない」

『ねりま区報』と『区ホームページ』ともに読んで(見て)いる人は、40歳代、50歳代、60～64歳で3割台と多くなっている。『ねりま区報』を読んでいて、『区ホームページ』は見えていない人は、65～69歳で5割半ば、70歳以上で5割近くと多くなっている。『区ホームページ』を見ていて、『ねりま区報』は読んでいない人は、30歳代で4割近くと多くなっている。『ねりま区報』と『区ホームページ』ともに読んで(見て)いない人は、20歳代で4割半ばと多くなっている。(図1-12-10)

(12-2) 『区ホームページ』を閲覧するときに利用する機器

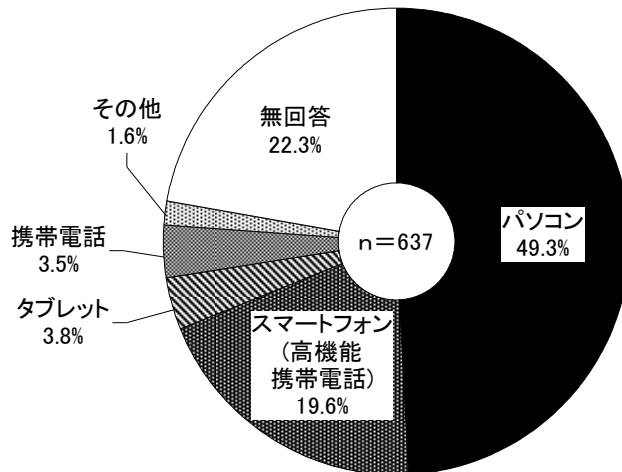
◇「パソコン」がほぼ5割

(問15で「よく見ている」または「必要に応じて見ている」と答えた方へ)

問15-2 『区ホームページ』を閲覧する際に、主に利用している機器は何ですか。

(○は1つ)

図1-12-11 『区ホームページ』を閲覧するときに利用する機器



『区ホームページ』を「よく見ている」または「必要に応じて見ている」と答えた方(637人)に、閲覧する際に、主に利用している機器を聞いたところ、「パソコン」(49.3%)がほぼ5割で最も多く、次いで「スマートフォン(高機能携帯電話)」(19.6%)となっている。(図1-12-11)

図1-12-12 『区ホームページ』を閲覧するときに利用する機器一過年度比較

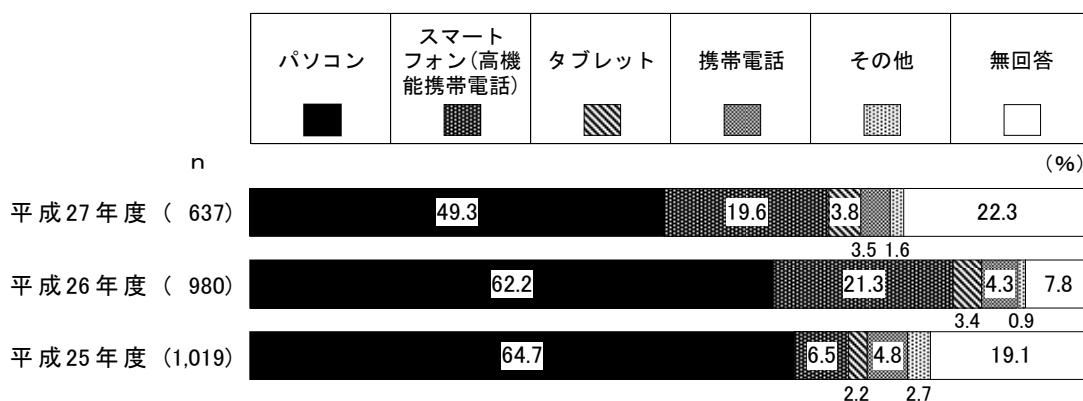
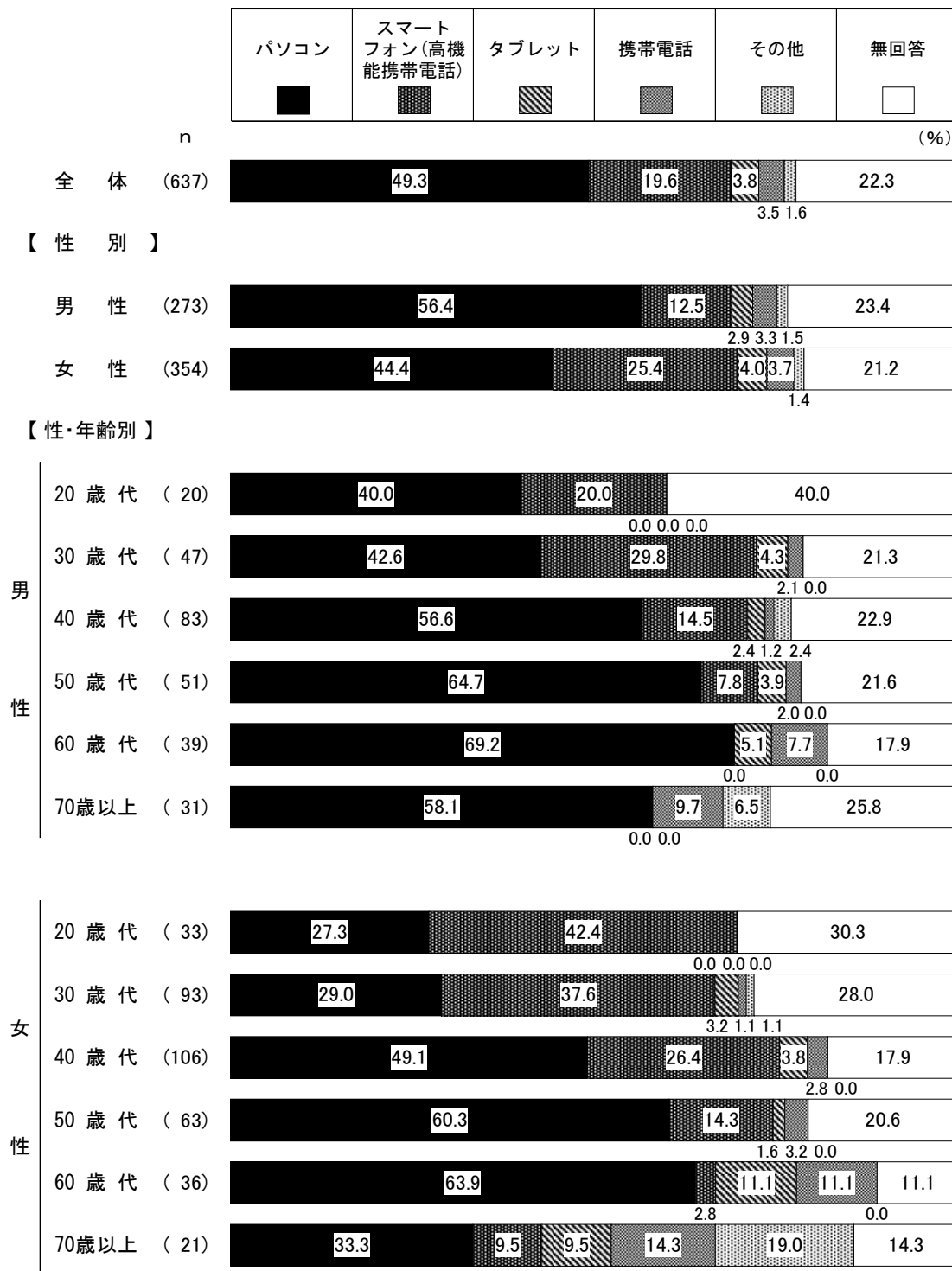


図 1-12-13 『区ホームページ』を閲覧するときを利用する機器－性別、性・年齢別



性・年齢別にみると、「パソコン」は男性60歳代ではほぼ7割と多くなっている。「スマートフォン(高性能携帯電話)」は女性20歳代で4割を超え、女性30歳代で4割近くと多くなっている。(図1-12-13)

(13) 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の認知度

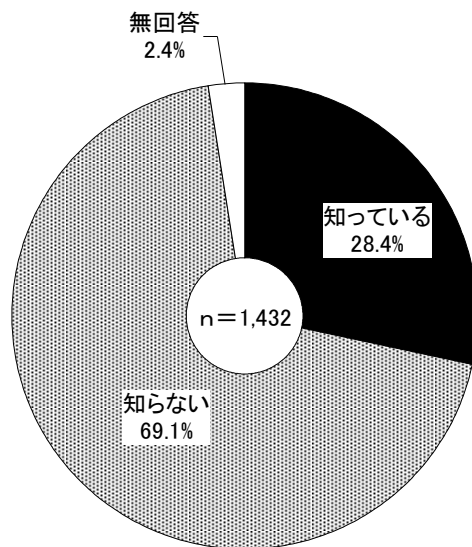
◇「知っている」人が3割近く、「知らない」人はほぼ7割

問16 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を知っていますか。(○は1つ)

※練馬区情報番組『ねりまほっとライン』は、ケーブルテレビJ：COM東京（デジタル：11CH）で毎日放映しています。区の事業やできごとなどを紹介し、区民の皆さまに、区政に関心を持っていただくことを目的としています。

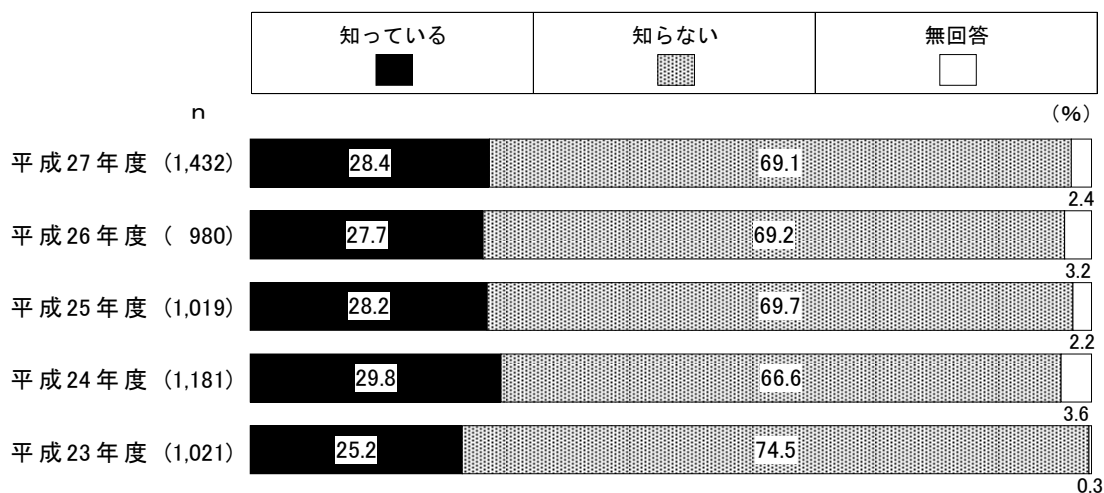
※放送時間は毎日9時、12時、20時の3回です（1回15分）

図1-13-1 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の認知度



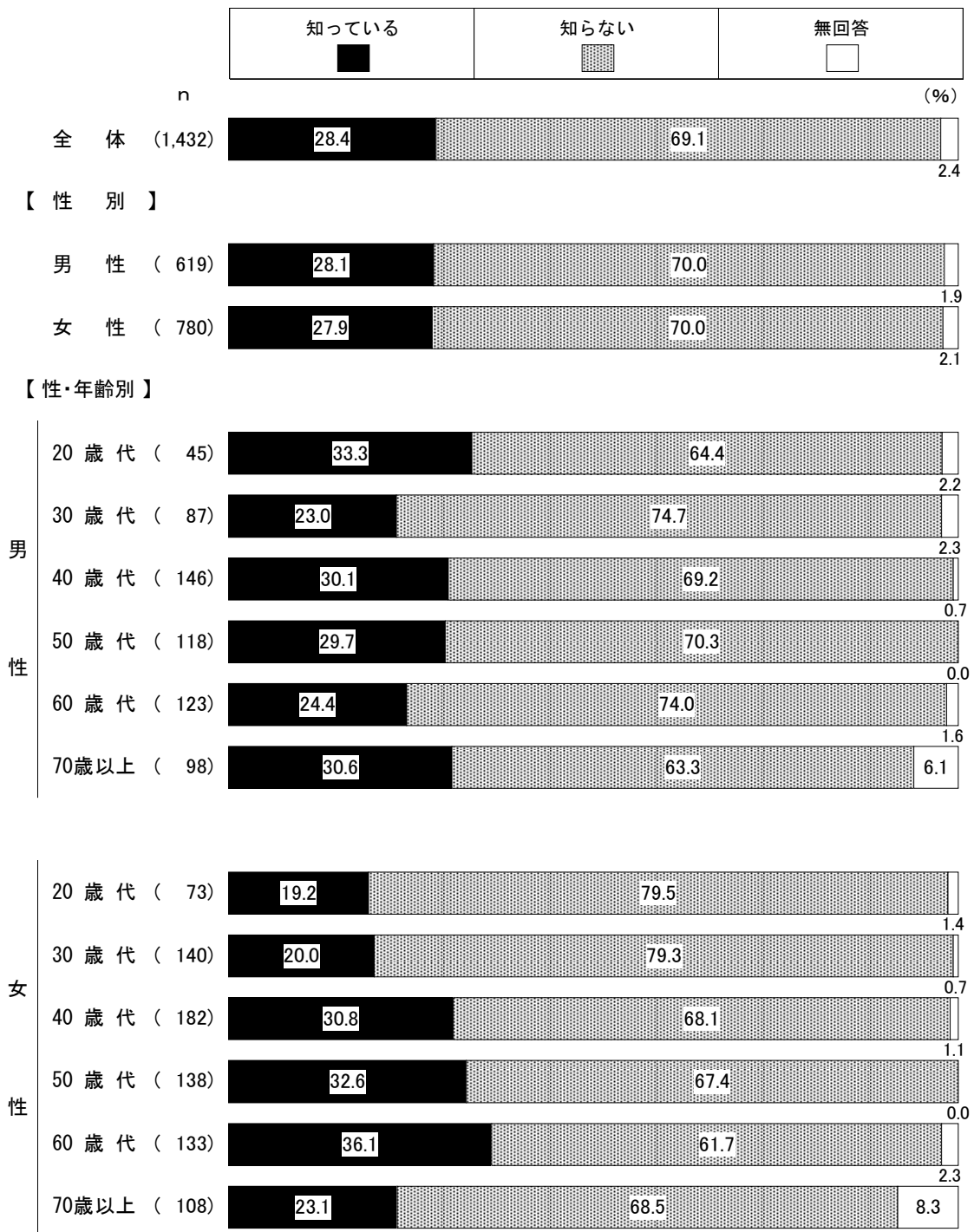
『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』を知っているか聞いたところ、「知っている」（28.4%）が3割近くとなっている。一方、「知らない」（69.1%）はほぼ7割となっている。（図1-13-1）

図1-13-2 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の認知度—過年度比較



過去の調査と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。（図1-13-2）

図 1-13-3 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の認知度—性別、性・年齢別



性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「知っている」は女性60歳代で3割半ばと多くなっている。「知らない」は女性の20歳代と30歳代でほぼ8割と多くなっている。(図1-13-3)

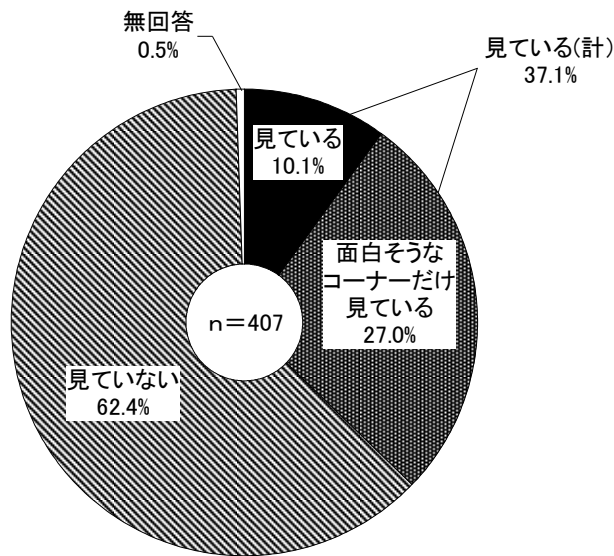
(13-1) 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の視聴度

◇『見ている』が4割近く

(問16で「知っている」と答えた方へ)

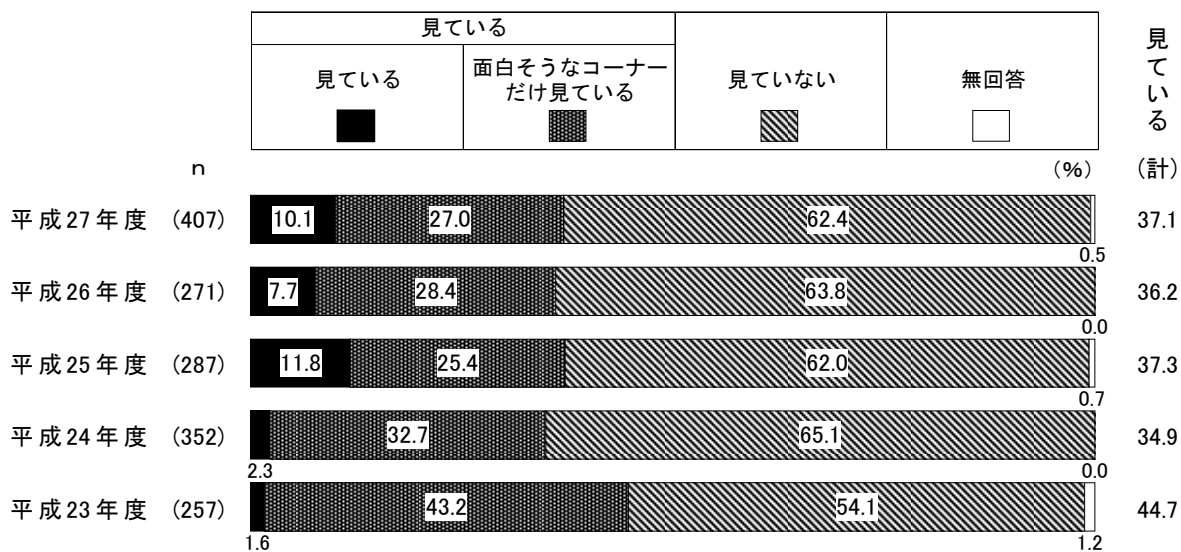
問16-1 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を見ていますか。(○は1つ)

図1-13-4 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の視聴度



『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』を知っていると答えた方(407人)に、番組の視聴度を聞いたところ、「見ている」(10.1%)は1割で、これに「面白そうなコーナーだけ見ている」(27.0%)を合わせた『見ている』(37.1%)が4割近くとなっている。(図1-13-4)

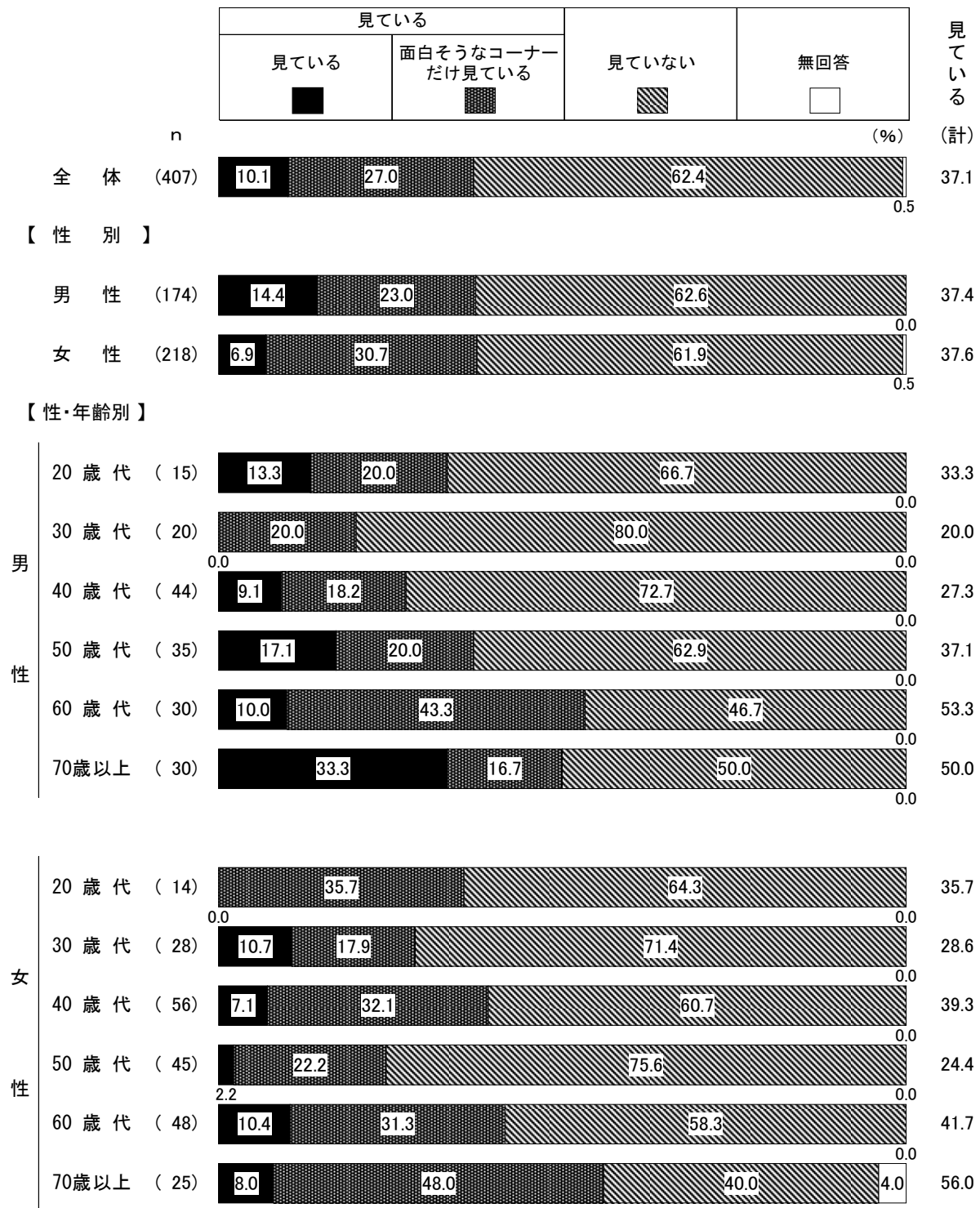
図1-13-5 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の視聴度—過年度比較



(注)「見ている」は平成24年度以前は「詳しく見ている」としていた。

過去の調査と比較すると、平成25年度以降大きな傾向の違いはみられない。(図1-13-5)

図 1-13-6 『練馬区情報番組 ねりまほっとライン』の視聴度—性別、性・年齢別



性・年齢別にみると、『見ている』は男性の60歳代以上の年代で5割台と多くなっている。

(図 1-13-6)